

**第 10 次計画策定にかかる
市民意識調査報告書**

**平成 27 年 3 月
松本市**

目 次

第1章 調査実施概要	1
第1節 調査目的	1
第2節 調査実施方法	1
1. 市民意識調査の概要	1
2. 市民意識調査以外の方法による市民意見の収集	2
第2章 市民意識調査の結果	3
第1節 回答者の属性	3
第2節 暮らしの満足度や市民が考える行政サービスの方向性	6
第3節 行政がこれから力を入れていくべき政策分野・施策	9
1. 行政が力を入れていくべき政策分野の分析	9
2. 行政がこれから力を入れていくべき施策の分析	16
3. 施策別にみる行政の取組みの方向性	30
第4節 施策実施にかかる市民の関わり方の状況と今後の意向	34
1. 住民同士の助け合いを基本とした施策の分析	35
2. 市民の活動等への参画や協力が求められる施策の分析	39
3. 個人の意識醸成や行動を働きかける施策の分析	43
4. 現状の取組み状況及び今後の意向の結果一覧	48
第5節 高校進学後の進路と松本市への居住意向	51
第6節 総括	53
第3章 様々な手段による市民意見の収集結果	55
第1節 まつもと未来会議の概要	55
1. 実施の概要	55
第2節 ワークショップにおける意見収集	55
1. 実施の概要	55
2. 各テーマのまとめ	57
第3節 Web における意見収集	61
1. 実施の概要	61
2. 意見まとめ	61
第4節 35 地区の公民館における意見収集	70
1. 実施の概要	70
2. 地区別の意見まとめ	71
添付資料：松本市の良いところ、課題、理想の地域像（自由記述）	108

第1章 調査実施概要

第1節 調査目的

本調査は第10次基本計画策定に向け、「5年先、10年先の未来」を見据えた政策を検討するため、重視すべき政策・施策、政策の方向性等を把握し「選択」と「集中」という視点で政策立案するためのデータを収集することを目的に実施した。

第2節 調査実施方法

1. 市民意識調査の概要

本調査は、高校生及び18歳以上の市民を対象に実施した。調査の実施時期及び配布枚数、回収率等は以下のとおりである。

◆実施時期：平成26年10月10日～11月7日

◆配布枚数と回収率

	配布枚数	回収数	回収率
一般	2,000枚	931枚	46.6%
高校生	400枚	138枚	34.5%
計	2,400枚	1,069枚	44.5%

◆調査項目：

		調査項目設定の目的
(1)	属性	属性差の分析への活用及び福祉施策等の受益対象者の抽出を行う。
(2)	政策・施策の重要度	市民が必要としている政策・施策を把握し、優先順位付けの検討を行うことができるデータを収集する。
(3)	行政サービスに対する考え方	第9次基本計画策定時の答申に示されていた市民意識（「行政サービスに対する考え方」）の醸成の進捗状況を把握する。
(4)	市民の関わり方の状況と意向	政策ごとに「市民の関わり方」を整理し、行政が担ってきた部分のうち「市民が担える範囲」を明らかにする。この結果から、市民の取り組みを促す支援の仕方や、行政が特に取り組むべき政策を検討する。
(5)	高校生の定住意向（高校生のみ回答）	高校生における松本市への定住意向を把握する。定住意向のある人が考える「松本市に住みたい理由」、市外に住みたい人が考える「松本市に住みたくない理由」を把握し、移住・定住施策の検討材料とする。
(6)	松本の魅力・改善点・将来像	自由記述で松本の魅力、改善点を聞き、市民の「生の声」を把握する。データはKJ法等を用いて集計し、検討材料として活用しやすいよう取りまとめる。

◆調査結果の注意点

- ・クロス集計を行う場合、各項目の無回答者を集計から除くため、全体の数値と異なる場合がある。
- ・四捨五入の都合上、合計値が100%にならない場合がある。

2. 市民意識調査以外の方法による市民意見の収集

アンケート調査以外に、より広く市民の声を収集するため、「まつもと未来会議」と題し、市民意見を収集する場を設けた。各取組みの結果は第3章に取りまとめている。

まつもと未来会議の概要

◆ワークショップによる意見収集

松本市の10年後、20年後の未来について市民が語りあう場として、ワークショップを開催した。今後のまちづくりにおけるテーマを8つに分類し、参加者にはそれぞれ興味があるテーマについて、ワールドカフェ方式で自由に話し合ってもらい意見を収集した。



【日時】2015年2月27日（金）18:30～21:00

【場所】まつもと市民芸術館スタジオ2

【参加者】松本市在住の市民

【参加人数】38名

◆Webにおける意見収集

専用のWebページを開設し、ワークショップと同様の8つのテーマに対して、「あなたがしたいこと」、「みんなでしたいこと」、「実現のために必要なこと」の3点について意見を収集した。



【期間】2015年2月10日（金）～2月27日（金）

【対象】松本市在住の市民

◆35地区の公民館における意見収集

市内35地区の公民館で、事前の市民意識調査で把握した「市民が取り組んでいること」の集計結果を掲示し、その項目のなかで自らが今すぐにも取り組めること、また市民主体で取り組みたいことについて意見を収集した。



【期間】2015年2月16日（月）～2月27日（金）

【場所】市内35地区の公民館

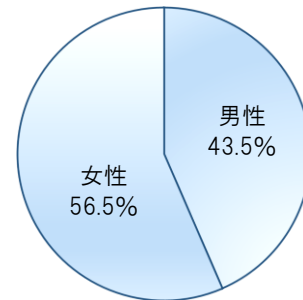
【対象】松本市在住の市民

第2章 市民意識調査の結果

第1節 回答者の属性

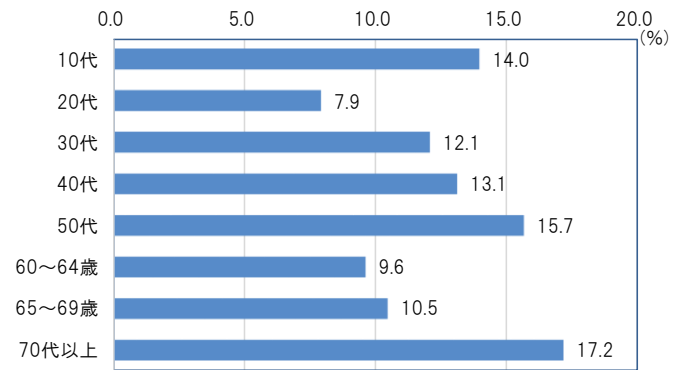
図表 1 性別

	回答数	割合(%)
男性	458	43.5
女性	595	56.5
合計	1,053	100.0



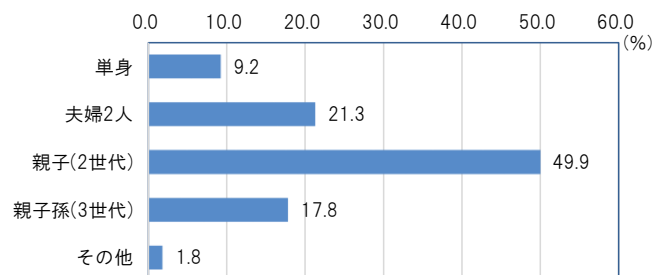
図表 2 年代

	回答数	割合(%)
10代	148	14.0
20代	84	7.9
30代	128	12.1
40代	139	13.1
50代	166	15.7
60~64歳	102	9.6
65~69歳	111	10.5
70代以上	182	17.2
合計	1,060	100.0



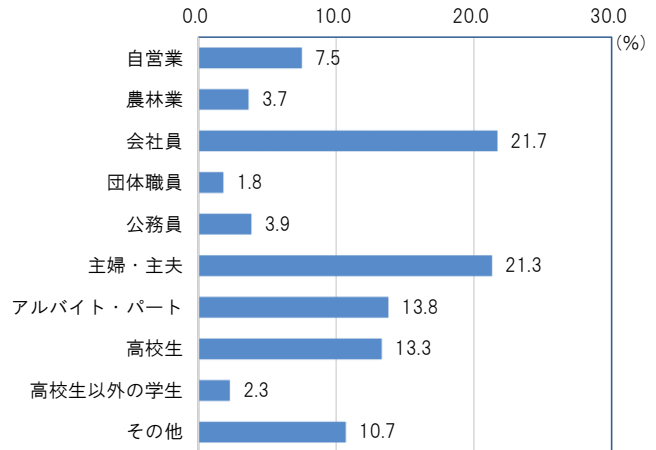
図表 3 家族構成

	回答数	割合(%)
単身	96	9.2
夫婦2人	221	21.3
親子(2世代)	519	49.9
親子孫(3世代)	185	17.8
その他	19	1.8
合計	1,040	100.0



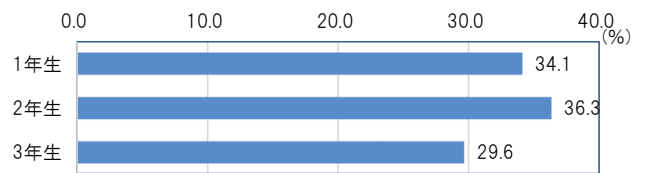
図表 4 職業

	回答数	割合 (%)
自営業	78	7.5
農林業	38	3.7
会社員	225	21.7
団体職員	19	1.8
公務員	40	3.9
主婦・主夫	221	21.3
アルバイト・パート	143	13.8
高校生	138	13.3
高校生以外の学生	24	2.3
その他	111	10.7
合計	1,037	100.0



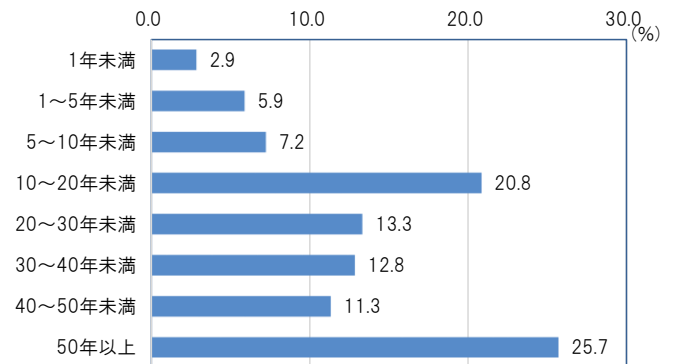
図表 5 高校生の回答者の学年

	回答数	割合 (%)
1年生	46	34.1
2年生	49	36.3
3年生	40	29.6
合計	135	100.0



図表 6 居住年数

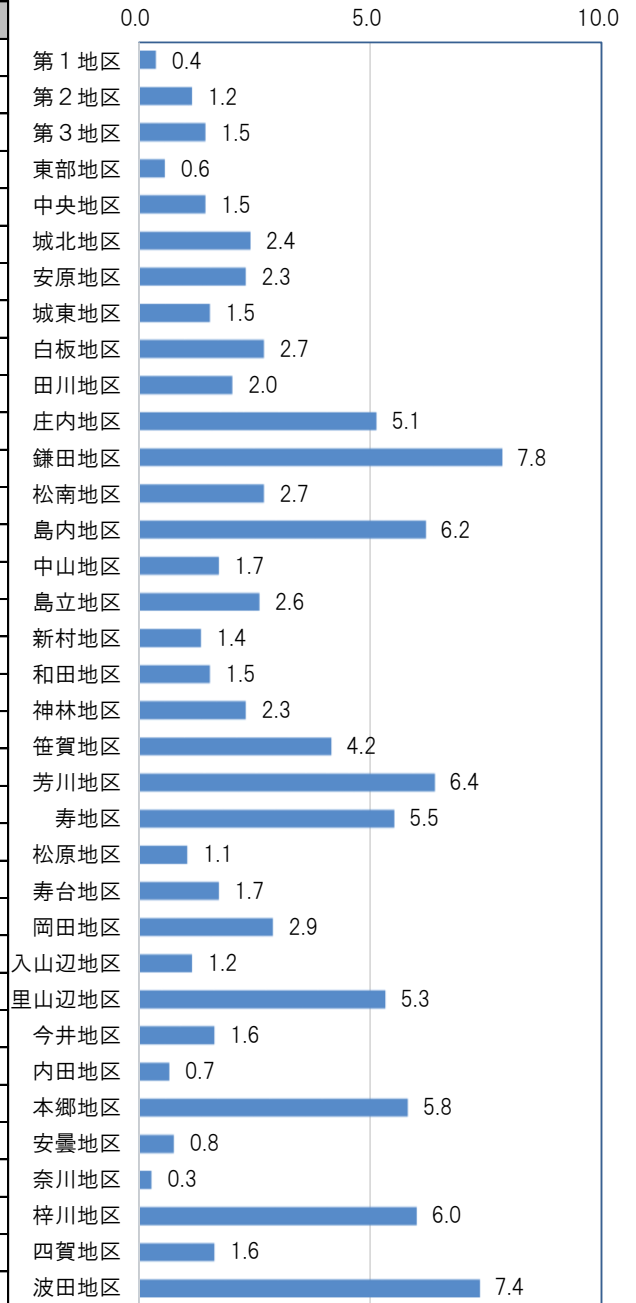
	回答数	割合 (%)
1年未満	30	2.9
1～5年未満	62	5.9
5～10年未満	76	7.2
10～20年未満	219	20.8
20～30年未満	140	13.3
30～40年未満	135	12.8
40～50年未満	119	11.3
50年以上	270	25.7
合計	1,051	100.0



図表 7 居住地区

(%)

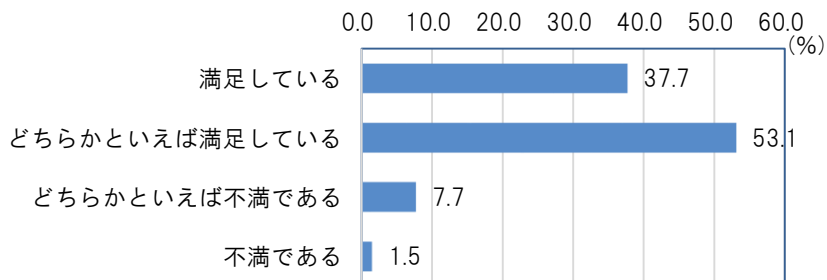
	回答数	割合 (%)
第1地区	4	0.4
第2地区	12	1.2
第3地区	15	1.5
東部地区	6	0.6
中央地区	15	1.5
城北地区	25	2.4
安原地区	24	2.3
城東地区	16	1.5
白板地区	28	2.7
田川地区	21	2.0
庄内地区	53	5.1
鎌田地区	81	7.8
松南地区	28	2.7
島内地区	64	6.2
中山地区	18	1.7
島立地区	27	2.6
新村地区	14	1.4
和田地区	16	1.5
神林地区	24	2.3
笹賀地区	43	4.2
芳川地区	66	6.4
寿地区	57	5.5
松原地区	11	1.1
寿台地区	18	1.7
岡田地区	30	2.9
入山辺地区	12	1.2
里山辺地区	55	5.3
今井地区	17	1.6
内田地区	7	0.7
本郷地区	60	5.8
安曇地区	8	0.8
奈川地区	3	0.3
梓川地区	62	6.0
四賀地区	17	1.6
波田地区	76	7.4
合計	1,033	100.0



第 2 節 暮らしの満足度や市民が考える行政サービスの方向性

- 松本市の暮らしに満足している人は 90.8%であり、非常に高くなっている。
- 松本市への定住意向をみると、ずっと住み続けたい人が 57.1%、当分住み続けたい人が 26.7%である。

図表 8 松本市の暮らしの満足度

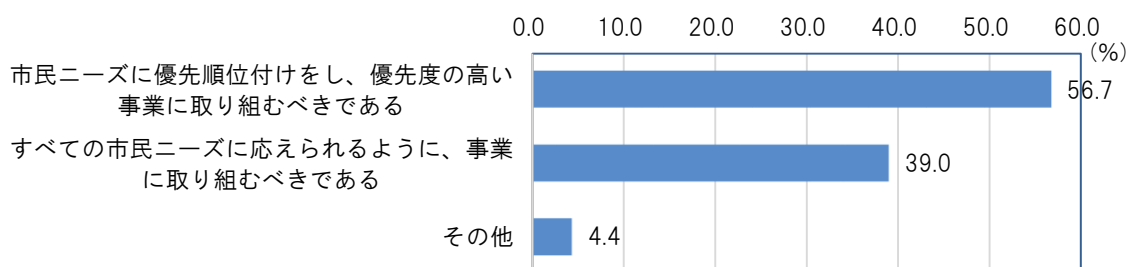


	回答数	割合 (%)
満足している	394	37.7
どちらかといえば満足している	555	53.1
どちらかといえば不満である	81	7.7
不満である	16	1.5
合計	1,046	100.0

- 今後の行政サービスの方向性については、「市民ニーズに優先順位付けをし、優先度の高い事業に取り組むべきである」と考える人が 56.7%と最も多い。「すべての市民ニーズに応えられるように、事業に取り組むべきである」と考える人の割合は 39.0%と一定数いる。
- 年代別にみると、10代と70代で「すべての市民ニーズに応えられるように、事業に取り組むべき」と考える人が多くとなっている。特にこの層に対して、厳しい財政状況により、行政サービスの縮小が予想されることを受け入れる市民意識の醸成が求められる。

図表 9 市民が考える今後の行政サービスの方向性

	回答数	割合 (%)
市民ニーズに優先順位付けをし、優先度の高い事業に取り組むべきである	585	56.7
すべての市民ニーズに応えられるように、事業に取り組むべきである	402	39.0
その他	45	4.4
合計	1,032	100.0



図表 10 年代別にみる市民が考える今後の行政サービスの方向性

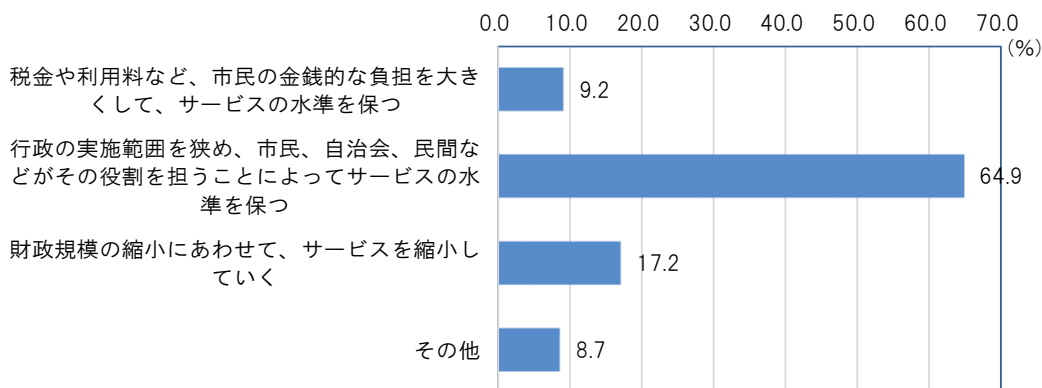
	市民ニーズに優先順位付けをし、優先度の高い事業に取り組むべきである	すべての市民ニーズに応えられるように、事業に取り組むべきである	その他	回答者数
10代	47.6%	49.7%	2.8%	143
20代	56.3%	37.5%	6.3%	80
30代	69.8%	25.4%	4.8%	126
40代	61.6%	31.9%	6.5%	138
50代	60.1%	36.8%	3.1%	163
60代	56.0%	41.6%	2.4%	209
70代以上	47.9%	46.1%	6.1%	165
全体	56.6%	39.1%	4.3%	1,024

※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

- 今後の行政サービスについては、「行政の実施範囲を狭め、市民、自治会、民間などがその役割を担うことによってサービスの水準を保つ」が64.9%と最も高くなっている。
- どの年代においても「行政の実施範囲を狭め、市民、自治会、民間などがその役割を担うことによってサービスの水準を保つ」と考えている人が多い。

図表 11 市民が考える今後の行政サービスの水準

	回答数	割合(%)
税金や利用料など、市民の金銭的な負担を大きくして、サービスの水準を保つ	95	9.2
行政の実施範囲を狭め、市民、自治会、民間などがその役割を担うことによってサービスの水準を保つ	669	64.9
財政規模の縮小にあわせて、サービスを縮小していく	177	17.2
その他	90	8.7
合計	1,031	100.0



図表 12 年代別にみる市民が考える今後の行政サービスの水準

	税金や利用料など、市民の金銭的な負担を大きくして、サービス水準を保つ	行政の実施範囲を狭め、市民、自治会、民間などがその役割を担うことによって、サービス水準を保つ	財政規模の縮小にあわせて、サービスを縮小していく	その他	回答者数
10代	15.6%	64.5%	14.2%	5.7%	141
20代	12.5%	71.3%	11.3%	5.0%	80
30代	11.8%	62.2%	13.4%	12.6%	127
40代	6.6%	58.1%	22.1%	13.2%	136
50代	9.3%	62.3%	19.1%	9.3%	162
60代	4.8%	69.6%	17.9%	7.7%	207
70代以上	8.2%	66.7%	18.1%	7.0%	171
全体	9.3%	64.9%	17.1%	8.7%	1,024

※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

第3節 行政がこれから力を入れていくべき政策分野・施策

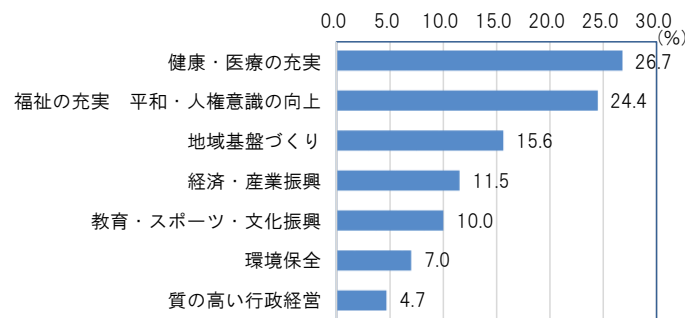
ここでは、基本目標である6つの柱と行政経営を含めた7つの政策の中で、市民が行政に最も重視してほしいと考える政策分野を明らかにする。重視すべき政策分野の選択にあたっては、個人的な視点に加えて、より多くの市民にとって暮らしやすい政策分野を選んでもらうために、「回答者にとって暮らしやすい松本市にするため行政に力を入れてほしい分野」「より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするため行政に入れてほしい分野」にわけて質問した。

1. 行政が力を入れていくべき政策分野の分析

(1) 全体集計

- 回答者個人にとって暮らしやすい松本市にするために行政に力を入れてほしい分野としては「健康・医療の充実」が26.7%、「福祉の充実 平和・人権意識の向上」が24.4%となっている。
- 年代別にみると、10代は「教育・スポーツ・文化振興」である。20代～50代は、「福祉の充実 平和・人権意識の向上」、50代～70代以上は「健康・医療の充実」となっている。各世代ごとに、自分との関わりが深い分野、気がかりな分野を重視する傾向にある。

図表 13 回答者にとって暮らしやすい松本市にするため行政に力を入れてほしい政策分野



	回答数	割合 (%)
健康・医療の充実	267	26.7
福祉の充実 平和・人権意識の向上	244	24.4
地域基盤づくり	156	15.6
経済・産業振興	115	11.5
教育・スポーツ・文化振興	100	10.0
環境保全	70	7.0
質の高い行政経営	47	4.7
合計	999	100.0

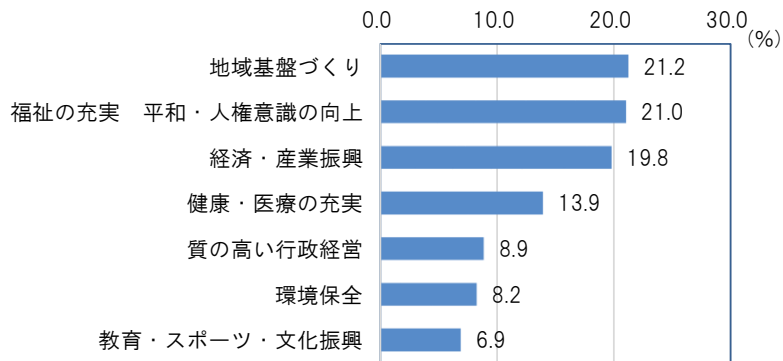
図表 14 年代別にみる回答者にとって暮らしやすい松本市にするため市役所に力を入れてほしい分野

	健康・医療の充実	福祉の充実、平和・人権意識の向上	地域基盤づくり	環境保全	経済・産業振興	教育・スポーツ・文化振興	質の高い行政経営	回答者数
10代	18.4%	5.0%	22.0%	8.5%	12.1%	32.6%	1.4%	141
20代	15.0%	22.5%	16.3%	13.8%	17.5%	10.0%	5.0%	80
30代	23.0%	31.1%	14.8%	4.9%	10.7%	11.5%	4.1%	122
40代	22.1%	26.5%	16.2%	5.1%	11.8%	14.0%	4.4%	136
50代	25.2%	25.2%	14.5%	6.3%	17.6%	3.8%	7.5%	159
60代	36.7%	29.6%	13.8%	6.6%	6.6%	1.5%	5.1%	196
70代以上	36.7%	28.5%	13.9%	6.3%	8.2%	1.3%	5.1%	158
合計	26.8%	24.4%	15.7%	7.0%	11.5%	9.9%	4.7%	992

※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

- より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするために行政に力を入れてほしい分野としては、「地域基盤づくり」が21.2%、「福祉の充実 平和・人権意識の向上」が21.0%とほぼ同数であり、次に「経済・産業振興」が19.8%と続く。
- 年代別にみると、10代、20代、50代は「福祉の充実 平和・人権意識の向上」、20代、30代は「地域基盤づくり」、40代、60代は「経済・産業振興」であり、世代ごとにばらつきがみられる。

図表 15 より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするため行政に力を入れてほしい政策分野



	回答数	割合 (%)
地域基盤づくり	206	21.2
福祉の充実 平和・人権意識の向上	204	21.0
経済・産業振興	192	19.8
健康・医療の充実	135	13.9
質の高い行政経営	86	8.9
環境保全	80	8.2
教育・スポーツ・文化振興	67	6.9
合計	970	100.0

図表 16 年代別にみる多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするため市役所に力を入れてほしい分野

	健康・医療の充実	福祉の充実、平和・人権意識の向上	地域基盤づくり	環境保全	経済・産業振興	教育・スポーツ・文化振興	質の高い行政経営	回答者数
10代	16.4%	30.7%	20.0%	10.7%	8.6%	11.4%	2.1%	140
20代	17.9%	25.6%	25.6%	6.4%	14.1%	5.1%	5.1%	78
30代	17.2%	23.8%	27.0%	5.7%	14.8%	5.7%	5.7%	122
40代	15.0%	12.8%	24.8%	9.0%	27.8%	7.5%	3.0%	133
50代	12.7%	25.9%	15.2%	7.0%	22.2%	8.2%	8.9%	158
60代	12.0%	16.8%	19.6%	6.5%	28.3%	6.0%	10.9%	184
70代以上	9.5%	14.9%	21.6%	10.8%	16.9%	4.1%	22.3%	148
合計	13.9%	21.1%	21.4%	8.1%	19.7%	7.0%	8.8%	963

※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

- 「回答者にとって暮らしやすい松本市にするため行政に力を入れてほしい分野」と「より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするために行政に力を入れてほしい分野」の回答状況をクロス集計したものである。
- 「個人が重視すべき施策」と「市全体を考え重視すべき施策」の回答結果の一致率は、非常に低い状況であった。
- 個人に関わる健康や医療、教育、福祉などの政策分野は、「回答者個人」として重視する傾向にあった。一方、地域基盤づくりや経済・産業地域など、面的な政策は「市全体」として重視する傾向がある。
- 回答が一致しない背景には、個人に関わりが深い政策か、面的な政策か、という政策の性質が影響し、個人・市全体かで何を重視すべきという設問に対して、想起された政策が異なるといえる。

図表 17 「回答者にとって暮らしやすい松本市にするため市に力を入れてほしい分野」と「より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするため市に力を入れてほしい分野」の回答者数

		多くの市民にとってより暮らしやすい松本市にするために力を入れてほしい分野							合計
		健康・医療の充実	福祉の充実、平和・人権意識の向上	地域基盤づくり	環境保全	経済・産業振興	教育・スポーツ・文化振興	質の高い行政経営	
あなたにとってより暮らしやすい松本市にするために力を入れてほしい分野	健康・医療の充実	15	87	56	20	50	15	13	256
	福祉の充実、平和・人権意識の向上	49	23	55	22	52	12	27	240
	地域基盤づくり	25	28	28	13	37	10	12	153
	環境保全	7	16	9	8	12	8	7	67
	経済・産業振興	13	23	23	8	18	9	13	107
	教育・スポーツ・文化振興	20	22	26	6	14	8	3	99
	質の高い行政経営	5	4	8	3	8	5	11	44
合計	134	203	205	80	191	67	86	966	

◆表の見方

【健康・医療の充実の場合】

上記表は、個人、市全体ともに「健康・医療の充実」と回答した人が15人、個人は「健康・医療の充実」を、市全体としては「福祉の充実」を重視すべきと回答した人が87人とみる。

		多くの市民にとってより暮らしやすい松本市にするために力を入れてほしい分野							回答者数
		健康・医療の充実	福祉の充実、平和・人権意識の向上	地域基盤づくり	環境保全	経済・産業振興	教育・スポーツ・文化振興	質の高い行政経営	
あなたにとってより暮らしやすい松本市にするために力を入れてほしい分野	健康・医療の充実	5.9%	34.0%	21.9%	7.8%	19.5%	5.9%	5.1%	256
	福祉の充実、平和・人権意識の向上	20.4%	9.6%	22.9%	9.2%	21.7%	5.0%	11.3%	240
	地域基盤づくり	16.3%	18.3%	18.3%	8.5%	24.2%	6.5%	7.8%	153
	環境保全	10.4%	23.9%	13.4%	11.9%	17.9%	11.9%	10.4%	67
	経済・産業振興	12.1%	21.5%	21.5%	7.5%	16.8%	8.4%	12.1%	107
	教育・スポーツ・文化振興	20.2%	22.2%	26.3%	6.1%	14.1%	8.1%	3.0%	99
	質の高い行政経営	11.4%	9.1%	18.2%	6.8%	18.2%	11.4%	25.0%	44

※色が付いている部分は、回答の政策分野が一致しているところである。

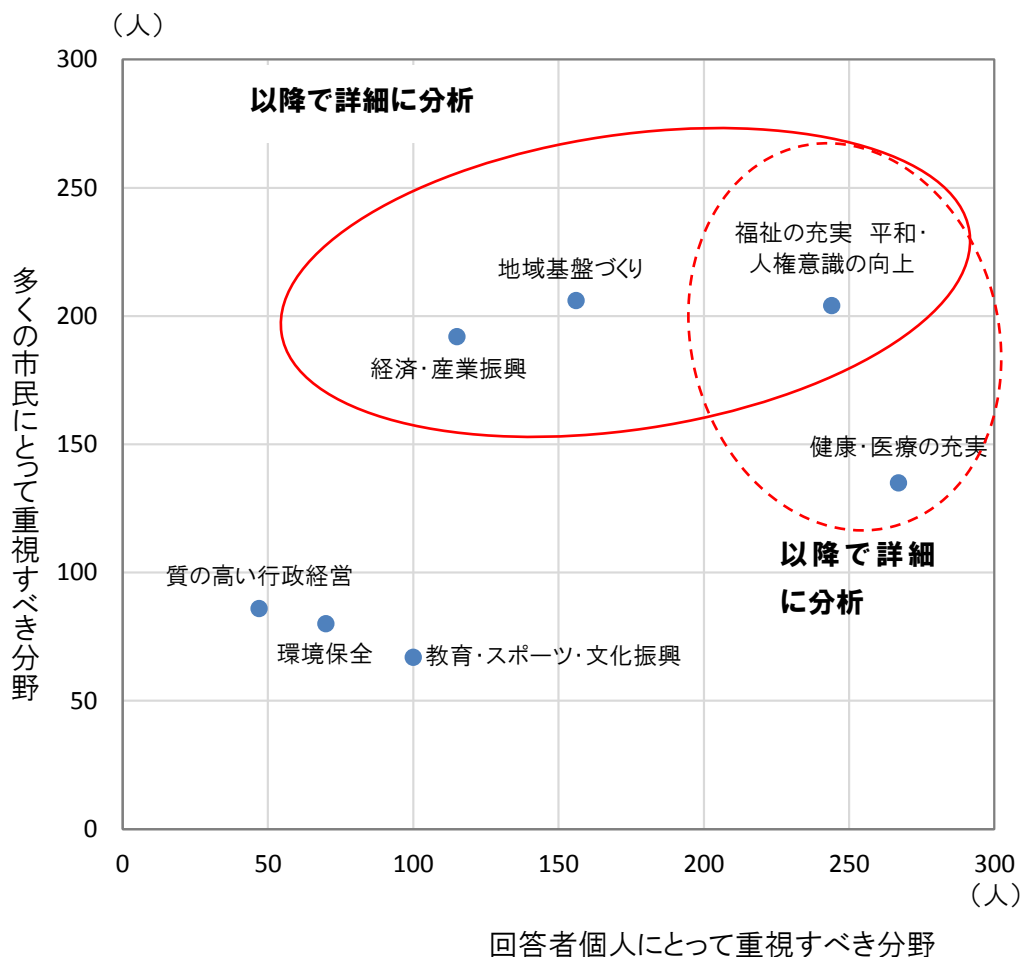
◆表の見方

【健康・医療の充実の場合】

上記表は、個人として「健康・医療の充実」を重視すべきと回答した人のうち、市全体で「健康・医療の充実」と回答した人が5.9%、「福祉の充実」と回答した人が34.0%とみる。

- 下図は、個人が重視すべき施策、市全体を考え重視すべき施策の回答者数を散布図であらわしたものである。最も優先順位が高い政策は、個人、市全体ともに重視すべきという人が多い分野であるといえる。
- 個人・市全体ともに重視すべきという人が多い政策分野は「福祉の充実、平和・人権意識の向上」であった。「福祉の充実、平和・人権意識の向上」は、行政による環境整備に加えて、市民同士の支え合い、助け合う関係づくりが求められる分野である。行政の整備状況、市民の実態を把握しながら、役割分担を明確にし、取り組んでいくことが求められる。
- 「福祉の充実、平和・人権意識の向上」以降は、「健康・医療」「地域基盤づくり」「経済・産業振興」が市民ニーズが高い分野といえる。各政策分野のうち、行政が担うべき部分（基盤づくり）の状況・課題を把握し、取り組んでいくことが求められる。

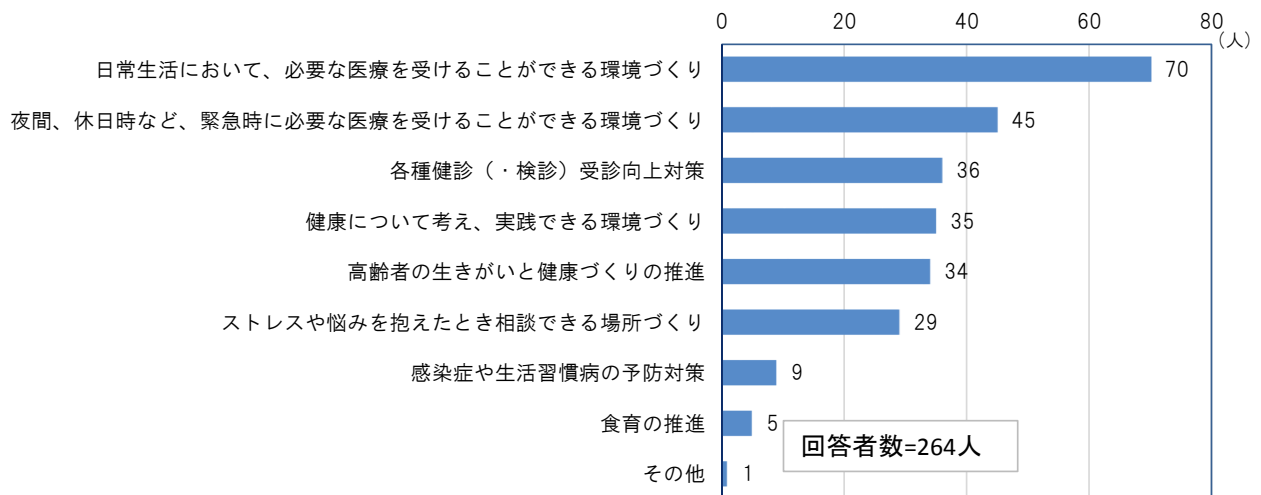
図表 18 回答者個人にとって重視すべき分野と
多くの市民にとって重視すべき分野の回答者数



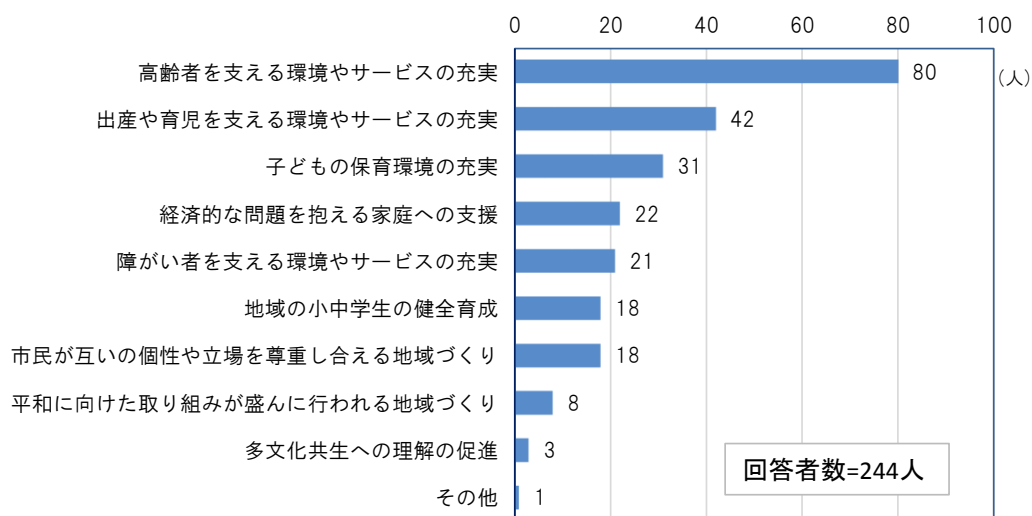
(2) 回答者にとって暮らしやすい松本市にするため、行政に力を入れてほしい分野の詳細

- 回答者にとって暮らしやすい松本市にするために行政に力を入れてほしい政策分野として上位にあがっていたのは「健康・医療の充実」「福祉の充実 平和・人権意識の向上」である。各回答者が具体的にどの施策を重視しているかを示したのが以下である。
- 「健康・医療の充実」に力を入れるべきと回答した者は、「日常生活における必要な医療環境づくり」を重視している割合が高い状況である。
- 「福祉の充実 平和・人権意識の向上」に力を入れるべきと回答した者は、「高齢者を支える環境やサービス」を重視している割合が高いが突出して高い状況である。

図表 19 回答者にとって暮らしやすい松本市にするために
「健康・医療の充実」に力を入れるべきと回答した者が重視している施策



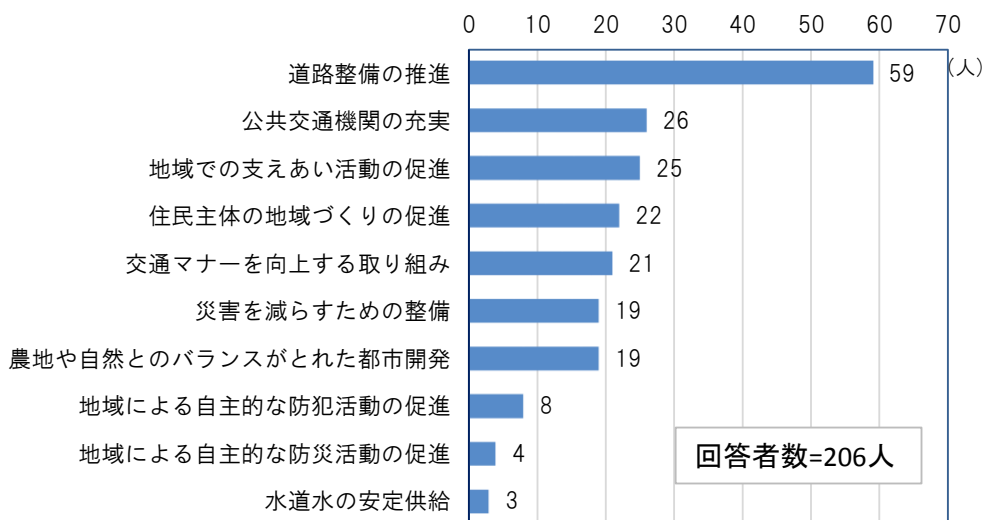
図表 20 回答者にとって暮らしやすい松本市にするために
「福祉の充実 平和・人権意識の向上」に力を入れるべきと回答した者が重視している施策



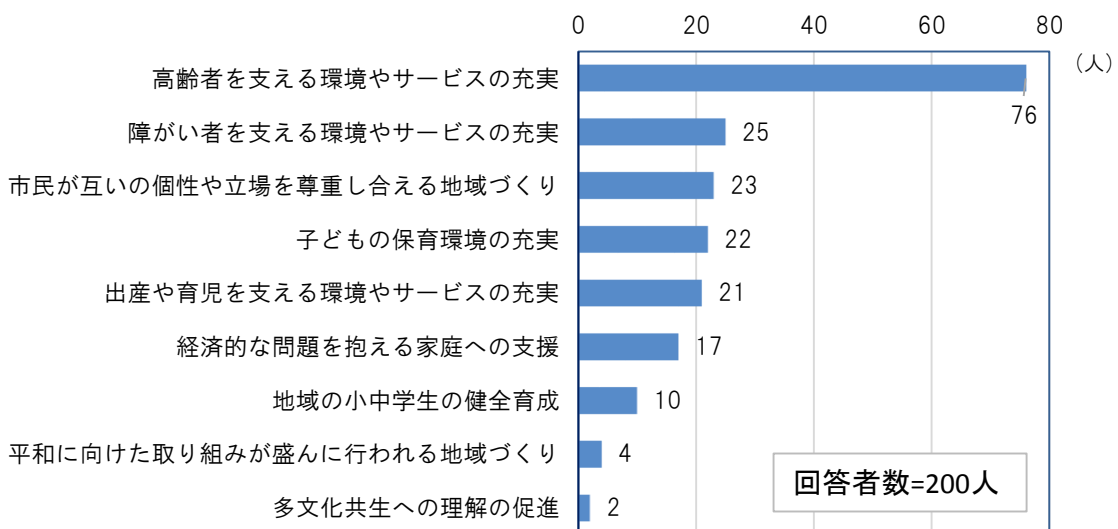
(3) より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするため、行政に力を入れてほしい分野の詳細

- より多く松本市にするために行政に力を入れてほしい分野として上位にあがっていたのは「地域基盤づくり」「福祉の充実 平和・人権意識の向上」である。各回答者が具体的にどの施策を重視しているかを示したのが以下である。
- 「地域基盤づくり」に力を入れるべきと回答した者は、「道路整備の推進」を重視している割合が非常に高い状況である。
- 「福祉の充実 平和・人権意識の向上」に力を入れるべきと回答した者は、「高齢者を支える環境やサービス」を重視している割合が突出して高い。「福祉の充実 平和・人権意識の向上」を選択した理由（自由記述）をみると、“まわりに高齢者が増えていえるから”という記述が見られる。現状に課題を感じているというよりも、高齢者数の増加に対して「何かすべきではないか」と考える市民が多い状況といえる。

図表 21 より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするために「地域基盤づくり」に力を入れるべきと回答した者が重視している施策

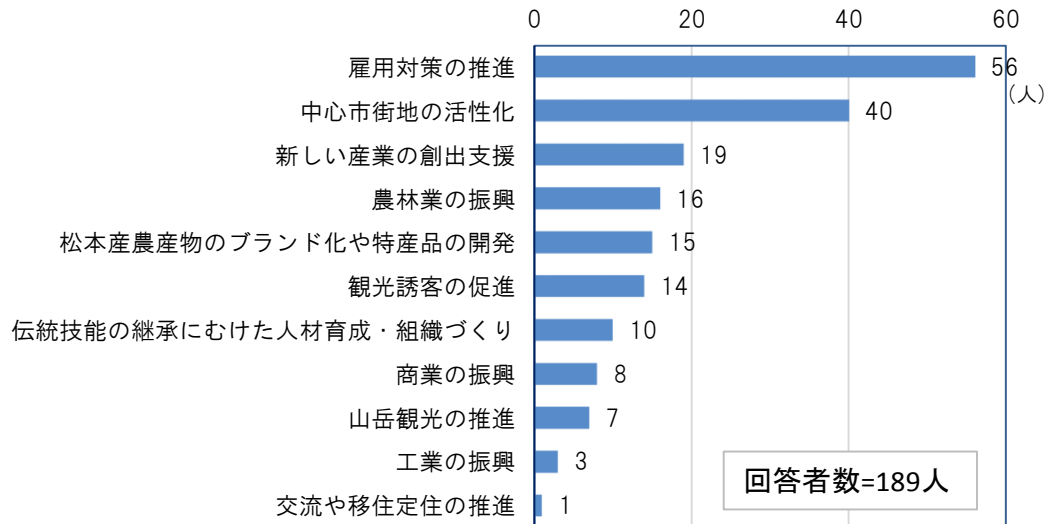


図表 22 より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするために「福祉の充実 平和・人権意識の向上」に力を入れるべきと回答した者が重視している施策



- 「経済・産業の振興」に力を入れるべきと回答した者は、「雇用対策の推進」と「中心市街地の活性化」を重視している割合が高い状況である。

図表 23 より多くの市民にとって暮らしやすい松本市にするために
「経済・産業の振興」に力を入れるべきと回答した者が重視している施策



2. 行政がこれから力を入れていくべき施策の分析

ここでは、各分野の中で重視すべき施策を明らかにする。施策の優先順位は、現状評価とあわせてみていくことで今後の方向性を把握することができる。そのため、平成 26 年度の 10 月に実施した市民満足度調査における施策評価とあわせて分析を行う。なお、市民満足度調査の項目は、対応が取れる範囲で記載する。市民満足度調査の実施概要は右図のとおりである。

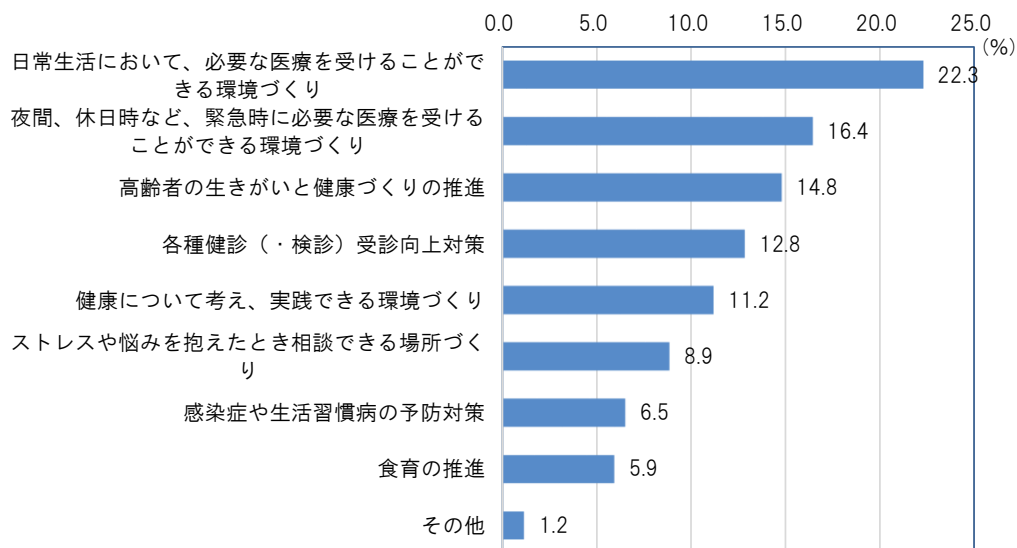
市民満足度調査の実施概要

- ・ 調査実施時期：平成 26 年 7 月 11 日～8 月 8 日
- ・ 配布枚数：1,200 件（実配付数 1,182 件）
- ・ 回収率：44.8%（529 件）

（1）健康・医療分野で重視すべき施策

- 「日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり」が 22.3%、「夜間、休日など緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり」が 16.4%となっており、医療体制の整備を必要としている回答者が多い。
- 次に、「高齢者の生きがいと健康づくりの推進」が 14.8%となっている。

図表 24 「健康・医療分野」で重視すべき施策



	回答数	割合 (%)
日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり	229	22.3
夜間、休日時など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり	169	16.4
高齢者の生きがいと健康づくりの推進	152	14.8
各種健診（・検診）受診向上対策	132	12.8
健康について考え、実践できる環境づくり	115	11.2
ストレスや悩みを抱えたとき相談できる場所づくり	91	8.9
感染症や生活習慣病の予防対策	67	6.5
食育の推進	61	5.9
その他	12	1.2
合計	1,028	100.0

- 健康・医療分野の現状評価では、「ストレスや悩みを抱えたとき相談できる場所」以外は、平均点 3.0 以上と高い状況である。
- 市民が、最も重視すべき施策として考える「日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり」、2 番目に重視すべき施策と考える「夜間、休日など緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり」の現状評価は 3.0 以上であり高評価であり、一定の評価は得ている。
- 年代別に健康・医療分野の施策をみると、10 代、40 代は「緊急時に必要な医療」、20 代は「各種検診受診向上対策」、30 代、50 代、60 代は「日常生活における医療環境」が高くなっている。
- 70 代以上は、「高齢者の生きがいと健康づくり」が 29.6%と特に高くなっていた。自分自身の生活と関わりが深い施策を重視する傾向にある。

図表 25 健康・医療分野の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり	229	22.3%	日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.53	2.9%
夜間、休日時など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり	169	16.4%	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.37	6.1%
健康について考え、実践できる環境づくり	115	11.2%	健康について考え、実践できる環境がある	3.02	14.4%
ストレスや悩みを抱えたとき相談できる場所づくり	91	8.9%	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.47	26.5%

図表 26 年代別にみる健康・医療分野で重視すべき施策

	健康について考え、実践できる環境づくり	感染症や生活習慣病の予防対策	各種健診（・検診）受診向上対策	食育の推進	ストレスや悩みを抱えたとき相談できる場所づくり	高齢者の生きがいと健康づくりの推進	日常生活において、必要な医療を受けることができる環境づくり	夜間、休日時など、緊急時に必要な医療を受けることができる環境づくり	その他	回答者数
10代	14.1%	9.2%	5.6%	3.5%	15.5%	7.0%	19.0%	24.6%	1.4%	142
20代	11.1%	6.2%	22.2%	4.9%	9.9%	8.6%	19.8%	17.3%	0.0%	81
30代	12.8%	4.8%	16.0%	8.8%	8.0%	7.2%	22.4%	19.2%	0.8%	125
40代	6.6%	9.5%	13.9%	8.0%	8.0%	9.5%	19.7%	22.6%	2.2%	137
50代	11.9%	5.6%	15.0%	5.0%	5.6%	14.4%	27.5%	14.4%	0.6%	160
60代	13.1%	5.3%	11.7%	4.9%	8.3%	18.4%	25.2%	11.7%	1.5%	206
70代以上	8.3%	5.3%	10.7%	7.1%	8.3%	29.6%	19.5%	10.7%	0.6%	169
全体	11.2%	6.5%	12.8%	6.0%	8.9%	14.7%	22.3%	16.6%	1.1%	1,020

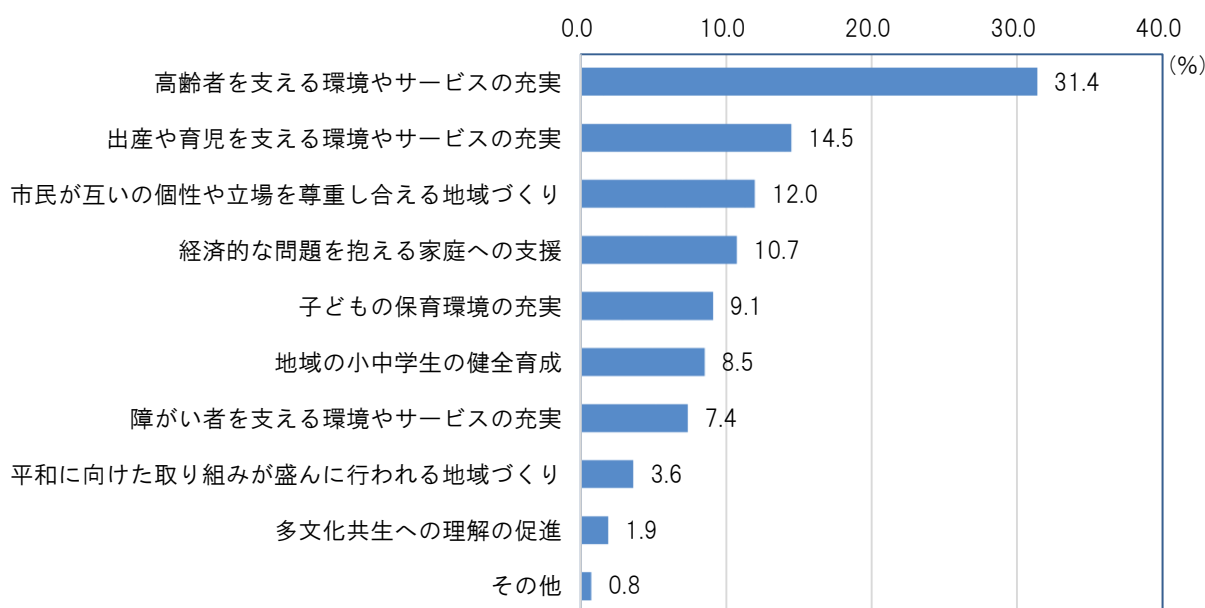
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(2) 福祉の充実、平和・人権意識の向上で重視すべき施策

- 「高齢者を支える環境やサービスの充実」が 31.4%と突出して割合が高い。次に「出産や育児を支える環境やサービスの充実」が 14.5%となっており、高齢化・少子化の拡大を見据えた対策を重視すべきと考える人が多い。
- 平和・人権分野よりも福祉分野の施策を重視する人が多い傾向にある。

図表 27 「福祉の充実、平和・人権意識の向上」分野で重視すべき施策

	回答数	割合(%)
高齢者を支える環境やサービスの充実	327	31.4
出産や育児を支える環境やサービスの充実	151	14.5
市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり	125	12.0
経済的な問題を抱える家庭への支援	112	10.7
子どもの保育環境の充実	95	9.1
地域の小中学生の健全育成	89	8.5
障がい者を支える環境やサービスの充実	77	7.4
平和に向けた取り組みが盛んに行われる地域づくり	38	3.6
多文化共生への理解の促進	20	1.9
その他	8	0.8
合計	1,042	100.0



- 福祉、平和・人権分野で、市民が最も重視すべきと考える「高齢者を支える環境やサービスの充実」は現状評価は 2.76 点であり、中央値 2.5 以上である。この項目は、一定の評価を得ているといえる。
- 「平和に向けた取組み」や「多文化共生への理解の促進」は、現状評価も重要度も低い。これらの項目は、回答保留の割合が高く、施策の重要性等が認識されていない可能性もある。
- 年代別に福祉の充実、平和・人権意識の向上分野の施策をみると、20 代以外は「高齢者を支える環境やサービスの充実」を最も重視していた。特に 50 代以上で、重視している人の割合は高くなっている。20 代、30 代の子育て世代は「出産や育児を支える環境やサービスの充実」を重視していた。自分自身の生活と関わりが深い分野を重視する傾向にある。

図表 28 福祉の充実、平和・人権意識の向上の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
高齢者を支える環境やサービスの充実	327	31.4%	【高齢者】高齢者のための環境やサービスが充実している	2.76	13.0%
出産や育児を支える環境やサービスの充実	151	14.5%	【子どもを持つ親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.68	12.4%
市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり	125	12.0%	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.61	22.7%
子どもの保育環境の充実	95	9.1%	【幼稚園・保育園の子どもを持つ親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	3.42	2.9%
障がい者を支える環境やサービスの充実	77	7.4%	【障害者の同居者】障害者のための環境やサービスが充実している	2.53	11.8%
平和に向けた取組みが盛んに行われる地域づくり	38	3.6%	平和に向けた取組みが盛んに行われている地域である	2.45	28.2%
多文化共生への理解の促進	20	1.9%	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である	2.42	33.9%

図表 29 年代別にみる福祉の充実、平和・人権意識の向上で重視すべき施策

	高齢者を支える環境やサービスの充実	障がい者を支える環境やサービスの充実	経済的な問題を抱える家庭への支援	出産や育児を支える環境やサービスの充実	子どもの保育環境の充実	地域の小中学生の健全育成	平和に向けた取組みが盛んに行われる地域づくり	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域づくり	多文化共生への理解の促進	その他	回答者数
10代	21.5%	12.5%	13.9%	13.2%	6.3%	9.0%	6.3%	11.8%	4.2%	1.4%	144
20代	25.6%	2.4%	4.9%	32.9%	12.2%	6.1%	2.4%	12.2%	1.2%	0.0%	82
30代	22.2%	4.8%	10.3%	22.2%	19.0%	11.9%	0.8%	4.0%	3.2%	1.6%	126
40代	26.1%	5.1%	11.6%	18.1%	12.3%	17.4%	2.2%	5.1%	2.2%	0.0%	138
50代	34.0%	9.3%	11.1%	7.4%	8.6%	7.4%	2.5%	16.7%	2.5%	0.6%	162
60代	37.8%	8.1%	6.7%	12.9%	6.2%	5.3%	4.8%	17.2%	0.0%	1.0%	209
70代以上	43.4%	6.4%	15.0%	6.4%	4.0%	5.2%	5.2%	13.3%	0.6%	0.6%	173
全体	31.4%	7.4%	10.7%	14.4%	9.1%	8.6%	3.7%	12.1%	1.8%	0.8%	1,034

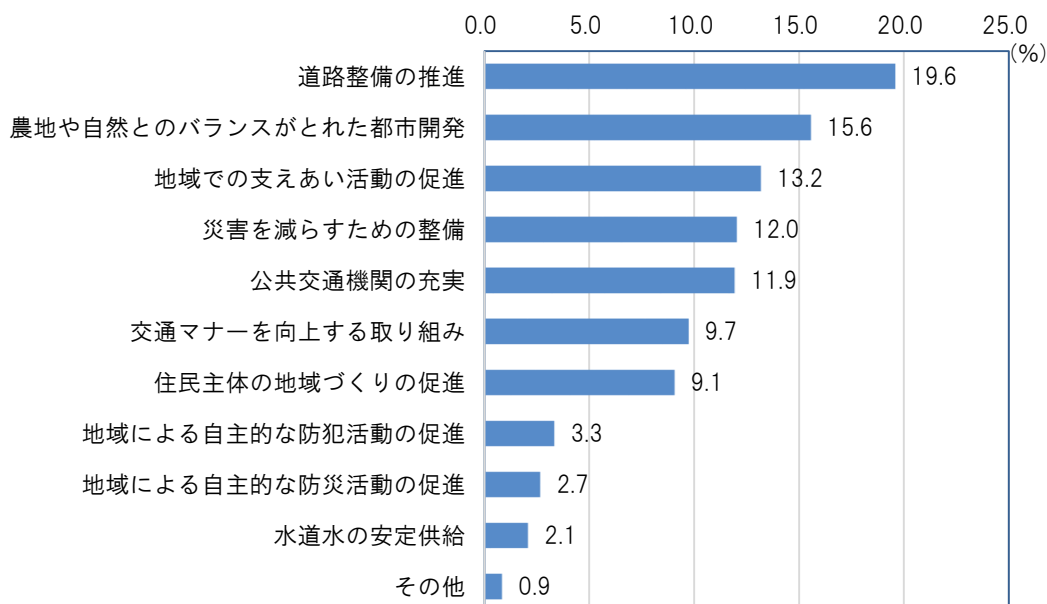
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(3) 地域基盤づくり分野で重視すべき施策

- 「道路整備の推進」が19.6%で最も割合が高い。次に「農地や自然とのバランスがとれた都市開発」が15.6%とインフラ整備を重視する人が多い。
- 地域での活動は、「地域での支えあい活動」のみ重視すべきと回答する人が多いが、それ以外は低い傾向にあり、地域自らが取り組むべきと考える人が多いといえる。「地域の支えあい活動の促進」は、地域活動のきっかけづくり、基盤となる部分であり、行政のサポートを求めていると考えられる。

図表 30 「地域基盤づくり分野」で重視すべき施策

	回答数	割合(%)
道路整備の推進	205	19.6
農地や自然とのバランスがとれた都市開発	163	15.6
地域での支えあい活動の促進	138	13.2
災害を減らすための整備	126	12.0
公共交通機関の充実	125	11.9
交通マナーを向上する取り組み	102	9.7
住民主体の地域づくりの促進	95	9.1
地域による自主的な防犯活動の促進	35	3.3
地域による自主的な防災活動の促進	28	2.7
水道水の安定供給	22	2.1
その他	9	0.9
合計	1,048	100.0



- 地域基盤づくり分野で、市民が最も重視すべき施策と考える「道路整備の推進は」は、現状評価が中央値 2.5 以下であり、低評価である。現状に課題を感じている人が多く、重視すべきと考えている施策といえる。
- 年代別に地域基盤づくり分野の施策をみると、70 代以上を除く世代で「道路整備の推進」を重視した。また、60 代、70 代以上は「地域での支え合い活動の促進」、50 代、70 代以上は「農地や自然とのバランスがとれた都市開発」も重視していた。

図表 31 地域基盤づくり分野の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
道路整備の推進	205	19.6%	生活道路を使った市内の移動がしやすい	2.34	3.5%
			主要道路を使った市内外の移動がしやすい	2.32	3.5%
			歩行者が安全に移動できる	2.12	2.9%
			自転車で安全に移動できる	1.97	6.0%
農地や自然とのバランスがとれた都市開発	163	15.6%	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	2.69	14.8%
地域での支えあい活動の促進	138	13.2%	地域住民による支えあいが行われている	2.75	10.7%
災害を減らすための整備	126	12.0%	災害情報を提供する体制が整っている	2.60	19.7%
公共交通機関の充実	125	11.9%	市民がすすんで公共交通を利用している	1.73	13.5%
交通マナーを向上する取り組み	102	9.7%	市民の交通マナーが向上している	1.89	7.3%
住民主体の地域づくりの促進	95	9.1%	地域団体やボランティア団体による地域活動が行われている	3.05	20.5%
地域による自主的な防犯活動の促進	35	3.3%	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	17.7%
地域による自主的な防災活動の促進	28	2.7%	地域による自主的な防災活動が行われている	3.01	13.5%
水道水の安定供給	22	2.1%	安全な水を利用することができる	3.54	3.5%

図表 32 年代別にみる地域基盤づくり分野で重視すべき施策

	住民主体の地域づくりの促進	地域での支えあい活動の促進	地域による自主的な防犯活動の促進	地域による自主的な防災活動の促進	災害を減らすための整備	農地や自然とのバランスがとれた都市開発	道路整備の推進	交通マナーを向上する取り組み	公共交通機関の充実	水道水の安定供給	その他	回答者数
10代	6.2%	6.2%	2.8%	1.4%	13.1%	13.8%	23.4%	14.5%	16.6%	1.4%	0.7%	145
20代	3.6%	12.0%	6.0%	7.2%	13.3%	9.6%	20.5%	18.1%	6.0%	2.4%	1.2%	83
30代	9.7%	5.6%	2.4%	1.6%	16.9%	12.9%	21.8%	11.3%	11.3%	4.0%	2.4%	124
40代	7.2%	9.4%	5.0%	3.6%	10.1%	19.4%	21.6%	9.4%	11.5%	2.9%	0.0%	139
50代	9.8%	13.5%	1.2%	3.7%	16.0%	17.8%	17.8%	7.4%	11.0%	1.8%	0.0%	163
60代	7.6%	21.3%	3.8%	2.8%	9.0%	13.7%	21.3%	7.6%	10.0%	1.4%	1.4%	211
70代以上	16.0%	18.3%	3.4%	0.6%	8.6%	18.3%	12.0%	6.3%	14.9%	1.7%	0.0%	175
全体	9.0%	13.3%	3.4%	2.7%	12.0%	15.5%	19.5%	9.8%	11.9%	2.1%	0.8%	1,040

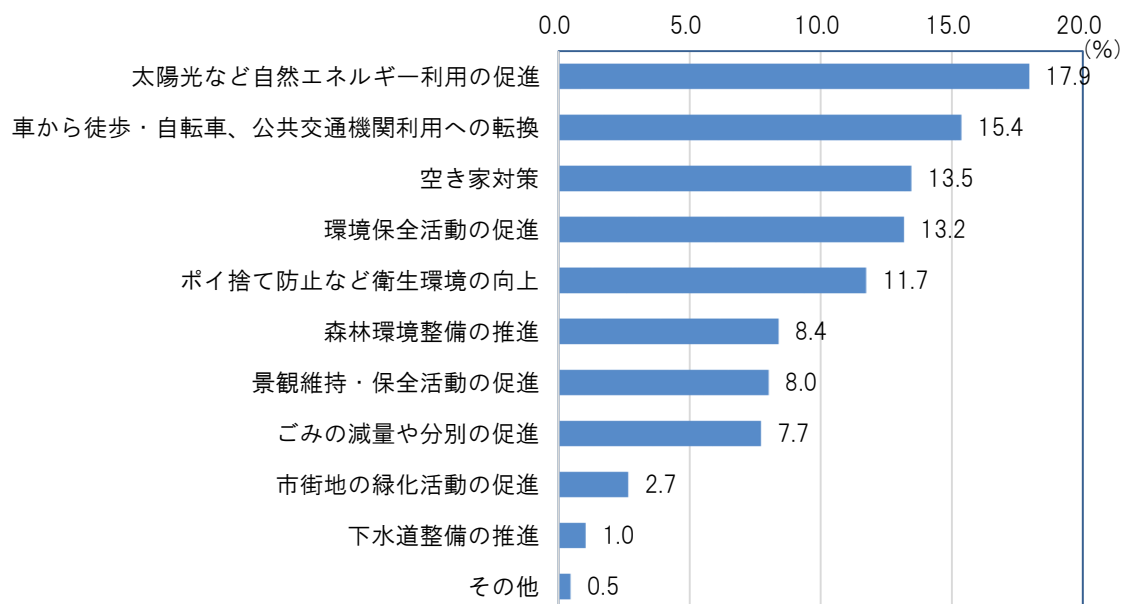
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(4) 環境保全分野で重視すべき施策

- 「太陽光など自然エネルギー利用の促進」が17.9%と最も割合が高い。松本市は全国的にもトップクラスの日射量があり、太陽光発電に適した地域である。環境にやさしいエコなまちを推進するためにも住宅向けの太陽光発電システム補助制度等の周知を進めていくことが必要である。
- 次に「公共交通機関利用への転換」が15.4%と高い。「空き家対策」も13.5%と比較的高くなっており、地域の発展や持続可能性につながるような施策を重視する人が多い。

図表 33 「環境保全分野」で重視すべき施策

	回答数	割合(%)
太陽光など自然エネルギー利用の促進	188	17.9
車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換	161	15.4
空き家対策	141	13.5
環境保全活動の促進	138	13.2
ポイ捨て防止など衛生環境の向上	123	11.7
森林環境整備の推進	88	8.4
景観維持・保全活動の促進	84	8.0
ごみの減量や分別の促進	81	7.7
市街地の緑化活動の促進	28	2.7
下水道整備の推進	11	1.0
その他	5	0.5
合計	1,048	100.0



- 環境保全分野で市民が最も重視すべきと考える「自然エネルギー利用の促進」は、現状評価が低い。家庭等への普及がまだ進んでいないため、重視すべきとして挙がってきているといえる。
- 年代別に環境保全分野の施策をみると、10代～40代は「太陽光など自然エネルギー利用の促進」、を最も重視していた。50代は「環境保全活動の推進」、60代は「空き家対策」、70代以上では「車から徒歩・自転車、公共交通利用への転換」となっていた。シニア層とそれ以外で傾向が異なった。

図表 34 環境保全分野の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
太陽光など自然エネルギー利用の促進	188	17.9%	省エネ機器や太陽光発電など自然エネルギー機器を積極的に導入している	2.30	3.9%
環境保全活動の促進	138	13.2%	自然や環境を守るための活動が行われている	2.96	15.6%
ポイ捨て防止など衛生環境の向上	123	11.7%	まちなかが衛生的に保たれている	3.17	5.4%
景観維持・保全活動の促進	84	8.0%	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.90	6.0%
ごみの減量や分別の促進	81	7.7%	市民がごみの資源化・分別をすることで減量に取り組んでいる	3.20	8.3%
市街地の緑化活動の促進	28	2.7%	自然や環境を守るための活動が行われている	2.96	15.6%
下水道整備の推進	11	1.0%	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.24	4.6%

図表 35 年代別にみる環境保全分野で重視すべき施策

	太陽光など自然エネルギー利用の促進	車から徒歩・自転車、公共交通機関利用への転換	ごみの減量や分別の促進	環境保全活動の促進	森林環境整備の推進	市街地の緑化活動の促進	空き家対策	下水道整備の推進	景観維持・保全活動の促進	ポイ捨て防止など衛生環境の向上	その他	回答者数
10代	24.1%	14.5%	11.7%	7.6%	6.2%	4.1%	8.3%	0.0%	4.8%	17.2%	1.4%	145
20代	19.3%	15.7%	15.7%	9.6%	0.0%	4.8%	8.4%	2.4%	13.3%	10.8%	0.0%	83
30代	21.3%	15.0%	5.5%	10.2%	7.1%	2.4%	9.4%	1.6%	6.3%	20.5%	0.8%	127
40代	21.7%	11.6%	7.2%	14.5%	10.1%	2.2%	15.2%	1.4%	8.7%	7.2%	0.0%	138
50代	17.2%	14.7%	8.0%	17.8%	9.8%	1.8%	11.0%	1.8%	9.2%	7.4%	1.2%	163
60代	14.3%	16.2%	4.3%	12.9%	11.9%	2.4%	21.4%	1.0%	8.1%	7.6%	0.0%	210
70代以上	12.1%	19.0%	6.9%	17.2%	7.5%	2.3%	13.8%	0.0%	6.9%	14.4%	0.0%	174
全体	18.0%	15.4%	7.8%	13.3%	8.3%	2.7%	13.4%	1.1%	7.9%	11.8%	0.5%	1,040

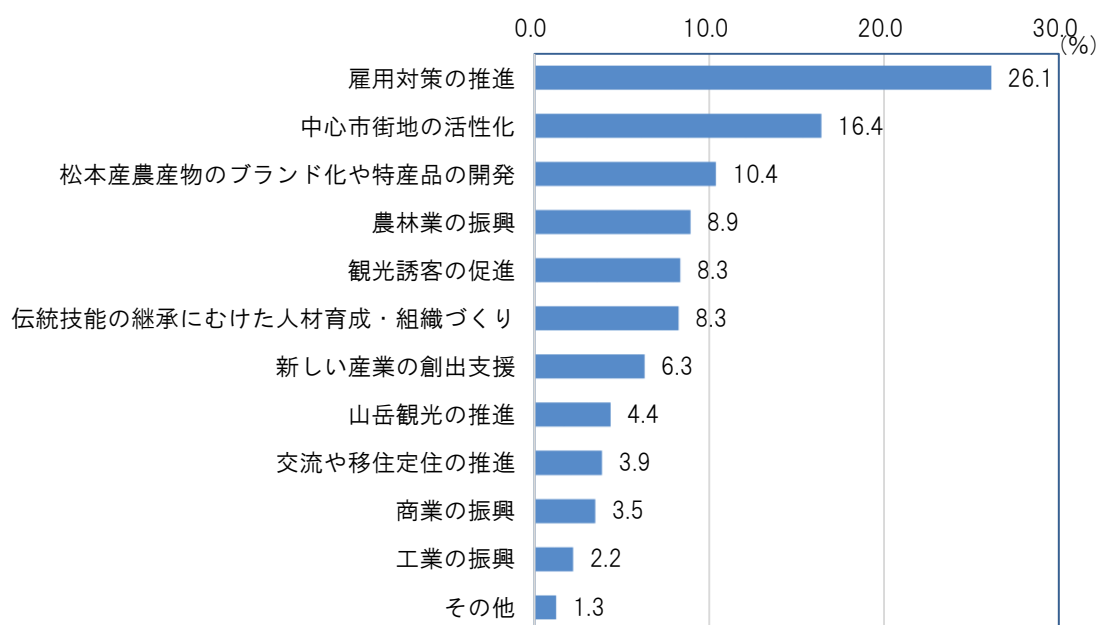
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(5) 経済・産業振興分野で重視すべき施策

- 「雇用対策の推進」が26.1%と突出して高く、回答が集中している、次に「中心市街地の活性化」が16.4%と高くなっている。一方で、各種産業に特化した施策については回答が分散している。これらの施策の推進も長い目でみれば、「雇用対策」や「中心市街地活性化」につながるといえるが、それよりも目に見えて経済的な衰退が表われている部分に問題を感じている人が多い。

図表 36 「経済・産業振興分野」で重視すべき施策

	回答数	割合(%)
雇用対策の推進	269	26.1
中心市街地の活性化	169	16.4
松本産農産物のブランド化や特産品の開発	107	10.4
農林業の振興	92	8.9
観光誘客の促進	86	8.3
伝統技能の継承にむけた人材育成・組織づくり	85	8.3
新しい産業の創出支援	65	6.3
山岳観光の推進	45	4.4
交流や移住定住の推進	40	3.9
商業の振興	36	3.5
工業の振興	23	2.2
その他	13	1.3
合計	1,030	100.0



- 経済・産業振興分野では、市民が最も重視すべき施策と考える「雇用対策の推進」は、現状評価が非常に評価が低く、雇用を確保する取組みを課題として捉えている人が多いといえる。
- 年代別に経済・産業振興分野の施策をみると、すべての世代で「雇用対策の推進」を最も重視する結果となった。特に40代で重視する人が33.1%であり、多くなっている。

図表 37 経済・産業振興分野の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
雇用対策の推進	269	26.1%	雇用を確保する取組みが行われている	2.08	29.0%
中心市街地の活性化	169	16.4%	中心市街地へ買物や食事、催事などで出かける機会が増えている	2.32	1.7%
松本産農産物のブランド化や特産品の開発	107	10.4%	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.00	7.7%
観光誘客の促進	86	8.3%	行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる	2.85	12.2%
山岳観光の推進	45	4.4%			

図表 38 年代別にみる経済・産業振興分野で重視すべき施策

	伝統技能の継承にむけた人材育成・組織づくり	中心市街地の活性化	山岳観光の推進	雇用対策の推進	農林業の振興	商業の振興	工業の振興	松本産農産物のブランド化や特産品の開発	新しい産業の創出支援	観光誘客の促進	交流や移住定住の推進	その他	回答者数
10代	10.6%	21.3%	6.4%	17.7%	8.5%	2.8%	5.0%	4.3%	6.4%	11.3%	4.3%	1.4%	141
20代	13.4%	19.5%	1.2%	22.0%	3.7%	7.3%	1.2%	8.5%	4.9%	8.5%	6.1%	3.7%	82
30代	7.2%	16.0%	4.0%	25.6%	7.2%	8.0%	0.0%	16.0%	4.0%	8.0%	3.2%	0.8%	125
40代	4.4%	12.5%	2.9%	33.1%	8.1%	5.9%	1.5%	14.7%	4.4%	8.8%	1.5%	2.2%	136
50代	6.8%	15.5%	5.0%	29.8%	7.5%	0.6%	3.7%	10.6%	6.8%	8.7%	4.3%	0.6%	161
60代	7.2%	13.9%	3.8%	29.8%	10.1%	2.9%	2.4%	10.1%	8.7%	6.3%	4.3%	0.5%	208
70代以上	10.1%	17.8%	5.3%	22.5%	13.0%	0.6%	1.2%	9.5%	7.1%	7.7%	4.1%	1.2%	169
全体	8.2%	16.3%	4.3%	26.2%	8.8%	3.5%	2.3%	10.5%	6.4%	8.3%	3.9%	1.3%	1,022

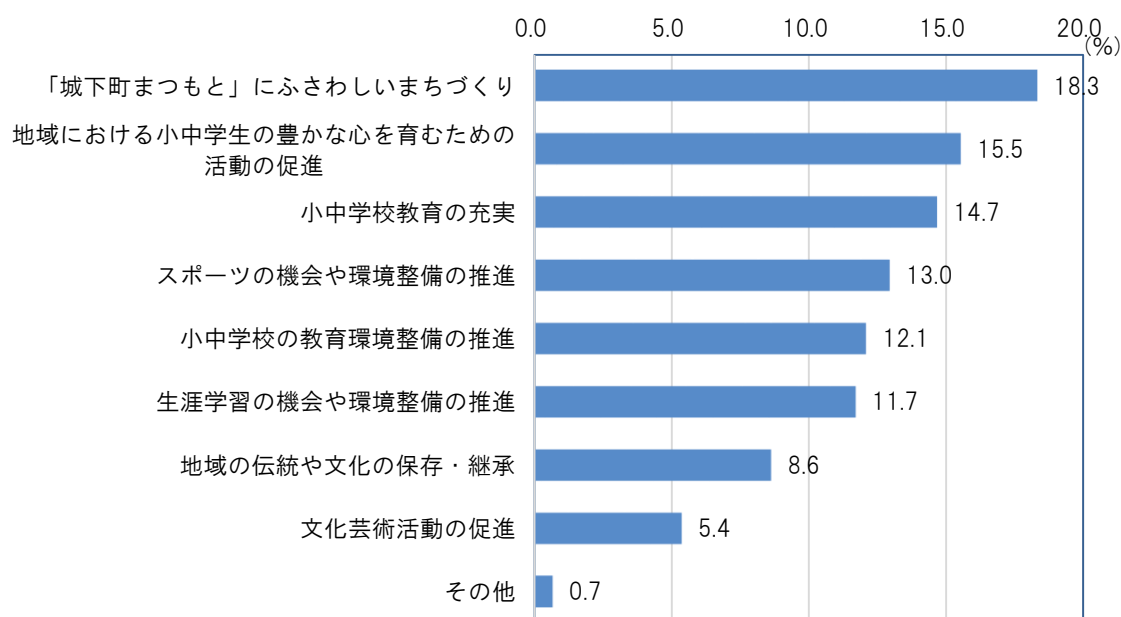
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(6) 教育・スポーツ・文化振興分野で重視すべき施策

- 「『城下町まつもと』にふさわしいまちづくり」と回答した人の割合が 18.3%と最も多く、松本のシンボルである松本城やその歴史を重んじる人が多いことがわかる。
- 次いで、「地域における小中学生の豊かな心を育むための活動の促進」が 15.5%、「小中学校教育の充実」が 14.7%と多くなっており、子どもたちへの教育に対するニーズも高い。

図表 39 「教育・スポーツ・文化振興分野」で重視すべき施策

	回答数	割合 (%)
「城下町まつもと」にふさわしいまちづくり	191	18.3
地域における小中学生の豊かな心を育むための活動の促進	162	15.5
小中学校教育の充実	153	14.7
スポーツの機会や環境整備の推進	135	13.0
小中学校の教育環境整備の推進	126	12.1
生涯学習の機会や環境整備の推進	122	11.7
地域の伝統や文化の保存・継承	90	8.6
文化芸術活動の促進	56	5.4
その他	7	0.7
合計	1,042	100.0



- 教育・スポーツ・文化振興分野で、市民が最も重視すべきと考える『『城下町まつもと』にふさわしいまちづくり』は、現状評価が2.86点であり、中央値よりは高くなっており、一定の評価は得ている。
- 年代別に健康・医療分野の施策をみると、10代は「スポーツの機会や環境整備の推進」、20代と50代～70代以上は『『城下町まつもと』にふさわしいまちづくり』、30代、40代は「小中学校教育の充実」を重視している傾向にあった。世代によって、ばらつきが多い分野となっている。

図表 40 教育・スポーツ・文化振興分野の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
「城下町まつもと」にふさわしいまちづくり	191	18.3%	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.86	15.8%
地域における小中学生の豊かな心を育むための活動の促進	162	15.5%	青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.16	18.8%
小中学校教育の充実	153	14.7%	小中学生が学校や地域で生きいきとしている(小中学生の親のみ対象)	3.06	10.5%
スポーツの機会や環境整備の推進	135	13.0%	継続的にスポーツに親しんでいる	2.42	6.1%
小中学校の教育環境整備の推進	126	12.1%	充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている(小中学生の親のみ対象)	2.86	10.6%
生涯学習の機会や環境整備の推進	122	11.7%	趣味や学びを気軽に行える施設が充実している	2.73	17.2%
地域の伝統や文化の保存・継承	90	8.6%	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.01	14.8%
文化芸術活動の促進	56	5.4%	音楽や芸術にふれている	2.54	4.7%

図表 41 年代別にみる教育・スポーツ・文化振興分野で重視すべき施策

	小中学校教育の充実	小中学校の教育環境整備の推進	地域における小中学生の豊かな心を育むための活動の促進	生涯学習の機会や環境整備の推進	スポーツの機会や環境整備の推進	文化芸術活動の促進	地域の伝統や文化の保存・継承	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくり	その他	回答者数
10代	11.7%	13.8%	10.3%	5.5%	27.6%	4.1%	12.4%	13.8%	0.7%	145
20代	15.9%	7.3%	13.4%	2.4%	19.5%	6.1%	12.2%	20.7%	2.4%	82
30代	21.4%	21.4%	11.1%	3.2%	15.9%	7.9%	7.1%	11.9%	0.0%	126
40代	23.2%	13.8%	11.6%	12.3%	12.3%	7.2%	4.3%	14.5%	0.7%	138
50代	12.9%	14.1%	14.1%	16.0%	11.7%	7.4%	8.0%	16.0%	0.0%	163
60代	12.6%	9.2%	19.8%	15.5%	4.8%	4.3%	8.2%	25.1%	0.5%	207
70代以上	8.7%	6.9%	23.7%	18.5%	7.5%	2.3%	9.8%	22.0%	0.6%	173
全体	14.6%	12.2%	15.6%	11.7%	13.1%	5.4%	8.7%	18.2%	0.6%	1,034

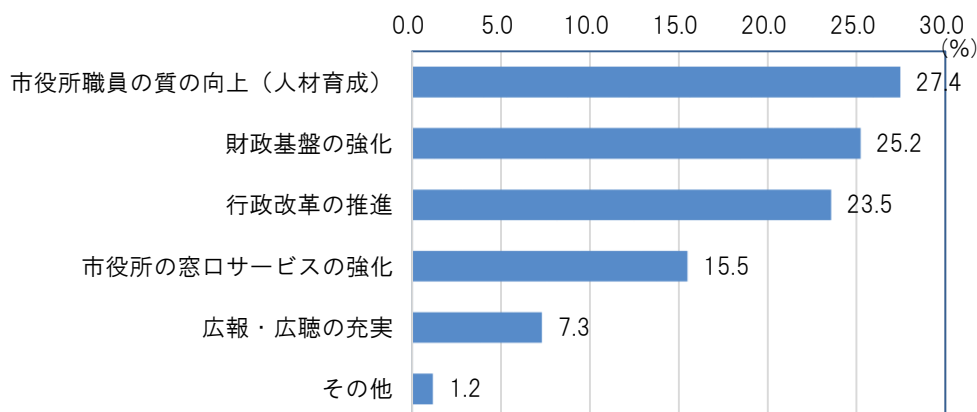
※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

(7) 質の高い行政経営で重視すべき施策

- 「市役所職員の質の向上」と回答した人が最も多く 27.4%であった。次いで、「財政基盤の強化」が 25.2%、「行政改革の推進」が 23.5%である。

図表 42 「質の高い行政経営」で重視すべき施策

	回答数	割合 (%)
市役所職員の質の向上(人材育成)	282	27.4
財政基盤の強化	259	25.2
行政改革の推進	242	23.5
市役所の窓口サービスの強化	159	15.5
広報・広聴の充実	75	7.3
その他	12	1.2
合計	1,029	100.0



- 質の高い行政経営分野で、市民が最も重視すべきと考える「職員の質の向上」に関しては、現状評価が2.61点と中央値よりはやや高くなっている。一定の評価は得ているもののまだ課題と感じている人が多いといえる。
- 年代別に質の高い行政経営の分野をみると、10代、20代は「財政基盤の強化」、30代～60代は「行政職員の質の向上」、70代は「行政改革野推進」の回答割合が高くなっていた。

図表 43 質の高い行政経営の重要度と現状評価

施策の重要度			H26年度 現状評価		
施策	回答数	割合	対応する調査項目	平均値	回答保留の割合
市役所職員の質の向上(人材育成)	282	27.4%	職員の対応に好感を持つことができる	2.61	15.6%
行政改革の推進	242	23.5%	市民の声が行政に届きやすい	2.27	27.0%
広報・広聴の充実	75	7.3%	行政の活動に関心を持っている	2.63	9.3%

図表 44 年代別にみる質の高い行政経営で重視すべき施策

	行政改革の推進	財政基盤の強化	市役所の窓口サービスの強化	広報・広聴の充実	市役所職員の質の向上(人材育成)	その他	回答者数
10代	22.5%	33.1%	16.9%	11.3%	14.8%	1.4%	142
20代	16.3%	31.3%	22.5%	11.3%	18.8%	0.0%	80
30代	11.8%	29.9%	14.2%	7.9%	35.4%	0.8%	127
40代	23.0%	20.0%	19.3%	6.7%	29.6%	1.5%	135
50代	23.5%	29.6%	14.2%	2.5%	29.6%	0.6%	162
60代	28.4%	20.2%	12.0%	7.7%	29.8%	1.9%	208
70代以上	31.7%	18.6%	14.4%	6.6%	28.1%	0.6%	167
全体	23.6%	25.3%	15.5%	7.3%	27.2%	1.1%	1,021

※色が付いている部分は、最も回答が多い箇所である

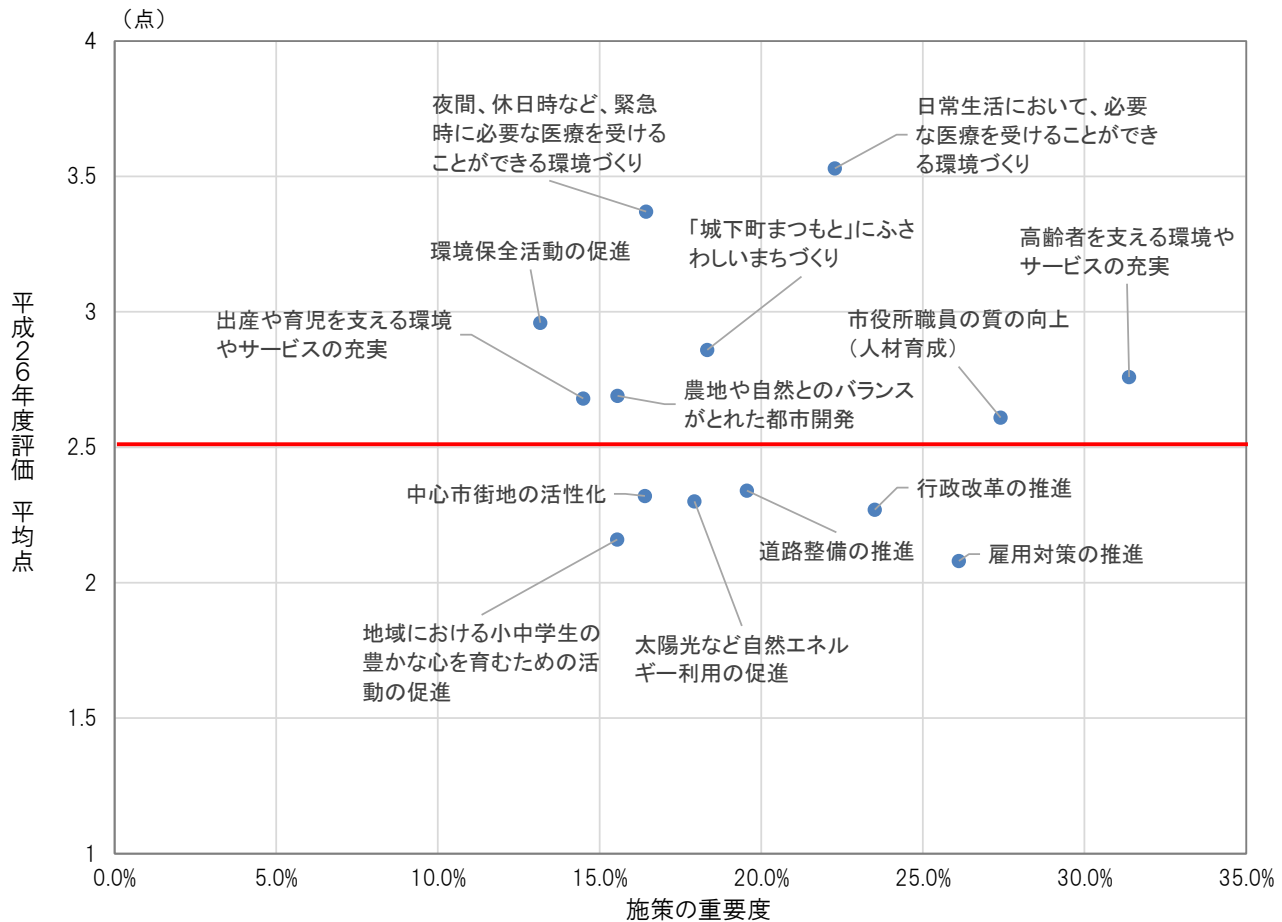
3. 施策別にみる行政の取組みの方向性

(1) 施策の重要度の上位項目と現状評価の分析

基本目標の6つの柱と行政経営を含めた7つの政策分野の中で、重視すべきと考える政策の上位に挙がっている項目と現状評価の関係について分析を行う。

下図は、各政策分野で重視すべき施策と考える上位2つの回答割合（現状評価と対応が取れる上位2つである）と現状評価の結果を組み合わせたものである。

図表 45 施策の重要度（上位）と現状評価



※現状評価と対応が取れていない項目は掲載していない

※重要度は、政策分野ごとに重視すべき施策を単一回答で聞いている。政策分野ごとに選択肢数に違いがあるため、単純に比較することはできない。

現状評価の結果をもとに、「現状を維持・保持していく施策」と「課題の克服を望む施策」の2つに分けることができるといえる。

●現状を維持・保持していく施策

現状評価が2.5点以上であり一定の評価を得ており、重視すべきという人が多い施策である。現状、松本市の強みといえる分野である。環境づくりは現状を保持し、ソフト面の取組みに関しては維持していくことが必要といえる。

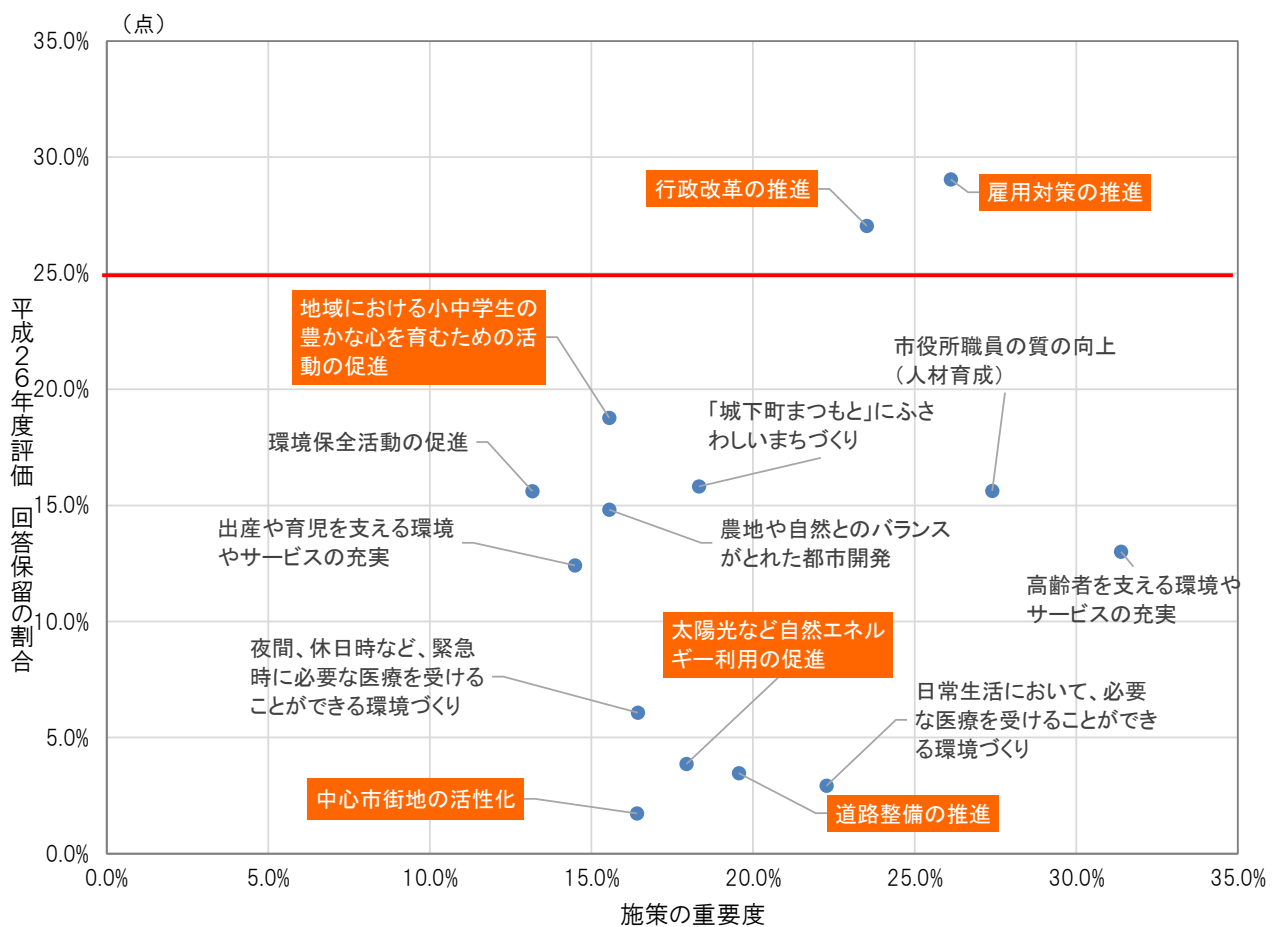
●課題の克服を望む施策

現状評価が2.5点未満かつ、重視すべきという人が多い施策であり、何らかの課題に対応すべきと考える人が多い施策である。この施策は、まずは何が課題であるのか、市民が感じている課題が実態に即したのか、緊急性が高いことであるのか等を検証する必要がある。

検証の1つとして、回答保留の割合とあわせて見ていくという方法がある。下図は、施策の重要度と回答保留の割合を組み合わせたものである。重要度が高い施策のうち、行政改革の推進や雇用対策の推進は回答保留の割合が高い。これらの項目は、受益者が限定的、もしくは施策の成果が市民が判断できるほどの水準で周知されていないなどの可能性がある。雇用対策の場合は、課題の把握の仕方に工夫が必要である。行政改革の場合は市民への周知が必要といえる。

重要度が高く、回答保留の割合が低い項目は、何らかの課題をもとに判断しているといえる。課題を把握し、緊急性が高いことかを判断したうえで、改善策を検討することが求められる。

図表 46 施策の重要度（上位）と回答保留の割合



※白文字の施策は、現状評価が2.5以下の施策である。

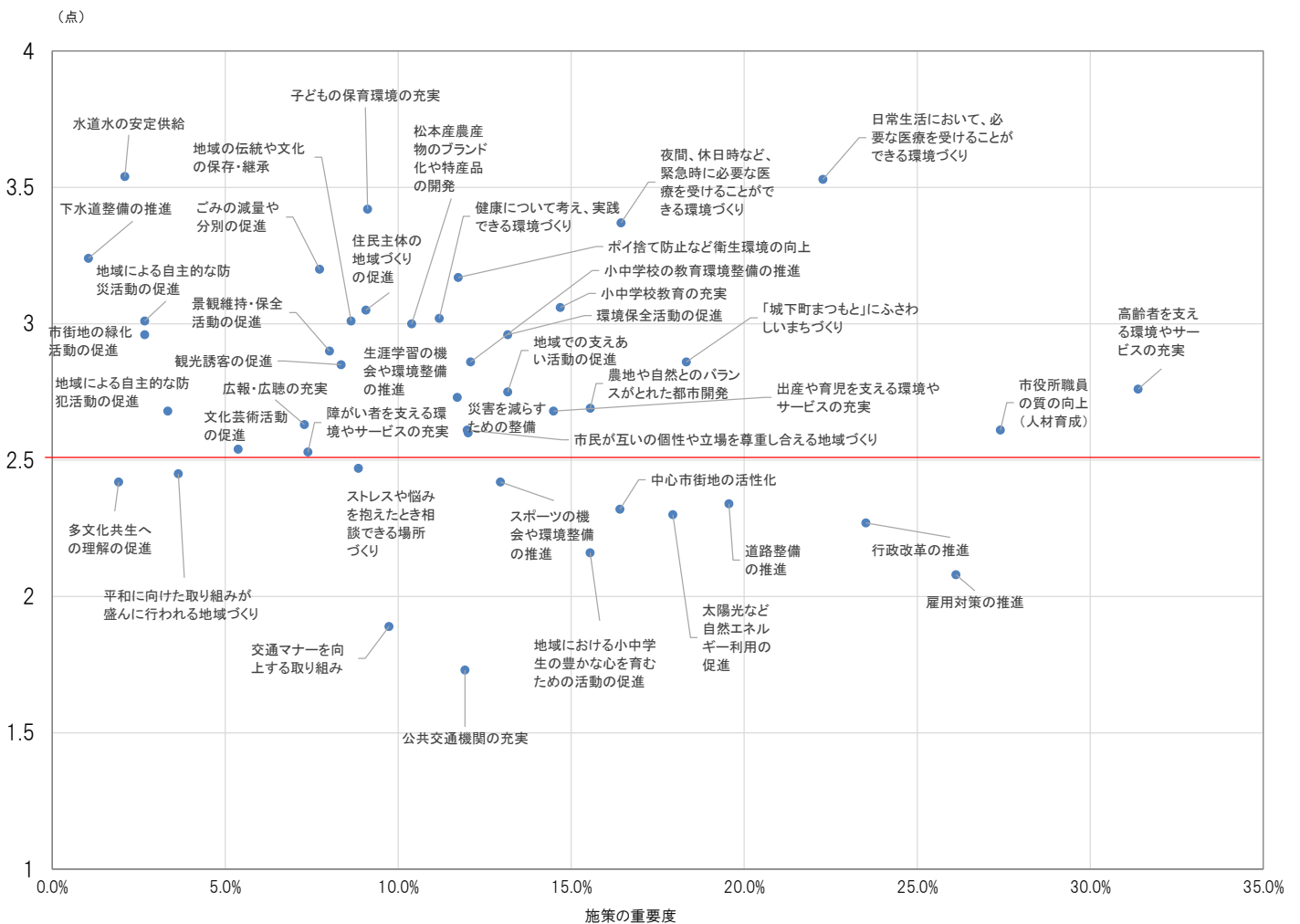
(2) 施策の重要度と現状評価の分析(全体)

下図は、施策の重要度と現状評価を組み合わせたものである。次頁は、施策の重要度と回答保留の割合を組み合わせたものである。重要度が高い施策については、前項で分析を行っているため、ここでは重要度が低い施策に焦点をあてる。

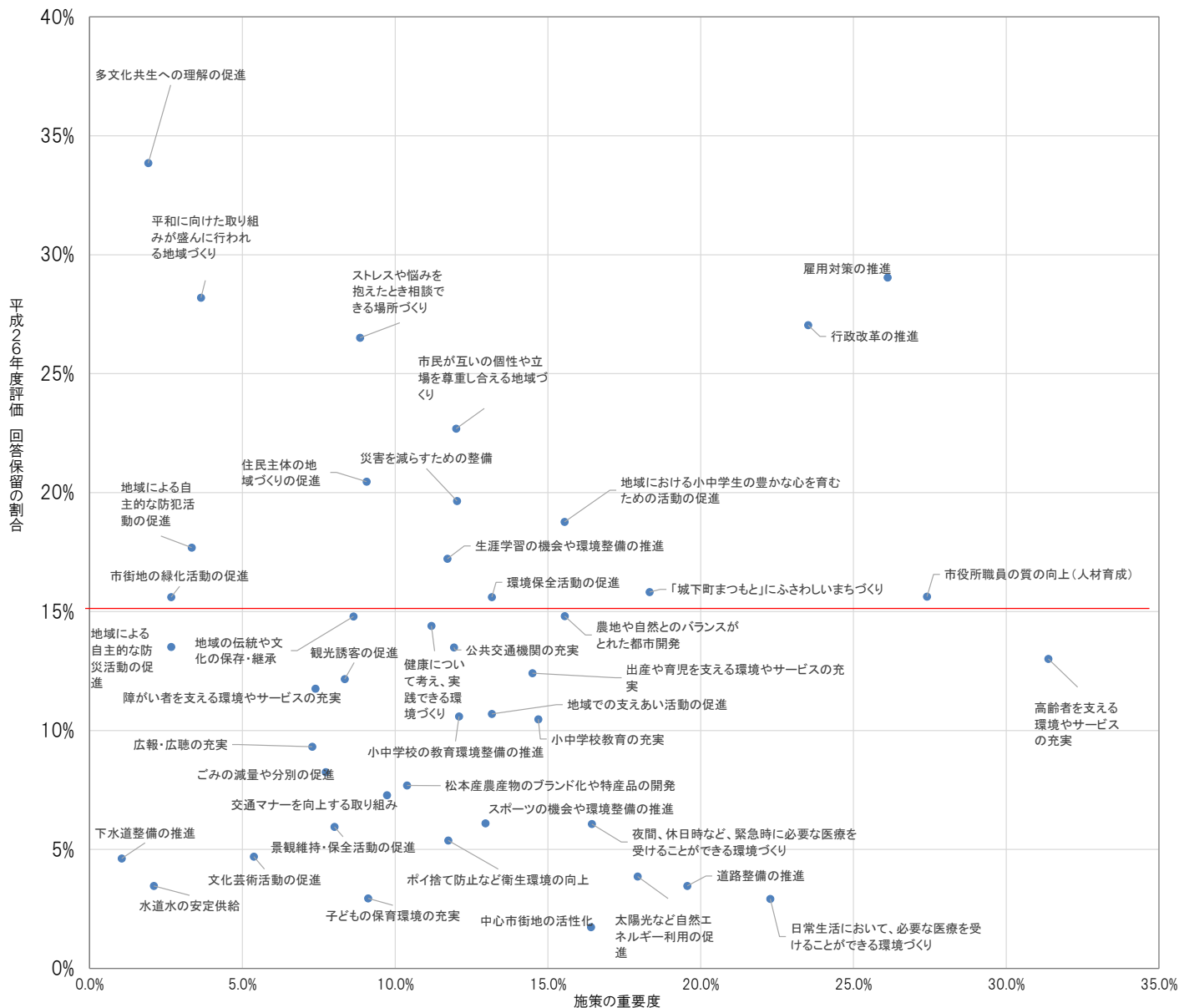
重要度も現状評価も低い項目は、回答保留の割合が高い傾向にあった。施策としては、多文化共生や平和に向けた取組み、ストレスや悩みを抱えたときに相談できる場所づくり等である。これらの項目は、当該施策に対する関心が薄い可能性がある。シビルミニマムと照らし合わせ、何をすべきかを見極めながら取り組む必要があるといえる。

現状評価が2.5以上で重要度が低い項目は、すでに満足しており、これ以上良好な環境を求めているといえる。また、行政ではなく地域が主体的に取り組むべき活動が含まれているといえる。この部分に関しては、現状の環境を保持していくこと、地域の主体性を尊重し、サポートにまわることが求められる。

図表 47 施策の重要度と現状評価(全体)

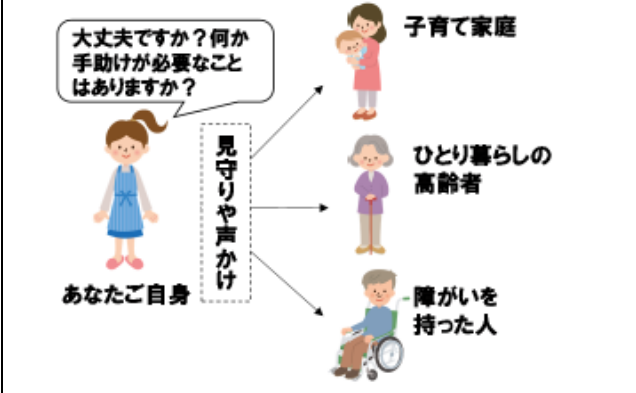
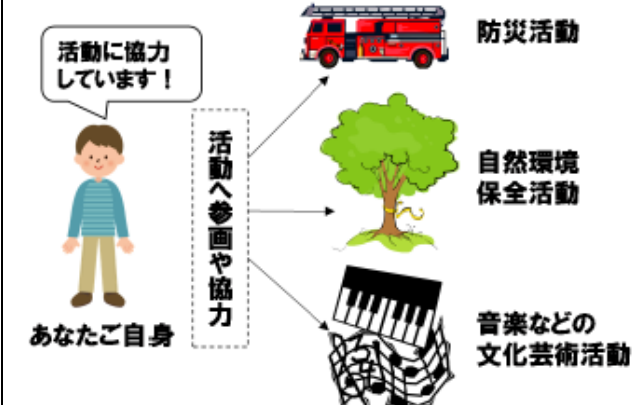
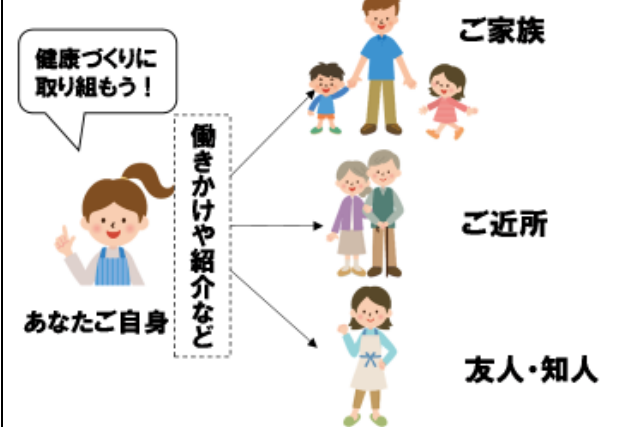


図表 48 施策の重要度と回答保留の割合（全体）



第4節 施策実施にかかる市民の関わり方の状況と今後の意向

本節では、各施策の「市民の関わり方」を1～4のとおりに整理した。この結果から、市民の取り組みを促す支援の仕方や行政が特に取り組むべき施策を明らかにする。「現在取り組んでいるか」「これからも取り組み続けたいか、もしくは、今後取り組みたいか」について質問を設けている。

政策に対する市民の関わり方	主な該当政策	イメージ
<p>1</p> <p>住民同士の助け合いを基本とした施策であり、市民の積極的な関わりが求められる。</p>	<p>地域コミュニティづくり、高齢者、障害者福祉など</p>	<p>イメージ</p> 
<p>2</p> <p>市民は活動等への「参画や協力」をしていくことが求められる施策。</p>	<p>廃棄物抑制、環境教育、森林保全など</p>	<p>イメージ</p> 
<p>3</p> <p>個人の意識醸成や行動を働きかける施策。市民はまわりの人に紹介や働きかけをすることが求められる。</p>	<p>健康づくり、交通マナーの向上、平和意識、多文化共生など</p>	<p>イメージ</p> 
<p>4</p> <p>市民が関与できる部分が少ない施策。</p>	<p>工業振興、道路整備など</p>	<p>・調査項目を設定していない</p>

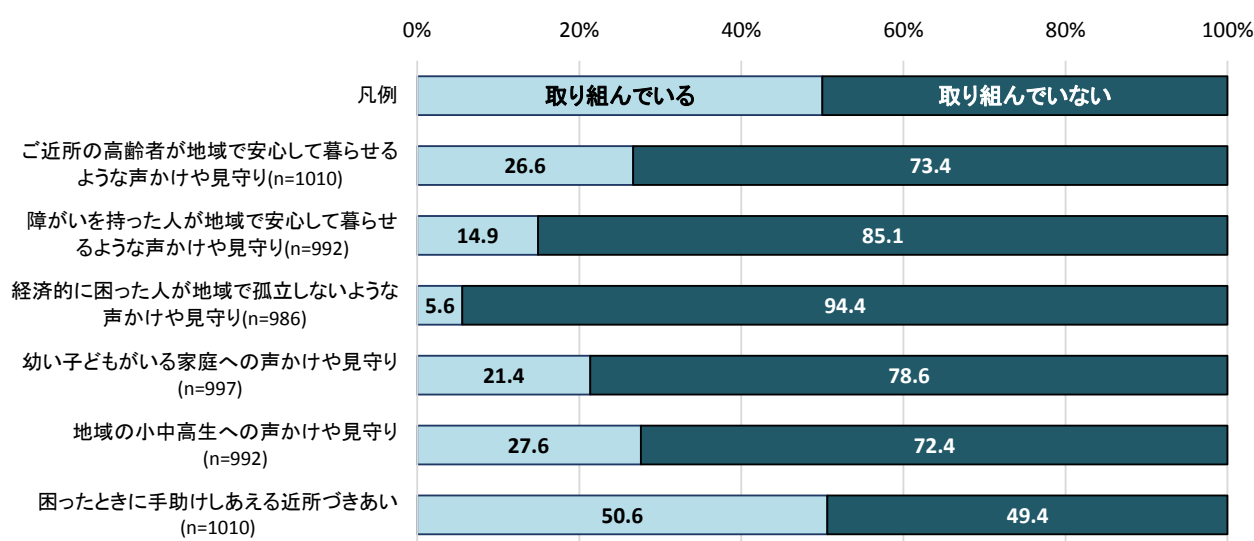
1. 住民同士の助け合いを基本とした施策の分析

「住民同士の助け合いを基本としており、市民の積極的な関わりが求められる施策」の現在取り組んでいる状況と今後の取り組み意向は以下のとおりである。

- 現在の取り組みでは、「困ったときに手助けしあえる近所づきあい」が 50.6%と突出して多く、今後の意向でも、取り組みたい（そう思う、ややそう思う）とする数が 85.0%と最も多い。
- 施策の重要度が非常に高かった高齢者福祉に関する取り組みである「ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り」は現在取り組んでいる人の割合が 26.6%とあまり高くなかった。これから訪れる高齢化社会において、住み慣れた地域で最期まで自分らしく安心して生活できる体制づくりを地域・事業者・行政とともに構築していくことが必要であるといえる。
- 「障害を持った人への声かけや見守り」は現在の取り組み状況は 14.9%と多くないが、今後、取り組みたいとする人が比較的多い。
- 「経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り」は取り組んでいる人が少ない上に、今後取り組みたい人も少ない。経済面は、まわりからわかりづらい上に介入しづらい分野といえる。生活保護受給者が増加しており、孤立・孤独を抱える人は今後増えると考えられ、地域で何ができるかを検討する必要がある。
- 年代別にみると、60 代以上の高齢者世代で「困ったときに手助けしあえる近所づきあい」、「ご近所の高齢者への声かけや見守り」に取り組んでいる人が多く、若年世代では少ない傾向にある。今後の意向については年代別に大きな差はみられない。
- 3つの施策カテゴリーで現在の取り組み状況を比較すると「住民同士の関わりを基本とした施策」の平均点が一番低かった。最も市民一人ひとりの取り組みが必要といえる「住民同士の関わりを基本とした施策」が低いことは課題といえる。まわりのなんらかの手助けが必要な人への見守りや声かけを行う取り組みを実施している人が少なかった。全市的には見守りや声かけの必要性を伝えながら、自ら地域を支える意識醸成を行うとともに、地区においては手助けが必要な人がいることを共有し、何ができるか、何を必要としているかを検討していくことが求められる。

図表 49 現在取り組んでいる状況

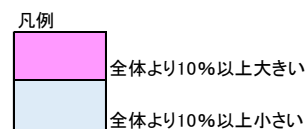
		取り組んでいる	取り組んでいない
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	回答数	269	741
	割合(%)	26.6	73.4
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	回答数	148	844
	割合(%)	14.9	85.1
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	回答数	55	931
	割合(%)	5.6	94.4
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	回答数	213	784
	割合(%)	21.4	78.6
地域の小中高生への声かけや見守り	回答数	274	718
	割合(%)	27.6	72.4
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	回答数	511	499
	割合(%)	50.6	49.4



図表 50 年代別にみた取組みの状況

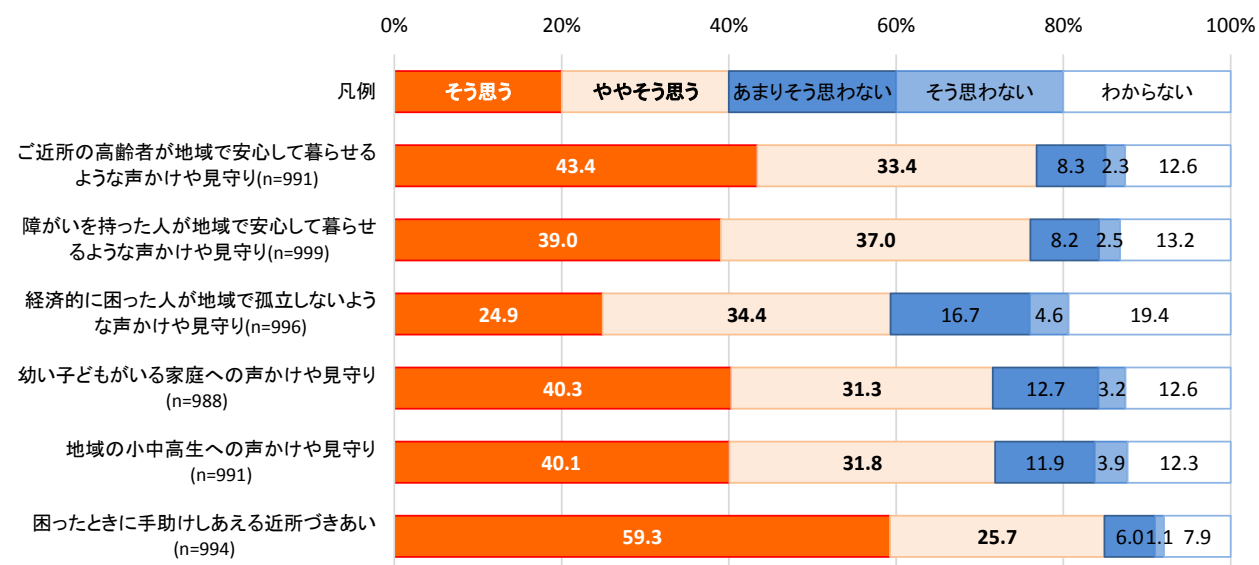
(単位：%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	17.6	11.3	16.3	17.8	25.9	39.7	43.0	26.6
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	12.6	8.6	8.1	8.1	14.1	20.2	27.2	14.9
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	4.2	1.2	1.6	3.7	2.5	8.5	14.4	5.6
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	18.9	18.5	24.8	24.8	11.2	26.0	24.3	21.4
地域の小中高生への声かけや見守り	19.7	14.8	26.0	36.0	22.4	32.8	35.1	27.6
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	30.6	29.6	44.4	49.3	49.7	64.8	68.8	50.6



図表 51 今後の意向（取り組み続けたい、あるいは取り組もうと思っている）

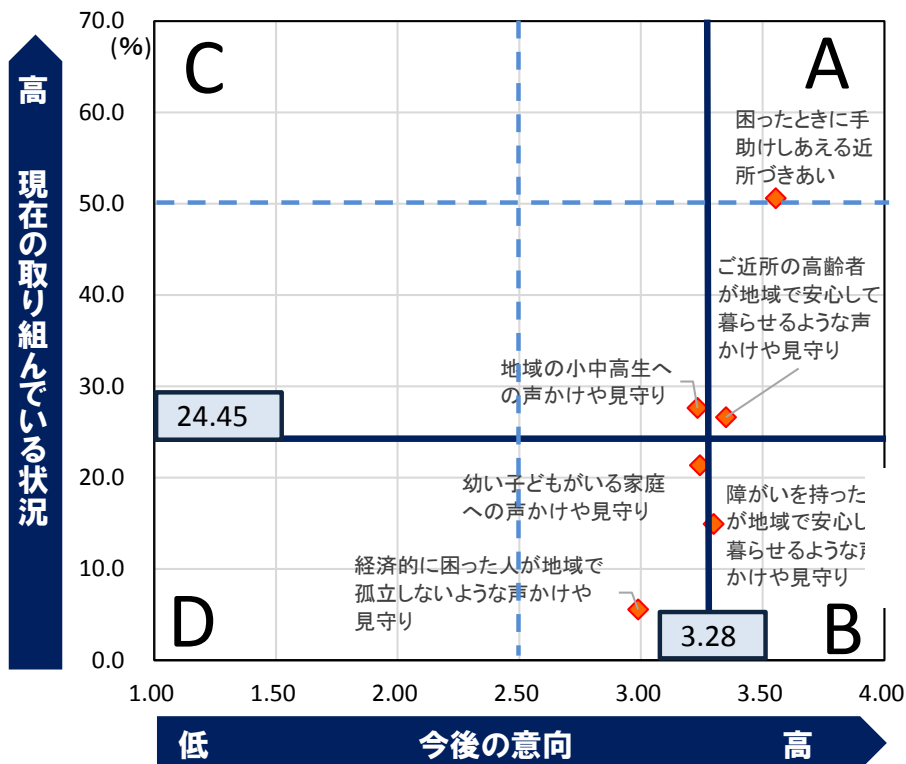
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思 わない	そう思わない	わからない	合計	平均点
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるよ うな声かけや見守り	回答数	430	331	82	23	125	991	3.35
	割合(%)	43.4	33.4	8.3	2.3	12.6	100.0	
障がいを持った人が地域で安心して暮らせ るような声かけや見守り	回答数	390	370	82	25	132	999	3.30
	割合(%)	39.0	37.0	8.2	2.5	13.2	100.0	
経済的に困った人が地域で孤立しないよ うな声かけや見守り	回答数	248	343	166	46	193	996	2.99
	割合(%)	24.9	34.4	16.7	4.6	19.4	100.0	
若い子どもがいる家庭への声かけや見守り	回答数	398	309	125	32	124	988	3.24
	割合(%)	40.3	31.3	12.7	3.2	12.6	100.0	
地域の小中高生への声かけや見守り	回答数	397	315	118	39	122	991	3.23
	割合(%)	40.1	31.8	11.9	3.9	12.3	100.0	
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	回答数	589	255	60	11	79	994	3.55
	割合(%)	59.3	25.7	6.0	1.1	7.9	100.0	



図表 52 年代別にみた今後の取り組み意向の平均点

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるよ うな声かけや見守り	3.13	3.21	3.34	3.25	3.30	3.56	3.50	3.35
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるよ うな声かけや見守り	3.15	3.18	3.27	3.20	3.26	3.50	3.39	3.30
経済的に困った人が地域で孤立しないよ うな声かけや見守り	2.94	2.91	2.96	2.83	2.85	3.21	3.09	2.99
若い子どもがいる家庭への声かけや見守り	3.07	3.28	3.37	3.20	3.06	3.41	3.28	3.24
地域の小中高生への声かけや見守り	3.02	3.12	3.35	3.23	3.10	3.41	3.27	3.23
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	3.41	3.49	3.57	3.51	3.44	3.71	3.70	3.55

図表 53 現在、取り組んでいる状況と将来の意向



※点線は中央値、実践は平均点である

データの読み方

現在の取り組んでいる人の割合	今後、取り組みたい人	
高	<p>C : 現在取り組んでいる人は多いが今後取り組みたい人は少ない</p> <p>C 現在の取組みを継続させていくことが必要。今後の意向が低いため、啓発の仕方等を検討していくことが必要。</p>	<p>A : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p> <p>A 現状を維持しながら、「市民主体」で継続的に行われるように働きかけをしていくことが必要。</p>
低	<p>D : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p> <p>D 市民の積極的な関わりが求められる施策である。関わりづらい理由を把握しながら、必要性の啓発を行っていくことが必要</p>	<p>B : 現在取り組んでいる人は少ないが今後取り組みたい人は多い</p> <p>B 現在、取り組んでいる人が少ないことが課題。しかし、意向を持った人は多いため、きっかけづくりや行動を促すような支援が必要。</p>

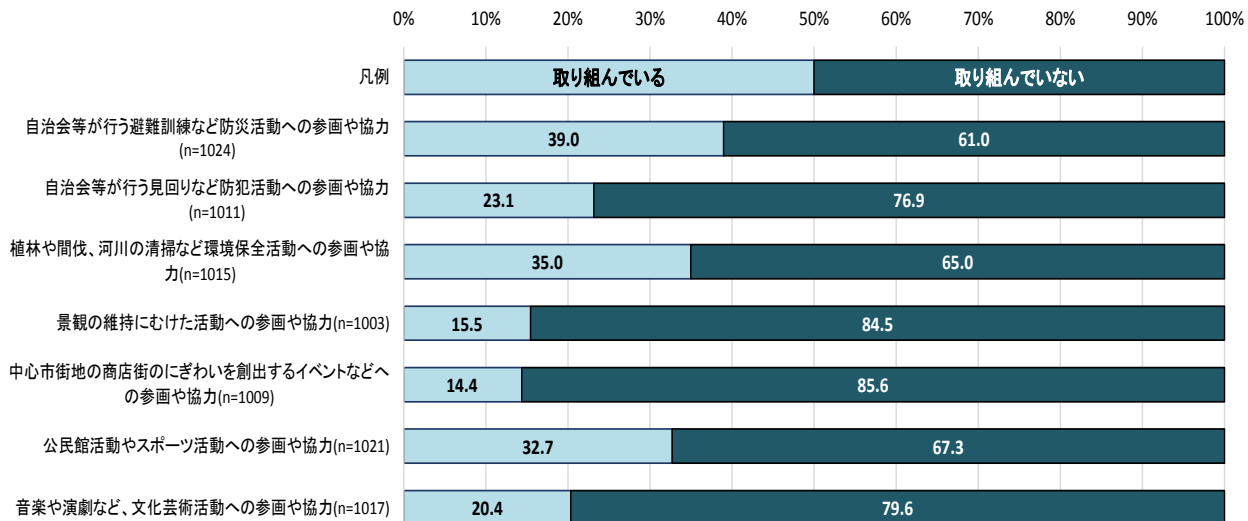
2. 市民の活動等への参画や協力が求められる施策の分析

「市民の活動等への参画や協力が求められる施策」の現在取り組んでいる状況と今後の取組み意向は以下のとおりである。

- 「自治会が行う避難訓練など防災活動への参画や協力」については、39.0%が現在取り組んでいた。今後取り組みたいと考えている人の割合は75.5%となっていた。
- 「中心市街地の商店街の賑わいを創出するイベントなどへの参画や協力」については、現在取り組んでいるのは14.4%、今後取り組みたいと考えている人の割合は52.8%と他の項目に比較して低い。
- 年代別にみると、どの取組みについても高齢世代の割合が大きく、若い世代は少ない傾向にある。特に「防災活動」「防犯活動」への参画には大きな差がみられる。
- 今後の意向は年代別に大きな差はみられない。他項目と異なる特徴としては「中心市街地でのイベントなどへの参加」であり、高齢者より若い世代のほうがわずかに高い数値を示している。
- このカテゴリーは、市民に参画や協力を求めており、ハードルが高い。今後、活動の周知や参画や協力がしやすい仕組みづくりが求められる。

図表 54 現在取り組んでいる状況

		取り組んでいる	取り組んでいない
自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	回答数	399	625
	割合(%)	39.0	61.0
自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	回答数	234	777
	割合(%)	23.1	76.9
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	回答数	355	660
	割合(%)	35.0	65.0
景観の維持にむけた活動への参画や協力	回答数	155	848
	割合(%)	15.5	84.5
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	回答数	145	864
	割合(%)	14.4	85.6
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	回答数	334	687
	割合(%)	32.7	67.3
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	回答数	207	810
	割合(%)	20.4	79.6

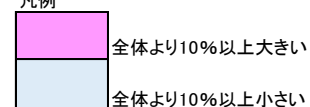


図表 55 年代別にみた取組みの状況

(単位：%)

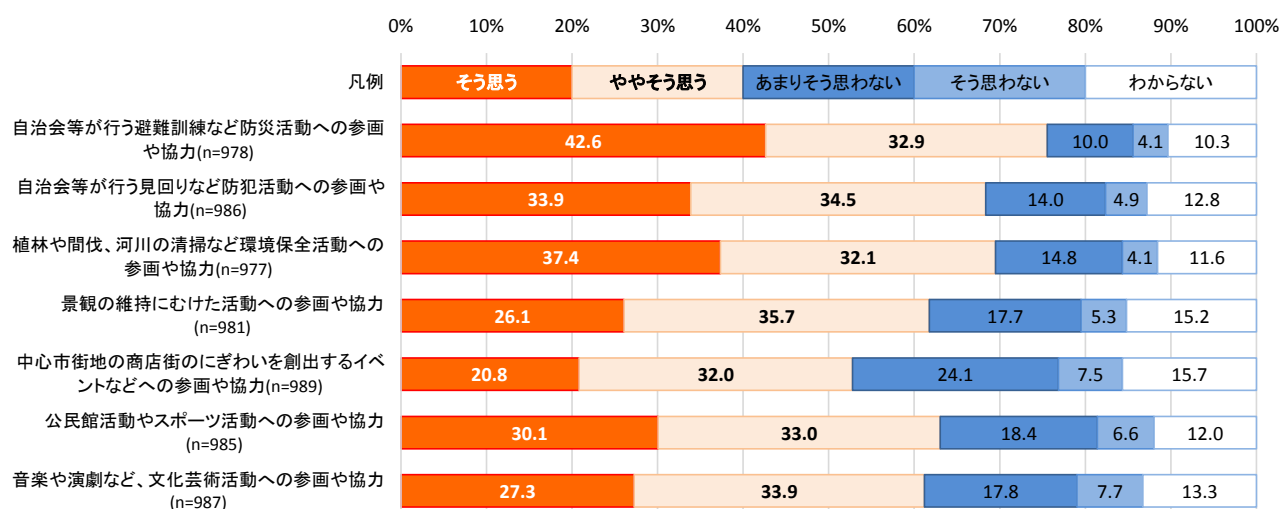
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	13.9	10.0	20.8	33.3	44.5	62.4	60.5	39.0
自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	4.2	6.3	17.6	18.2	28.8	33.2	39.7	23.1
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	11.1	16.3	24.2	35.0	43.9	43.1	54.5	35.0
景観の維持にむけた活動への参画や協力	7.0	7.5	11.9	13.3	14.1	21.5	24.7	15.5
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	11.7	16.0	16.7	15.8	10.4	15.6	16.0	14.4
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	17.9	13.6	18.3	31.7	39.9	43.1	48.4	32.7
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	16.6	11.1	9.7	20.3	19.6	26.0	31.3	20.4

凡例



図表 56 今後の意向（取り組み続けたい、あるいは取り組もうと思っている）

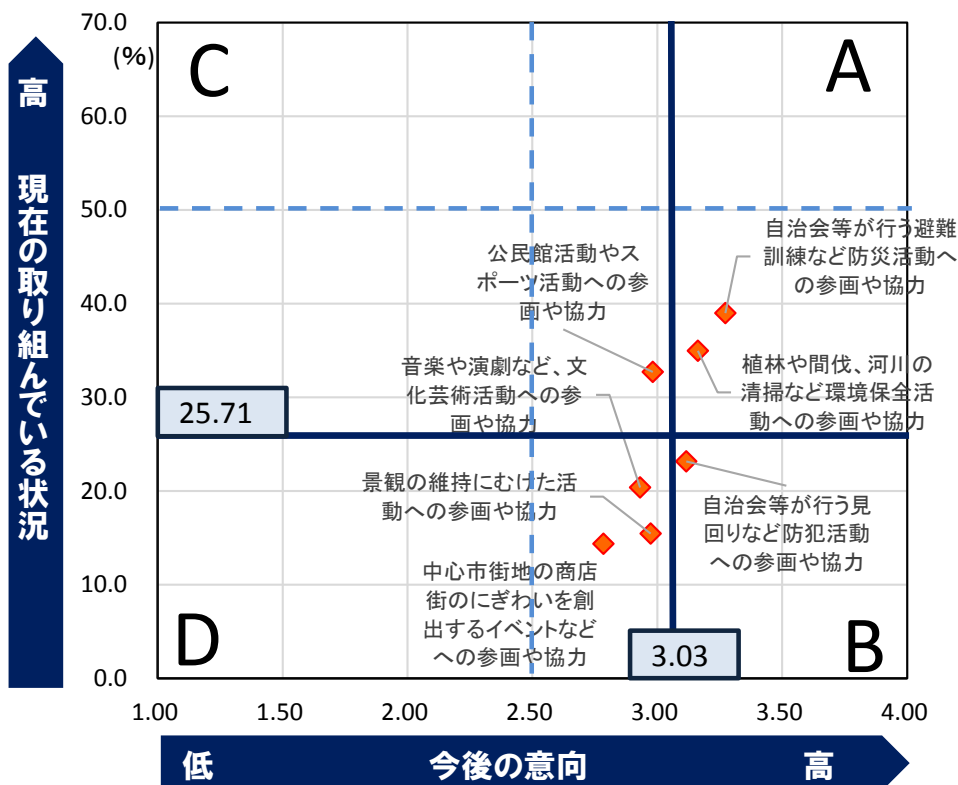
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思 わない	そう思わない	わからない	合計	平均点
自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	回答数	417	322	98	40	101	978	3.27
	割合(%)	42.6	32.9	10.0	4.1	10.3	100.0	
自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	回答数	334	340	138	48	126	986	3.12
	割合(%)	33.9	34.5	14.0	4.9	12.8	100.0	
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	回答数	365	314	145	40	113	977	3.16
	割合(%)	37.4	32.1	14.8	4.1	11.6	100.0	
景観の維持にむけた活動への参画や協力	回答数	256	350	174	52	149	981	2.97
	割合(%)	26.1	35.7	17.7	5.3	15.2	100.0	
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	回答数	206	316	238	74	155	989	2.78
	割合(%)	20.8	32.0	24.1	7.5	15.7	100.0	
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	回答数	296	325	181	65	118	985	2.98
	割合(%)	30.1	33.0	18.4	6.6	12.0	100.0	
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	回答数	269	335	176	76	131	987	2.93
	割合(%)	27.3	33.9	17.8	7.7	13.3	100.0	



図表 57 年代別にみた今後の取り組み意向の平均点

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	2.93	3.00	3.08	3.16	3.34	3.58	3.53	3.27
自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	2.82	2.88	3.08	2.98	3.17	3.35	3.32	3.12
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	2.94	3.01	3.04	3.01	3.22	3.41	3.29	3.16
景観の維持にむけた活動への参画や協力	2.86	2.87	2.94	2.88	2.92	3.18	3.01	2.97
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	2.94	2.89	2.89	2.69	2.62	2.87	2.63	2.78
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	2.90	2.78	2.88	2.82	2.97	3.25	3.07	2.98
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	2.93	2.99	2.92	2.87	2.88	3.06	2.87	2.93

図表 58 現在、取り組んでいる状況と将来の意向



※点線は中央値、実践は平均点である

データの読み方

高 現在の取り組んでいる人の割合	<p>C : 現在取り組んでいる人は多いが今後取り組みたい人は少ない</p> <p>C 参画や協力をしているが、今後、継続する人が少なく、停滞する可能性がある。新規開拓をしていくことが求められる。</p>	<p>A : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p> <p>A 活動への参画・協力者が比較的多い。現状を維持しながら、働きかけをしていくことが必要。</p>
	<p>D : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p> <p>D 参画や協力の必要性の啓発やきっかけづくりをしていくことが必要。</p>	<p>B : 現在取り組んでいる人は少ないが今後取り組みたい人は多い</p> <p>B 現在、取り組んでいる人は少ないが、協力・参画の意向は高い。参加しづらい理由の検討を行い、想いを持った人を取り込む仕組みづくりが必要。</p>
低	低	高

今後、取り組みたい人 (X-axis)

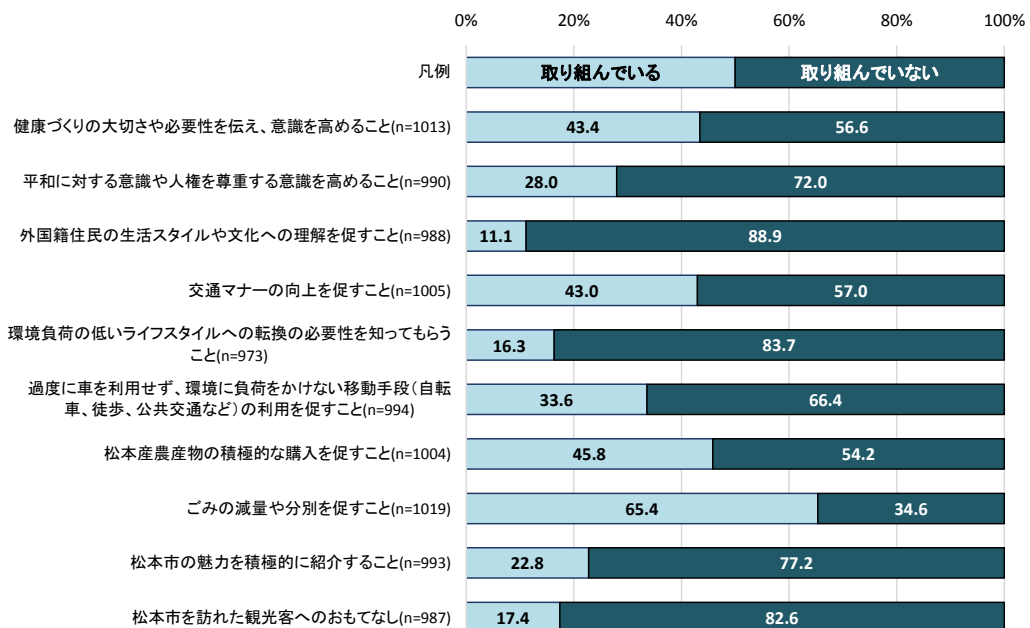
3. 個人の意識醸成や行動を働きかける施策の分析

「個人の意識醸成や行動を働きかける施策」の現在取り組んでいる状況と今後の取組意向は以下のとおりである。

- 「ごみの減量や分別を促すこと」については、65.4%が現在取り組んでおり、今後取り組みたいと考えている者も85.8%と多くなっている。
- 「外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと」については、現在取り組んでいるのは11.1%、今後取り組みたいと考えている者は60.9%と他の項目に比較して少ない。
- 「交通マナーの向上を促すこと」は、現在の取組みは43.0%と平均的であるが、今後取り組みたいという意向は、84.1%と高い値を示している。
- 「まわりの人への働きかけが必要な施策」の現状の取り組み状況を、他の2つのカテゴリと比較すると最も高かった。日常生活の中で家族や友人、知人に対してできることであり、10代～30代も取り組んでおり、評価が高まったといえる。

図表 59 現在取り組んでいる状況

		取り組んでいる	取り組んでいない
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	回答数	440	573
	割合(%)	43.4	56.6
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	回答数	277	713
	割合(%)	28.0	72.0
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	回答数	110	878
	割合(%)	11.1	88.9
交通マナーの向上を促すこと	回答数	432	573
	割合(%)	43.0	57.0
環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	回答数	159	814
	割合(%)	16.3	83.7
過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	回答数	334	660
	割合(%)	33.6	66.4
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	回答数	460	544
	割合(%)	45.8	54.2
ごみの減量や分別を促すこと	回答数	666	353
	割合(%)	65.4	34.6
松本市の魅力を積極的に紹介すること	回答数	226	767
	割合(%)	22.8	77.2
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	回答数	172	815
	割合(%)	17.4	82.6

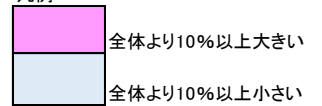


図表 60 年代別にみた取組んでいる割合

(単位：%)

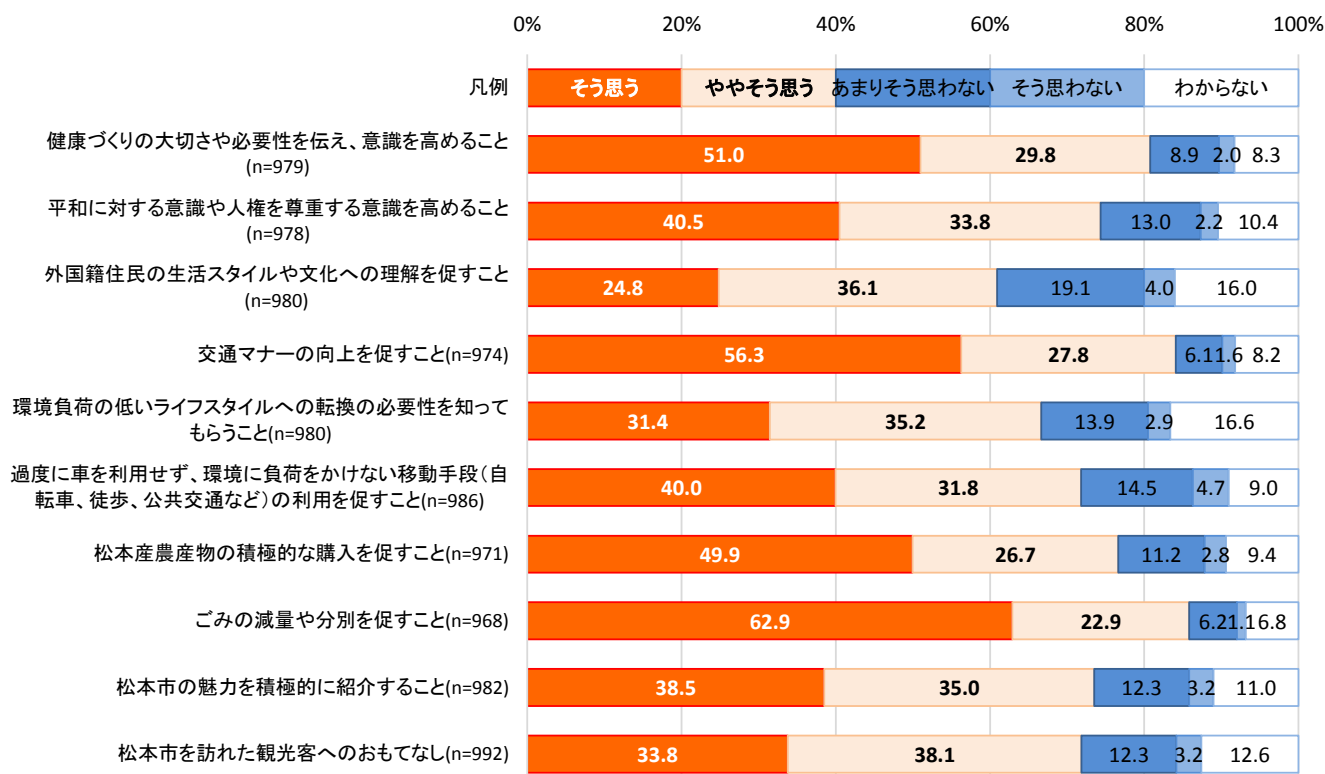
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	28.2	32.1	38.4	37.8	41.1	52.5	63.4	43.4
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	27.5	26.3	25.8	23.9	23.3	30.1	38.6	28.0
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	15.5	8.6	10.5	14.9	7.4	9.9	11.0	11.1
交通マナーの向上を促すこと	36.4	40.0	37.1	45.6	40.1	47.0	51.3	43.0
環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	16.3	13.8	17.1	15.7	13.6	16.5	21.6	16.3
過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	38.0	29.5	26.6	25.6	26.4	37.6	48.3	33.6
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	19.6	26.6	43.2	43.1	48.5	62.3	59.2	45.8
ごみの減量や分別を促すこと	42.7	51.9	58.4	65.2	66.3	80.0	77.5	65.4
松本市の魅力を積極的に紹介すること	20.3	26.6	22.6	18.5	17.5	24.9	29.5	22.8
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	14.8	25.3	17.1	16.2	14.4	16.4	21.2	17.4

凡例



図表 61 今後の意向（取り組み続けたい、あるいは取り組みようと思っている）

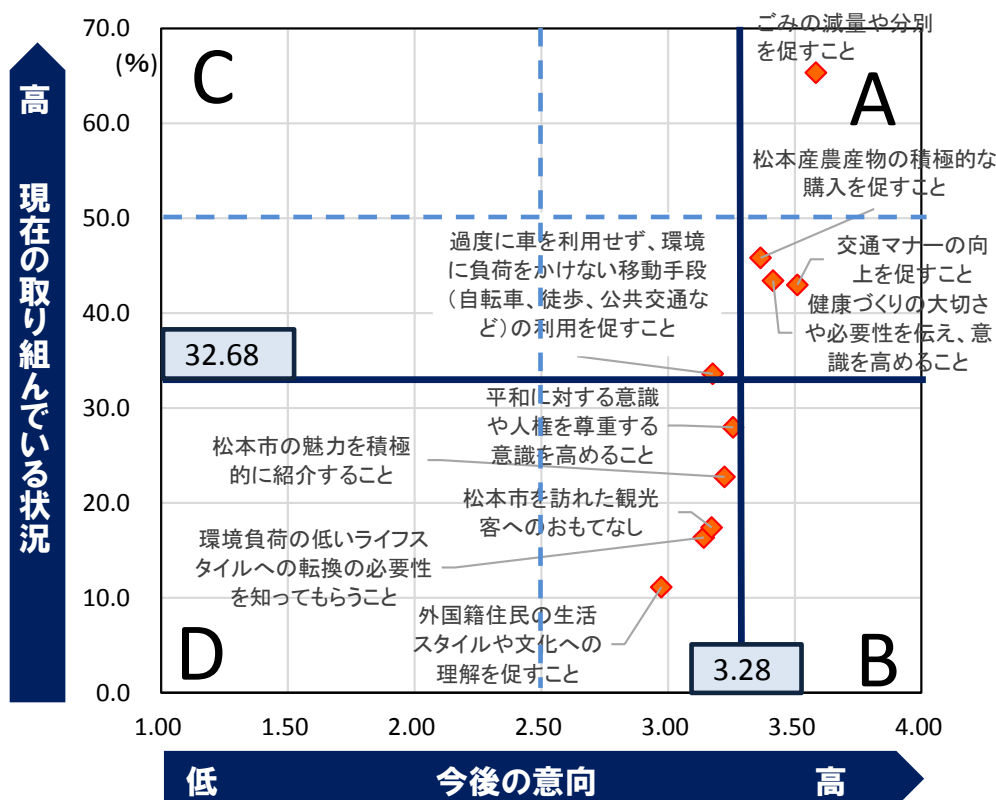
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思 わない	そう思わない	わからない	合計	平均点
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	回答数	499	292	87	20	81	979	3.41
	割合(%)	51.0	29.8	8.9	2.0	8.3	100.0	
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	回答数	396	331	127	22	102	978	3.26
	割合(%)	40.5	33.8	13.0	2.2	10.4	100.0	
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	回答数	243	354	187	39	157	980	2.97
	割合(%)	24.8	36.1	19.1	4.0	16.0	100.0	
交通マナーの向上を促すこと	回答数	548	271	59	16	80	974	3.51
	割合(%)	56.3	27.8	6.1	1.6	8.2	100.0	
環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	回答数	308	345	136	28	163	980	3.14
	割合(%)	31.4	35.2	13.9	2.9	16.6	100.0	
過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	回答数	394	314	143	46	89	986	3.18
	割合(%)	40.0	31.8	14.5	4.7	9.0	100.0	
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	回答数	485	259	109	27	91	971	3.37
	割合(%)	49.9	26.7	11.2	2.8	9.4	100.0	
ごみの減量や分別を促すこと	回答数	609	222	60	11	66	968	3.58
	割合(%)	62.9	22.9	6.2	1.1	6.8	100.0	
松本市の魅力を積極的に紹介すること	回答数	378	344	121	31	108	982	3.22
	割合(%)	38.5	35.0	12.3	3.2	11.0	100.0	
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	回答数	335	378	122	32	125	992	3.17
	割合(%)	33.8	38.1	12.3	3.2	12.6	100.0	



図表 62 年代別にみた今後の取り組み意向の平均点

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	3.30	3.29	3.32	3.33	3.30	3.58	3.63	3.41
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	3.28	3.11	3.08	3.07	3.24	3.43	3.41	3.26
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	3.10	2.86	2.91	2.93	2.93	3.02	2.98	2.97
交通マナーの向上を促すこと	3.33	3.40	3.55	3.48	3.48	3.60	3.64	3.51
環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	3.12	3.03	3.07	3.04	3.06	3.29	3.25	3.14
過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	3.09	3.08	3.13	3.04	3.04	3.30	3.46	3.18
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	3.10	3.07	3.44	3.33	3.27	3.57	3.56	3.37
ごみの減量や分別を促すこと	3.41	3.46	3.58	3.45	3.57	3.77	3.70	3.58
松本市の魅力を積極的に紹介すること	3.13	3.15	3.17	3.17	3.11	3.37	3.37	3.22
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	3.11	3.14	3.12	3.13	2.99	3.32	3.28	3.17

図表 63 現在、取り組んでいる状況と将来の意向



※点線は中央値、実践は平均点である

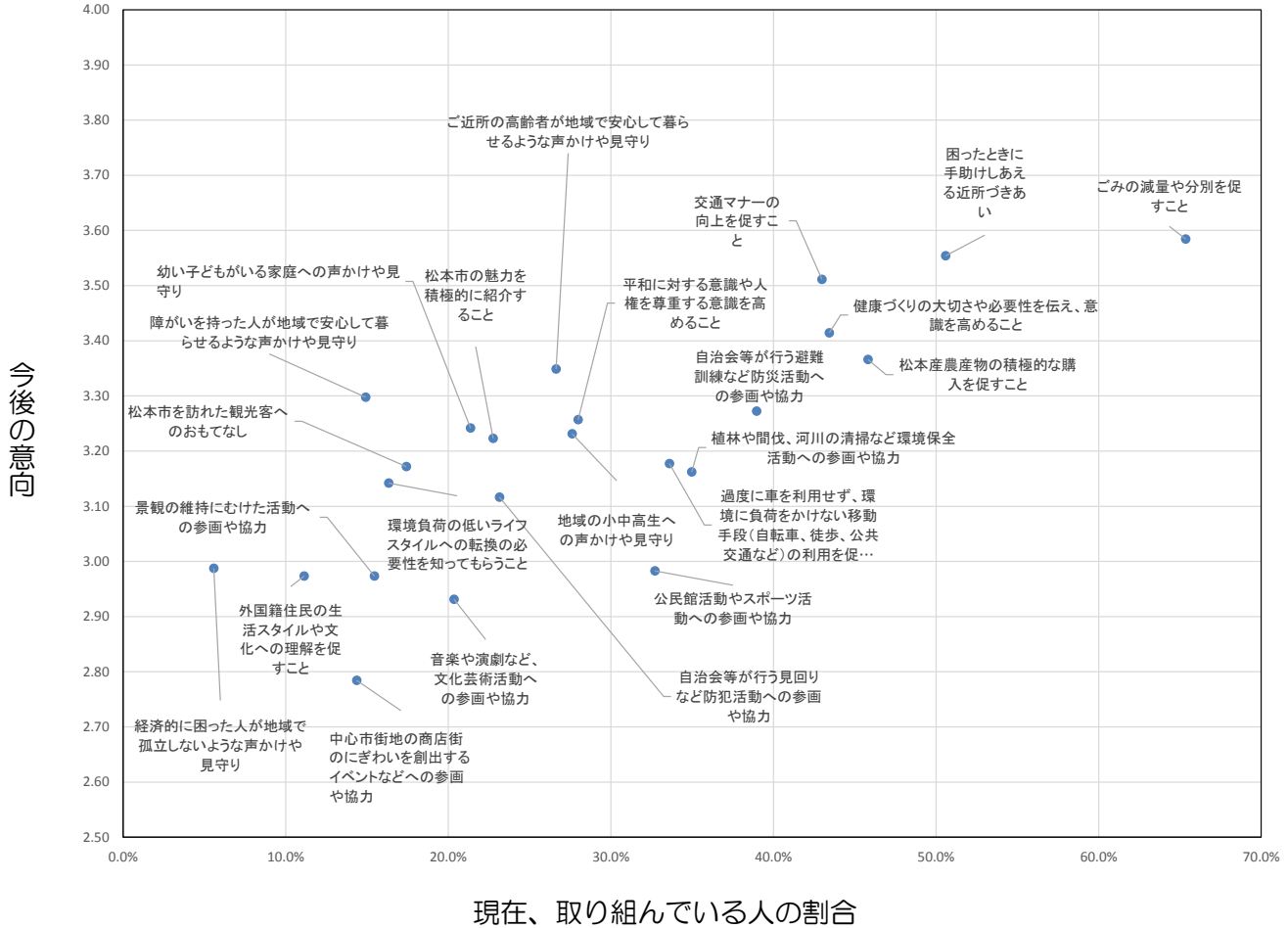
データの読み方

高 現在の取り組みでいる人の割合	<p>C : 現在取り組んでいる人は多いが今後取り組みたい人は少ない</p> <p>C 現在、働きかけている人は多いが、今後取り組みたい人は少ない。必要性を再認識してもらうような取組みが必要。</p>	<p>A : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p> <p>A 働きかけをしている市民が多く、実施する必要性を認識している。引き続き、啓発等を行っていくことが必要。</p>
	<p>市民が働きかけを行う必要性や自ら取り組む支援が必要。</p> <p>D</p> <p>D : 現在取り組んでいる人も今後取り組みたい人も多い</p>	<p>今後、働きかける必要性は認識しているが、実際にはしていない。働きかけ方を伝えていくことが必要。</p> <p>B</p> <p>B : 現在取り組んでいる人は少ないが今後取り組みたい人は多い</p>
	低	高
	今後、取り組みたい人	

4. 現状の取り組み状況及び今後の意向の結果一覧

現状の取り組み状況が50%を超えたのは、「困ったときに手助けしあえる近所づきあい」、「ごみの減量や分別を促すこと」の2項目のみであり、全体として、取り組んでいる人が少ない状況である。しかし、今後取り組みたいという意向を持った人は多く、中間値2.5点を下回った項目はなかった。

図表 64 現在、取り組んでいる人の割合×今後の意向



図表 65 現在取り組んでいる状況の一覧

調査項目			取り組んでいる	取り組んでいない	合計	回答者数 (人)
住民同士の関わりを基本とした施策	1	ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	26.6%	73.4%	100.0%	1,010
	2	障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	14.9%	85.1%	100.0%	992
	3	経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	5.6%	94.4%	100.0%	986
	4	若い子どもがいる家庭への声かけや見守り	21.4%	78.6%	100.0%	997
	5	地域の小中高生への声かけや見守り	27.6%	72.4%	100.0%	992
	6	困ったときに手助けしあえる近所づきあい	50.6%	49.4%	100.0%	1,010
活動への参画や協力が求められる施策	7	自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	39.0%	61.0%	100.0%	1,024
	8	自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	23.1%	76.9%	100.0%	1,011
	9	植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	35.0%	65.0%	100.0%	1,015
	10	景観の維持にむけた活動への参画や協力	15.5%	84.5%	100.0%	1,003
	11	中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	14.4%	85.6%	100.0%	1,009
	12	公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	32.7%	67.3%	100.0%	1,021
	13	音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	20.4%	79.6%	100.0%	1,017
まわりの人への働きかけが必要な施策	14	健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	43.4%	56.6%	100.0%	1,013
	15	平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	28.0%	72.0%	100.0%	990
	16	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	11.1%	88.9%	100.0%	988
	17	交通マナーの向上を促すこと	43.0%	57.0%	100.0%	1,005
	18	環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	16.3%	83.7%	100.0%	973
	19	過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	33.6%	66.4%	100.0%	994
	20	松本産農産物の積極的な購入を促すこと	45.8%	54.2%	100.0%	1,004
	21	ごみの減量や分別を促すこと	65.4%	34.6%	100.0%	1,019
	22	松本市の魅力を積極的に紹介すること	22.8%	77.2%	100.0%	993
	23	松本市を訪れた観光客へのおもてなし	17.4%	82.6%	100.0%	987

図表 66 今後、取り組みたい意向の結果一覧

調査項目		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	合計	回答者数(人)	平均点	
を基本とした施策 住民同士の関わり	1	ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	43.4%	33.4%	8.3%	2.3%	12.6%	100.0%	991	3.35
	2	障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	39.0%	37.0%	8.2%	2.5%	13.2%	100.0%	999	3.30
	3	経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	24.9%	34.4%	16.7%	4.6%	19.4%	100.0%	996	2.99
	4	幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	40.3%	31.3%	12.7%	3.2%	12.6%	100.0%	988	3.24
	5	地域の小中高生への声かけや見守り	40.1%	31.8%	11.9%	3.9%	12.3%	100.0%	991	3.23
	6	困ったときに手助けしあえる近所づきあい	59.3%	25.7%	6.0%	1.1%	7.9%	100.0%	994	3.55
求められる施策 活動への参画や協力が	7	自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	42.6%	32.9%	10.0%	4.1%	10.3%	100.0%	978	3.27
	8	自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	33.9%	34.5%	14.0%	4.9%	12.8%	100.0%	986	3.12
	9	植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	37.4%	32.1%	14.8%	4.1%	11.6%	100.0%	977	3.16
	10	景観の維持にむけた活動への参画や協力	26.1%	35.7%	17.7%	5.3%	15.2%	100.0%	981	2.97
	11	中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	20.8%	32.0%	24.1%	7.5%	15.7%	100.0%	989	2.78
	12	公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	30.1%	33.0%	18.4%	6.6%	12.0%	100.0%	985	2.98
	13	音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	27.3%	33.9%	17.8%	7.7%	13.3%	100.0%	987	2.93
が 必要 な 施 策 まわりの人への働きかけ	14	健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	51.0%	29.8%	8.9%	2.0%	8.3%	100.0%	979	3.41
	15	平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	40.5%	33.8%	13.0%	2.2%	10.4%	100.0%	978	3.26
	16	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	24.8%	36.1%	19.1%	4.0%	16.0%	100.0%	980	2.97
	17	交通マナーの向上を促すこと	56.3%	27.8%	6.1%	1.6%	8.2%	100.0%	974	3.51
	18	環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	31.4%	35.2%	13.9%	2.9%	16.6%	100.0%	980	3.14
	19	過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段(自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	40.0%	31.8%	14.5%	4.7%	9.0%	100.0%	986	3.18
	20	松本産農産物の積極的な購入を促すこと	49.9%	26.7%	11.2%	2.8%	9.4%	100.0%	971	3.37
	21	ごみの減量や分別を促すこと	62.9%	22.9%	6.2%	1.1%	6.8%	100.0%	968	3.58
	22	松本市の魅力を積極的に紹介すること	38.5%	35.0%	12.3%	3.2%	11.0%	100.0%	982	3.22
	23	松本市を訪れた観光客へのおもてなし	33.8%	38.1%	12.3%	3.2%	12.6%	100.0%	992	3.17

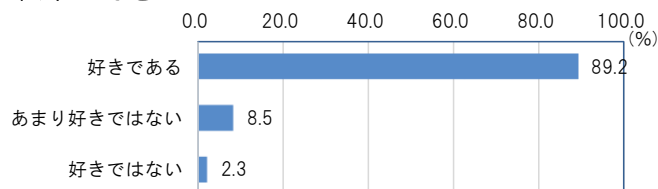
第5節 高校進学後の進路と松本市への居住意向

ここでは、松本市在住の高校生に高校進学後の進路と居住意向について聞いた結果を示す。

- 89.2%の高校生が、松本を「好きである」としている。
- 高校卒業後の進路については、80.8%が進学を望んでいる。
- 「松本にずっと住み続けたい」と「いったん市外に住みたいが、いずれ松本に戻ってきたい」をあわせると59.3%となる。
- 「卒業後は市外にずっと住みたい」人は、10.8%（13人）とわずかであった。
- 松本に住みたい理由としては、「実家で暮らしたい」「親しい友人がいる」「自然環境が豊か」の回答が20%を超えている。
- 松本市外に住みたい理由としては、「ほかに住みたい街がある」「都会的ではないから」が30%を超えている。

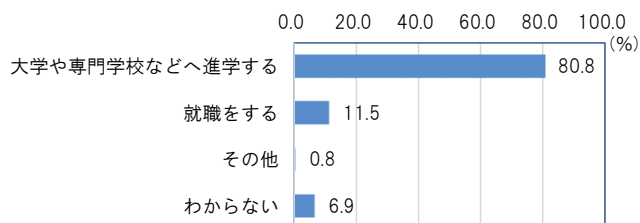
図表 67 松本が好きか

	回答数	割合(%)
好きである	116	89.2
あまり好きではない	11	8.5
好きではない	3	2.3
合計	130	100.0



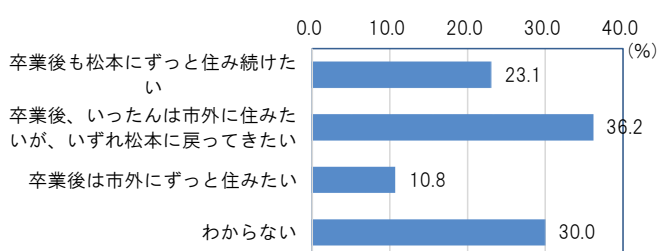
図表 68 高校卒業後の進路

	回答数	割合(%)
大学や専門学校などへ進学する	105	80.8
就職をする	15	11.5
その他	1	0.8
わからない	9	6.9
合計	130	100.0



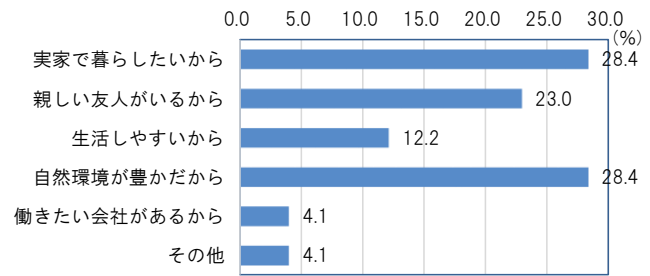
図表 69 松本に住み続けたいか

	回答数	割合(%)
卒業後も松本にずっと住み続けたい	30	23.1
卒業後、いったんは市外に住みたいが、いずれ松本に戻ってきたい	47	36.2
卒業後は市外にずっと住みたい	14	10.8
わからない	39	30.0
合計	130	100.0



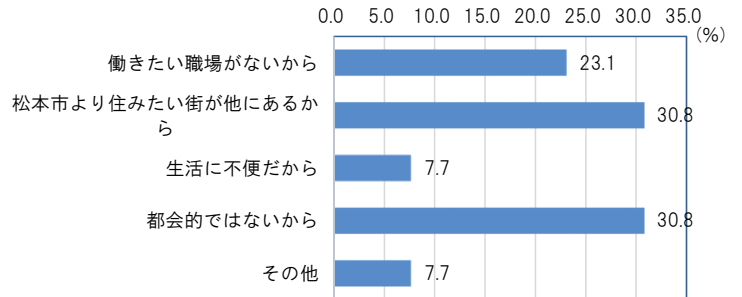
図表 70 松本市に住みたい理由

	回答数	割合(%)
実家で暮らしたいから	21	28.4
親しい友人がいるから	17	23.0
生活しやすいから	9	12.2
自然環境が豊かだから	21	28.4
働きたい会社があるから	3	4.1
その他	3	4.1
合計	74	100.0



図表 71 市外に住みたい理由

	回答数	割合(%)
働きたい職場がないから	3	23.1
松本市より住みたい街が他にあるから	4	30.8
生活に不便だから	1	7.7
都会的ではないから	4	30.8
その他	1	7.7
合計	13	100.0



図表 72 市外で住みたい場所

(1) 都道府県

	回答数
神奈川県	1
千葉県	1
東京都	6

(2) 市町村

	回答数
浦安市	1
鎌倉市or茅ヶ崎市	1
江戸川区	1
八王子市	1

第6節 総括

施策の重要度、現状評価、市民の関わり方の関係性

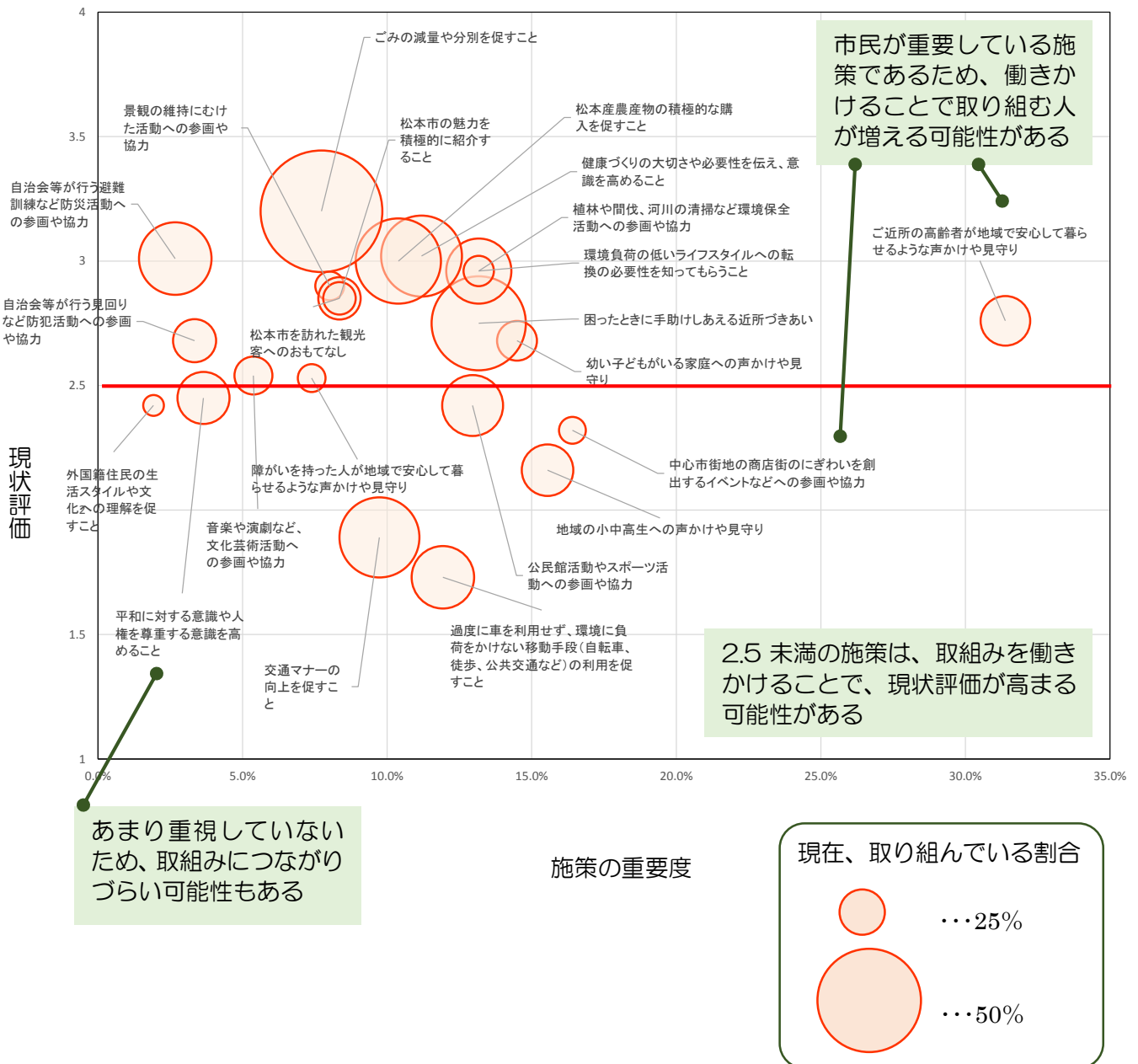
下図は、横軸に施策の重要度を示し、縦軸に現状評価、市民が関与している状況を丸の大きさと示したものである。

市民が重視している高齢者福祉や中心市街地の活性化、小中学生の見守りは、他の施策と比較すると市民の関与度はまだ低いが、市民は必要性を認識しているため取組みの周知や働きかけにより行動につながる可能性が高い。

市の重要度及び現状評価が低い項目は、市民の関心が低く、働きかけても効果がでない可能性がある。行政が実施すべきか判断したうえで、市民に重要性を伝えていく必要があるといえる。

また、現状評価が低い施策は、市民の関与を働きかけることにより、関与度及び現状評価が上がる可能性がある。

図表 73 施策の重要度、現状評価、市民の関わり方の関係性



調査項目の対応関係

市民の関わり方	施策の重要度	現状評価
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	高齢者を支える環境やサービスの充実	【高齢者】高齢者のための環境やサービスが充実している
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	障がい者を支える環境やサービスの充実	【障害者の同居者】障害者のための環境やサービスが充実している
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	—	—
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	出産や育児を支える環境やサービスの充実	【子どもを持つ親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している
地域の小中高生への声かけや見守り	地域における小中学生の豊かな心を育むための活動の促進	青少年（小中学生を含む）の豊かな心を育むための活動を行っている
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	地域での支えあい活動の促進	地域住民による支えあいが行われている
自治会等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	地域による自主的な防災活動の促進	地域による自主的な防災活動が行われている
自治会等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	地域による自主的な防犯活動の促進	地域による自主的な防犯活動が行われている
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	環境保全活動の促進	自然や環境を守るための活動が行われている
景観の維持にむけた活動への参画や協力	景観維持・保全活動の促進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	中心市街地の活性化	中心市街地へ買物や食事、催事などで出かける機会が増えてきている
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	スポーツの機会や環境整備の推進	継続的にスポーツに親しんでいる
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	文化芸術活動の促進	音楽や芸術にふれている
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	健康について考え、実践できる環境づくり	健康について考え、実践できる環境がある
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	平和に向けた取り組みが盛んに行われる地域づくり	平和に向けた取り組みが盛んに行われている地域である
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	多文化共生への理解の促進	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である
交通マナーの向上を促すこと	交通マナーを向上する取り組み	市民の交通マナーが向上している
環境負荷の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	環境保全活動の促進	自然や環境を守るための活動が行われている
過度に車を利用せず、環境に負荷をかけない移動手段（自転車、徒歩、公共交通など）の利用を促すこと	公共交通機関の充実	市民がすすんで公共交通を利用して
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	松本産農産物のブランド化や特産品の開発	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い
ごみの減量や分別を促すこと	ごみの減量や分別の促進	市民がごみの資源化・分別をすることで減量に取り組んでいる
松本市の魅力積極的に紹介すること 松本市を訪れた観光客へのおもてなし	観光誘客の促進	行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる

第3章 様々な手段による市民意見の収集結果

第1節 まつもと未来会議の概要

1. 実施の概要

第10次基本計画策定にあたり、より広く市民の声を収集するため、「まつもと未来会議」と題し、市民意見を収集する3つの場を設けた。

- ワークショップにおける意見収集
- Webにおける意見収集
- 公民館における意見収集

今後、人口減少・少子化が進行し、本市の地域における課題は増大し、かつ多様化・複雑化することが見込まれる。そのなかで行財政は縮小傾向にあり、行政だけでは対応できないことが増えてくる。

こうした状況のもと、まつもと未来会議は「市民が担い手になれる部分は市民主体で実施し、行政は活動しやすい仕組みづくりや支援にまわる」という、これからの時代に求められる視点に立ち、理想の未来像を深め、その実現のために市民ができることを考える場とした。

第2節 ワークショップにおける意見収集

1. 実施の概要

より広く市民の声を集めるため、また松本の未来像を深める対話の場を設けるため、ワークショップを行った。約40名の参加者は事前に設定した8つのテーマのうち興味のあるテーマごとにグループをつくり、自由に話し合った。

【日時】2015年2月27日（金）18:30～21:00

【場所】まつもと市民芸術館スタジオ2

【参加者】松本市在住の市民

【参加人数】38名

【テーマ一覧】

- テーマ1 子育てしやすいまちにするには？
- テーマ2 健康づくりに取り組みやすいまちにするには？
- テーマ3 訪れたいまち、もう一度行きたいまちにするには？
- テーマ4 松本独自の文化・芸術・プロスポーツをどのように活かしていくか？
- テーマ5 地区の地域力を高めるには？
- テーマ6 移住したいまちにするには？
- テーマ7 自然環境に配慮したエコなまちにするには？
- テーマ8 高齢になっても住みやすいまちにするには？

【タイムテーブル】

	フェーズ	時間	備考
①	オープニング	18:30～18:35	
②	本日の進め方	18:35～18:40	
③	松本の未来予測	18:40～18:50	
④	アイスブレイク	18:50～19:00	各テーブルで自己紹介
⑤	セッション A 「理想の未来像」	19:00～19:55	ワールド・カフェ 15分×3ラウンド
⑥	セッション B 「みんなで やってみたいこと」	19:55～20:45	未来の仲間会議 15分×2ラウンド
⑦	クロージング	20:45～21:00	グループごとに発表

【各セッションの概要】

セッション A

ワールドカフェ方式で、各テーマを実現するにはどのような状況が必要か、理想像について意見を出し合う。

セッション B

セッション A で出た意見のなかから 10～20 年後の松本の未来にとって重要であると思うテーマを参加者に投票で選んでもらい、その理想の未来像を実現するために市民と行政が協力してできることについて、ワールドカフェ方式で意見を出し合う。

なお、話し合うテーマは投票結果を考慮して、セッション A で出た意見をもとに再構成する場合がある。

2. 各テーマのまとめ

テーマ1 子育てしやすいまちにするには？

セッションA

子育てをする家庭に対して、医療の充実や経済的負担の軽減、安心便利な通学環境など、より充実した子育て支援サービスを行政が提供することに加え、母親の孤立化対策や父親の育児参加促進など、まちぐるみで子育てを応援するよう地域や企業の意識を変えることの必要性が意見としてあがった。また、子ども自身に対しては、平等な教育機会の保障、様々な体験の機会提供、思春期のサポートなど、教育・学校の充実が必要だとされた。



セッションB

「子ども・子育てにやさしいコミュニティにするには？」

まず、「子は宝」という意識を広めることが重要である。そのために子どもを育てる幸せを伝える、紹介や表彰の取り組みをしたらどうか、といった意見があがった。

また、地域コミュニティのなかでも、高齢世代や中高生といった、ふだん子育てと関わりの薄い世代と子どもをマッチングさせていくべきという意見があがった。高齢者の人材活用になるし、将来の親世代となる中高生には貴重なふれあいの機会となる、そうした交流により地域の絆がより強まるメリットもあるとされた。

テーマ2 健康づくりに取り組みやすいまちにするには？

セッションA

医療の充実、セルフケアの普及、利用しやすいスポーツ施設の設置やが必要とされた。また、個人の努力で健康を維持していくことも大事であるが、より楽に、楽しんで健康づくりに取り組めるような環境があるとよいとして、ストレスフリー、生きがいのある社会、仲間・コミュニティへのつながりなど、とくに精神面に働きかけて、身体の健康もつくるというアプローチを探る方向での意見が多くあがった。



セッションB

「つつい歩いてしまうまち・松本」

歩きたくなくなるような道路の整備や、日常生活で徒歩が基本となるようなコンパクトシティ化をすすめることで、思わず歩いてしまうようなまちを設計する。また、カフェや映画館、オープンスペース等の人が集まる場所を増やして、街中が楽しさであふれれば、歩くことが促進されるというアイデアが出た。

テーマ3 訪れたいまち、もう一度行きたいまちにするには？

セッションA

観光地として、より発展したまちにするため、まず松本の持つ魅力についてグループ内で再確認し、それらを活かしてブランドづくりをする等、観光戦略について議論された。観光情報の入手しやすさ、移動の便利さ、おもてなしの心など観光客にとっての利便性も重要とされた。



セッションB

「松本らしい観光地（コンテンツ）をつくるには？」

恵まれた自然、城下町の街並、温泉、工芸、音楽文化といった、いまある観光資源を活かしていくという方向で話が広がった。また、それらを組み合わせることで松本でしか味わえない体験をつくるというアイデアが出た。外に向けては情報発信を積極的にするべきとの意見があがる一方、市民自身が地元の資源を利用し、楽しむことで後生に残していくという視点も大切とされた。

テーマ4 松本独自の文化・芸術・プロスポーツをどのように活かしていくか？

セッションA

新たな文化を生み出すこと、伝統文化を引き継ぐことの両方が重要であり、それにはクリエイターだけでなく周りで文化を支えるひとの協力や、文化を支援する場所づくりが欠かせないとされた。また、山岳が身近にある暮らし、信州大学等のもつ知的財産、松本山雅がもたらした熱気など、維持や利活用を図るべき松本ならではの文化資源が再確認された。



セッションB

「山の資源を活かしたまちづくり」

美しいアルプスの山々の景観が楽しめるポイントづくりや、そうした景観に溶け込んだ街並づくりという意見が出た。また、山から得られる木材を、楽器づくりに活用し、楽都としての松本につなげるという発想や、山そのものを学びの場として利用し生きる力を養うという発想が出た。

テーマ5 地区の地域力を高めるには？

セッションA

住民がつながること、地域の個性を見出すこと、地域への愛着をもつこと、地域の歴史への理解、地域全体のビジョン共有などが重要といった意見があがった。また地区を牽引するリーダーの存在だけでなく、住民同士あるいは地区の内外を仲介するコーディネーターの存在が必要とされた。



セッションB

「地域において住民同士の関係性を築くには？」

あいさつや見守りの普及が必要だという意見や、昔ながらの町会の集まりや公民館での活動等、コミュニケーションの場は関係性を築くきっかけになるという意見が出た。

また高齢化が進むなか、元気な高齢者をいかに地域デビューさせるかが課題となるという議論になった。

テーマ6 移住したいまちにするには？

セッションA

まち全体に魅力があることが最大の理想であるため、人間に活気がある、人とのつながりがある、子育て世代も住みやすい、公共交通の充実したコンパクトシティなど、その他のテーマを包括するような議論がなされたが、自然・土地と密着した食生活、古民家に安く住めるなど、移住者にとって重要な点である食や住における視点が特徴的であった。



セッションB

「仕事があるまち、起業しやすいまちにするには？」

住環境の提供等により、企業の開発拠点の誘致やクリエイターの呼び込みを行い、松本らしい新たな仕事を生み出すことを目論むアイデアが出た。また民間企業と市が交流を盛んにし、労働者の流れをつくることでいまある産業を活性化させるということが議論された。

テーマ7 自然環境に配慮したエコなまちにするには？

セッションA

植樹や公園の整備によるまちの緑化の推進、環境に配慮した交通の利用促進とまちづくり等、ハード面での取組みと、エコツーリズムや環境教育による市民の環境への意識啓発、地域の環境資源やエネルギーを有効利用した暮らしの普及等、ソフト面での取組みがみられた。



セッションB

「緑と自然に囲まれた松本市にするには？」

市民と行政、それぞれの役割を考えた具体的なプロジェクトの提案が多くなされた。里山保全の分野では、管理に困った山の所有者とボランティアをマッチングさせる事業や、里山づくりを学びたい、楽しみたい市民を行政がバックアップする仕組み等のアイデアが出た。環境教育の分野では、行政が持続可能な社会にむけてのシンポジウムを開催するとともに、市民は実行隊を組織する等、共通認識のもと活動していくことが語られた。

テーマ8 高齢になっても住みやすいまちにするには？

セッションA

歩いて行ける範囲で生活圏ができていて、遠出するときも充実した公共交通により車に頼らなくて済む、というように施設や制度が高齢者にやさしいように配慮されていること、相談できる相手の存在や近所づき合いによって、地域とのつながりが保たれ、安全・安心な暮らしが確保されていること、また一人ひとりが仕事や趣味など生きがいを持っていることが理想とされた。



セッションB

「いつまでも自分らしくいきいきと生きられるまちにするには？」

高齢者が生きがいや居場所を得られるような支援についての議論がなされた。大学等を活用し、生涯学習の機会を提供するとともに世代間交流を図るアイデアや、同じ趣味のひとが集えるような仕組みづくり、高齢者向けの雇用創発が必要とする意見が出た。

また、そうした居場所に通えるよう移動を支援するのも重要だとされた。

第3節 Webにおける意見収集

1. 実施の概要

専用のWebページを開設し、ワークショップと同様の8つのテーマに対し、以下の3点について意見を収集した。

- あなたがしたいこと
- みんなでしたいこと
- 実現のために必要なこと

【期間】2015年2月10日（金）～2月27日（金）

【対象】松本市在住の市民

【投稿者数】6件

2. 意見まとめ

テーマ1 子育てしやすいまちにするには？

●みんなでしたいこと

・なぜ子育てがしにくい環境になってしまったのかを深く問うことが、実現の前の問題設定として大切だと思います。ですので、感性をもち、好奇心をもち、自分で考え行動できる大人に成長する子どもが育つ環境をつくるという目的の為に、現在の現況分析を的確に行うことで、的確な問題設定ができ、問題を共有したうえで、ワールドカフェのような対話を行うことにより、課題設定（＝私がしたいこと、みんなでしたいこと）ができ、そうすると達成すべき点となる目標も定めることができるとおもいます。（性別不明/30代/自営業/居住年数30年以上/東部地区）

・子育て中の女性が孤立しないように、男性がもっと育児をするように町単位で何かできたらいいと思います。

男性の育休も推奨するとか、時短勤務など子育てがしやすい取り組みをする市内の企業を増やしてほしいです。私は今転職活動中ですが、先日、市内のある企業の方に開口一番、「うちは産休や育休制度がないので、これから子育てをする世代の女性は雇えないんです」と言われました。移住してきた身としては、長野県の企業はこういう考え方なのかととても驚いたのですが、もしこのような考え方の企業が多いのであれば、移住者にとっても地元の方にとっても良いことはないと思います。子育てのしやすさには、男女共に子育てをしながら働きやすい会社の存在が不可欠だと思います。ただ子育ての給付金を支給するとか、医療費をただにするだけでなく、地域や企業の子育てへの理解が必要だと思います。（女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央）

●実現のために必要なこと

・安心して子供を育てるためには、安定した収入が必要。松本にそれをかなえる場所は十分にあるか？

（男性/50代/勤め人/居住年数10～20年未満/庄内）

・男性の育休や時短勤務など子育てがしやすい取り組みをする市内の企業を増やすべき。子育てのしやすさには、男女共に子育てをしながら働きやすい会社の存在が不可欠。ただ子育ての給付金を支給するとか、医療費をただにするだけでなく、地域や企業の子育てへの理解が必要だと思う。

テーマ2 健康づくりに取り組みやすいまちにするには？

●みんなでしたいこと、実現のために必要なこと

・人生の目的を深く持っている人は、健康だという調査結果もあるようです。松本がそんな人々によって成り立つまちになるようなことになったら素晴らしいと思います。みんながそれぞれ深い人生の目的を語り合い、行動し合うようなことはみんなでしたいとおもいます。

実現のためには、まずは、そのようなコミュニケーションや実践の機会を日々生み出す環境をどう仕掛けていくのかが必要になってきていると思います。（性別不明/30代/自営業/居住年数30年以上/東部地区）

●実現のために必要なこと

・松本はこれだけ平らなのに、自転車人口は少なすぎ。もっと自転車に乗りやすい街を。最悪なのは駅前通り。あの自転車レーンはまったく無駄。（男性/50代/勤め人/居住年数10~20年未満/庄内）

・スポーツの講座やプログラムをもっと増やしてほしい。後期ヤングスクールなど、市民が参加できるスポーツのプログラムもありますが、年齢に関係なく誰でも参加できるものがあると良いです。ヤングスクールにも参加しましたが、ヨガの会場が会議室だったりしたので、もう少し設備が整うと良いなと思います。そういったプログラムが一か所だけでなく市内の色々な場所で開催されていれば、高齢者や車が運転できないひとでも家の近くで参加できると思います。以前住んでいた町では、区内の体育館で1回200円でダンス、ヨガ、エアロビなど多種のプログラムに参加でき、時間も午前から夜まで色々あったため、たくさんの区民が参加していました。松本市でもぜひ気軽にスポーツに参加できる機会が増えると良いです。（女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央）

・松本に来て、一番驚いたことは喫煙者の多さです。特に屋外でみる喫煙者の多さは異様に感じました。喫煙は、喫煙者の健康を害するだけでなく、周囲の人の健康も副流煙によって害しています。

都内の駅構内では喫煙が禁止されて随分と年月が経ちます。よって新宿駅も原則禁煙です。しかし、一か所だけ喫煙できるエリアがあります。それは特急あずさ専用ホームにある喫煙所です。松本市は健康寿命都市を宣言していますが、他方で喫煙者天国であることを新宿駅で披露しているようなものです。新宿駅は、世界で一番乗降客数が多い駅。なんとも情けない限りです。

喫煙者を少なくするのは難問ですが、かつての減塩運動は大いに参考になるのではないのでしょうか？当時、長野県の塩辛い食事の減塩なんて不可能だと言われましたが、官民一体となった運動が成功したのは有名です。

蛇足ですが、私にも一つ案があります。それは、松本山雅のサポーターに禁煙を呼び掛けるのです。ネットでは、シーズンパスだのグッズの購入だのと支出が増えて、家計のやりくりの必要性迫られ禁煙を始めたサポーターも散見できます。また、熱狂的なサポーターの中には、試合中ほとんど飛び跳ねて歌っている（凄い！！）方々も多くいますが、もっと体力をつけて応援中に息切れしないように禁煙を始めたという書き込みも目にします。こういう方々を対象として、行政・医師会・松本山雅・マーケティング会社がタッグを組んでプロモーションをかけるのも一つの有効なアプローチかと思います。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

テーマ3 訪れたいまち、もう一度行きたいまちにするには？

●みんなでしたいこと、実現したいこと

・こちらも、何故訪れたいまち、もう一度行きたい町にする必要があるのか、何のためにそうしたいのかといったことを深く掘り下げる必要があると思います。目的が深ければ、共有されるビジョンにも近づくと思います。訪れたいと思うということは、何らかの魅力が伝わっているからだとおもいます。それが今の松本では何なのか、足りないところはどのようなことなのか、そもそもまちとは何だろうという問いを発しながら、現在の現況分析を的確に行うことで、的確な問題設定ができ、問題を共有したうえで、ワールドカフェのような対話を行うことにより、課題設定（＝私がしたいこと、みんなでしたいこと）ができ、そうすると達成すべき点となる目標も定めることができるとおもいます。（不明/30代/自営業/30年以上/東部地区）

・松本は既に、観光地としてとても魅力的な町だと思います。美しい町並みや、民芸や食文化、他にはない特色がたくさんあると思います。でも、それらが壊されないように、ずっと残るようにしたいです。中心地に大きなマンションが建ったり、昔からの家やお店がなくなってしまうのはとても残念だと思います。景観については、市がもっと厳しくルールを設定してほしいです。

そのために市民が何ができるかですが、まず市民ひとりひとりがもっと松本の美しさを自覚できるような取り組みができればいいなと思います。県外から来た私は、こんなきれいな町に生まれ育って羨ましいなあと思うのですが、ある地元の方は、自分たちにとっては普通過ぎて良いところがよくわからないときもあると言っていました。例えば市民主体で松本の写真集を作るとか市民が考える松本の良さやローカル情報を県外や世界へどんどん発信していくとか、そんなことができたらいいなと思います。（女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央）

・次は「冬でも来たくなる」くらい魅力的な体験を。松本の人々はまだまだとっつきにくい。愛想のよい東京のチェーン店に、地元飲食店が閉店に追い込まれる事態を深刻視するべき。（男性/50代/勤め人/居住年数10～20年未満/庄内）

●実現するために必要なこと

・街づくり

特急あずさで新宿駅を発つと、右手に歌舞伎町が見えます。松本に着くと右手にはミニ歌舞伎町が見えてきます。果たして、観光客は、もう一度松本を訪れたいと思うのでしょうか？多分、思わないでしょう。東京からのお客さんは、非日常を求めて観光地に行くのです。3時間もかけて信濃に来たのに、見えてきた町並みはミニ歌舞伎町では興ざめです。松本は「三がく都」だそうですが、そのキャッチフレーズも虚しく響きます。駅前の商店は衰退し路面店ですら風俗店が増えるばかりです。ここ3年ほどで、キャバクラが井上百貨店のすぐ近く、駅前の翁堂の隣、公園通りと続々と開店しています。駅前一等地の商業ビルに全国チェーンのカラオケ店が出店したのもこの時期です。行政も松本商工会議所も観光協会も、手をこまねいて見ているだけです。松本が観光地として生きていく気がないのであれば、それもアリでしょうが、観光地としては失格です。

「松本の人も、東京のような暮らしがしたい」40年前の駅前再開発には、それが滲み出ています。その想いと観光地とのバランスをどうとるかを真剣に議論するべきです。私は、商業地域によってメリハリをつけるべきではと考えます。やはり、お城を中心とした旧市街地は城下町の風情を大事にした街づくりを。言い換えれば、観光客用のショウウィンドウです。市長の言うように、街全体を美術館にするデザイ

ンです。各通りの建物の統一性が重要です。他方、郊外の商業地域は近代的なつくりによれば良いと思います。お金も年月もかかることですから、まずはしっかりとしたランドデザインを市民で作ることが大事かと思います。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

・トイレ

円安もあり、松本にも海外からのお客様は年々増えていますが、トイレの整備が的外れです。観光地であるならば全てのトイレは洋式にするべきです。特に欧米から来た方は、和式トイレは使い方が分からないのと不衛生なので嫌います。改修した松本駅ですら公衆トイレに和式があるのは企画がお粗末です。また、観光地にある商店のトイレの洋式への転換も急務でしょう。市が全額補助しても良いのではないかと思います。これは是非スピード感をもってやって頂きたい。皆さんは、海外旅行をしてトイレで不愉快な思いをしたらもう一度行きたいと思いませんか？

また、直接的には松本市の問題ではないのですが、列車のトイレの問題も深刻です。特急しなのは未だに和式トイレですし、在来線も旧式電車は和式トイレです。市や商工会からJR各社に早急に改善を働きかけをするべきです。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

・特急あずさ

私は上京するのに、長野新幹線も特急あずさも使いますが、あずさで閉口するのは乗車時間の長さよりも乗り心地の悪さです。特に横揺れが酷く、走行中は真っ直ぐ立って歩けないほどです（だから、座席につかまれるように取っ手が付いています。新幹線にそんなものありません）。3時間も横揺れに晒されると、本当に疲れます。

現実問題として、あずさのスピードアップは今の需要ではペイしないのでJR東はやらないでしょう（30分短縮するのに2千億円くらい掛かるそうです）。しかし、乗り心地のアップなら費用は少なく済むかもしれません。激しい横揺れが発生する線路のポイントを、新幹線で使用しているものに付け替えるだけで振動は減り、ポイントでの高速走行も可能です。在来線で高速運転している、京成ライナー、つくばエクスプレス、特急はくたか等お手本にする事例はあります。また、JR東は近々あずさ車両を新造します。この車両には横揺れ防止装置が着くのですが、先頭車両とグリーン車だけとなっています。是非、これは全車両にするように行政・商工会から働きかけるべきではないでしょうか？また、車両の内装も、全車両もう少し高級感をだして欲しいです。街づくりでも申し上げましたが、観光客は非日常を期待しているのです。事務所のような照明・壁紙では興ざめです。せっかく新造して今後何十年も松本へのお客様を運ぶ車両ですし、大幅なスピードアップは諦めめるのですから交渉の余地はあるはずです。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

・コミュニケーション

英語の表記が少なすぎます。駅・バスターミナル・通り・商業施設等の案内板（ちなみに駅前の交番に「KOBAN」と看板をだしたセンスの悪さには驚きました。そこは素直に「POLICE」に替えましょう。優れたKOBANシステムを世界に広めたいという心意気はかいますが、伝わらなければ意味がありません。警察による援助が必要な人が、交番にたどり着けることが重要です）。食事のメニューも英語バージョンが欲しいですね。駅そばのメニューが英語なのは良い試みですが、一度、ネイティブにチェックしてもらった方が良いのではと思います。公共の場の表記は行政がやるとしても、個々の商店が英語表記を完備するのはなかなか難しいと思います。行政の援助が必要です。ひとつは費用の補助、もう一つは翻訳会社の紹介が必要でしょう。

音声アナウンスも英語が欲しいです。特に松本駅では構内放送が日本語でしかありません。定型のもので

あれば録音したものを流すだけでも大分違うと思います。ただ、問題は定型外の放送です。鉄道は遅延が多いのでそれを知らせるアナウンスがありますが日本語だけです。また、発着ホームの変更も日本語による放送だけです。私は、ちょくちょく松本駅で右往左往している、時には怒っている海外からの観光客を目にします。また、昨年末に地震があったときの駅アナウンスも日本語のみでした。アナウンスの中には、「次の余震が大きかった場合、駅舎が倒壊する恐れがあるので駅舎から出てください」といった緊迫したものもありましたが、残念ながら日本語のみでした。緊急時の外国語放送の整備も重要です。早急に改善するべきです。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

・Wi-Fi

これは、行政によって整備が進められているようですが、よりスピード感をもってやってもらいたいと思います。ただ、Wi-Fiの整備だけで良いのかは少し疑問です。というのは、どうしてもエリアが限られるからです。補完的な打開策ですが、格安SIMの提供・レンタルも宣伝してはどうでしょうか？これは日本が誇れる素晴らしいサービスです。通信速度が3MBとはいえ、無制限で月額3千円というのは、多分米国には無いサービスです。逆に言えば海外からのお客様には知られていません。市場調査次第では、通信会社と提携して松本SIMをサービスとして生み出しても良いかもしれません。例えば、1週間の滞在なら、速度3MB、通信容量無制限、違約金・初期費用無料で2千円。使用済みSIMは同封の封筒に入れてポストにいれるだけとか……。格安SIMで便利なのは、やはり何処でもだいたい繋がるということです。市街地でも郊外でもOKです。Google MapとGPSを組み合わせて徒歩ナビにすれば道に迷うこともありません。レンタサイクルやレンタカーでもナビとして使えます。YouTubeを使って便利さを宣伝するのも大事かと思います。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

・広報

YouTubeに、関西に留学している学生による日本（関西のみ）文化の紹介チャンネルがあります。留学生のほとんどが中国か台湾からの留学生ですが、まれに他の国からの学生も出演しています。非常に良くできていて、日本の文化紹介であるだけでなく、日本にこれから観光しようと思っている人に対しての（結果的に）観光プロモーションにもなっています。ただ、彼らはボランティアでやっている訳ではなく有給であるようです。ある意味、留学生に対する金銭援助にもなっていて素晴らしい企画だと思います。下に二つほどURLを参考にはっておきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=3Dg2QO3p7gk&list=PLB01F4998FF8C1FBD&index=1>

<https://www.youtube.com/watch?v=1Pnm-HBps3g>

松本でも、このようなチャンネルを留学生とともに制作してはどうでしょうか？外国人観光客誘致の一助になると思います。（男性/40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

テーマ4 松本独自の文化・芸術・プロスポーツをどのように活かしていくか？

●あなたがしたいこと、みんなでしたいこと、実現のために必要なこと

・「あなたがしたいこと」「みんなでしたいこと」：クラフトフェアまつもとも、昨年30周年を迎え、「工芸・クラフトのまち」として松本も認知されつつあります。

いまこそ、地元の人とは勿論、県内外・海外から来る観光客に向けて、核となる「クラフトセンター」を立ち上げたいです。

「実現のために必要なこと」：核となる「場」。その「場」を作るための人材（松本市民、クラフトに興味のある人、作り手、フォローしてくれる公務員など）や、具体的ノウハウ、資金。（男性/40代/自営業/居住年数10～20年未満/内田）

●みんなでしたいこと、実現したいこと

・松本に暮らす人は、みんな人生の目的を持っているというようなことが、文化や芸術には大切だと思います。文化と言われていること、芸術と言われていること、プロスポーツと言われていることについて対話を進めても、それぞれの分野のいままでのものの追認にしかならず、文化や芸術、スポーツという創造の世界にはつながらないので、独自の文化・芸術・プロスポーツを活かすということは何のためなのかを深く掘り下げる必要があると感じます。独自の文化・芸術・プロスポーツを活かすことが、まずは何のために？という問いが立てられて、自由な対話が行われることで、目的が共有され、「実現のために必要なことは」というより、「目的に向かうにはどのように？」というどのように？という問いを立て課題設定を行い、そこから「あなたがしたいこと」「みんなでしたいこと」という何をやりたいか？という具体的な目標が対話として語られると参加する主体が、自分のこととして深く考え行動する切っ掛けになるのではないかと思います。（不明/30代/自営業/30年以上/東部地区）

・民芸品をもっと県外へ発信する

松本は民芸の町と言われているのですが、もっともっと県外へアピールしてほしいです。そのためにはまず、松本市民が生活の中に民芸品を取り入れたら良いと思います。ある民芸品のお店の方が、「観光客は買いにくるけど、地元の人には来てくれない。地元の人にこそ使ってほしいのに」と仰ってました。私は東京で生まれ育ち、「民芸品」という言葉も去年こちらへ来るまで知りませんでした。せっかく町に素晴らしい民芸品のお店がたくさんあるのに、勿体ないです。学校や家庭でもっと民芸品が使われるようになればいいと思うので、キャンペーン？のようなものを市と一緒にできたらいいです。（女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央）

・美術作品をもっと街中に

草間弥生さんの作品など、もっと街中にオブジェを置いてあったらいいと思います。直島にあるのに松本にないのは勿体ないなと思います。

柚木沙弥朗さんや三代澤本壽さんの作品も町中に色々あると思うのですが、あまり観光客には知られてないような気がします。アートマップのようなものを作って観光客の方にも知ってもらえたらいいなと思います。（女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央）

・「楽都」としてのアピールをもっと。大きなイベントだけでなく、小さなライブハウス、ピアノバー、本当に気軽に音楽を楽しめる場所はもっとある。東京からそれだけのために遊びに来たくなる街に。（男性/50代/勤め人/居住年数10～20年未満/庄内）

●その他の意見

・松本（と言いますか長野県）に決定的に欠如しているのは、ファッションだと思います。4月には長野市に新駅ビルがオープンしますが、ファッションブランドショップの誘致には苦勞したという記事が信毎に掲載されていました。彼らは、長野県にファッション文化があるのか懐疑的で出店を渋ったそうです。松本市にも同じことが言えると感じています。街で見かける人の中で、一番ファッションに気を付けているのは、制服姿の男子高生の一部だけというのは情けない気がします。特に女性・女の子が魅力的に見えないのは東京と比べると大きな違いです。例えば髪型ひとつとっても、みな無難で同じような髪型です。とくに女子高生はオカッパかロングをヒツツメにしている髪型がほとんどです。中年男性にいたってはもっと悲惨です。服装にしても老若男女を問わず皆無難な色合いデザインです。

この現象の原因のひとつは、社会の同調圧力でしょう。人と少しでも違うことをすることを快く思わない文化が問題です。前述した男子高生達は、ちょっとトガッタというか、周りの圧力に負けないでお洒落したいというスタンスを確立しているから出来るのでしょうか。逆に言えば、その位気合を入れないとお洒落が出来ない松本の風土は不幸だと思います。松本の人、特に若い子は、昔ほどではないにしろ東京に憧れを持っています。そこでは、人々は垢抜けていてお洒落を楽しんでいます。しかし、他方、地元では、お互いを牽制しあって無難な線に落ち着かせる同調圧力を当然のこととしています。この矛盾した文化をどうしていくのか？そろそろ直視しても良いのではないのでしょうか？ 加えて、松本の人「質実剛健」を間違って解釈していると感じます。そもそも、お洒落とは華美を指すことでもありません。こまめに千円カットで散髪するのも立派なお洒落です。松本の営業マン、ホテル等の接客業の一体何人が週一回散髪しているのでしょうか？

これは文化の問題ですから、私にもどうしたら良いのか分かりません。同調圧力の何が悪いというご意見もあるでしょう。しかし、私は高校卒業後に上京して後悔した松本市民や長野県民の話を聞いたことがあります。同調圧力は人口流出にもつながっています。松本にファッション文化がないのは、松本が東京から離れているからでも、新幹線が通っていないからでもありません。人と文化の問題なのです。（男性 /40代/自営業/居住年数1年未満/芳川）

テーマ5 地区の地域力を高めるには？

●実現のために必要なこと

・観光にたよらない、産業の育成。林業を見直して、バイオマスの利用を促進するとか、地方にしかできない産業を育成し、経済を回すシナリオがまだまだ弱い。とても弱い。(男性/50代/勤め人/居住年数10~20年未満/庄内)

テーマ6 移住したいまちにするには？

●実現のために必要なこと

・何のために移住してほしいのか、どんな人たちに移住してほしいのか深く掘り下げることがまずは、したいことを見定めるためにも大事だと思います。(不明/30代/自営業/30年以上/東部地区)

・夢がかなう街。いま、松本で働いて、本当に夢がかなうと思っている若者がどれだけいるか。まず、そこをしっかりと現状把握し、足りないものを考えるべき。(男性/50代/勤め人/居住年数10~20年未満/庄内)

・空き家をもっと活用したい

松本市には、古く魅力的な日本家屋がたくさんあります。都会から越してきた自分から見ると、見たことの無いかっこいい民家がたくさんあり、こんなところに住めたらいいのに、とよく思います。先日も、近所にあった赴きある空き家を取り壊されてしまいました。松本市も空き家情報を公開していますが、それも少しだけで、誰にも管理されていない空き家もたくさんあると思います。都会からの移住者にとっては、一軒家を安く賃貸で借りられたり、購入できればとても魅力的です。空き家の情報を簡単に見られるようなHPがあり、市内にとどまらず県外へも発信して行ってほしいです。(女性/30代/専業主婦/居住年数1年未満/中央)

・移住促進の決め手は雇用だと思いますが、選択肢が少ない気がします。東京と比べると、どうしても同じような業種・職種しかない印象を受けます。

また、雇用に際し性差別・年齢差別は東京より激しい気がします。例えば、事務職であれば女性しか採用しないとか、30歳以上は採用する気がないとか封建的です。たとえ、募集要項に性別・年齢不問と書かれていても、それは法令で原則禁止されているから建前で書いているだけで、採用担当者に電話をかけるとケンモホロロにお断りされてしまいます。能力はありながら、性別・年齢差別を東京で受けて嫌っている人は多いと思います。そういうセグメントに的を絞って移住しやすい環境を作るのも一つの案かと思います。

また、単純作業のアルバイトの仕事は沢山あるのですが、いわゆるホワイトカラーの仕事となると、新卒以外の採用はあまり見かけません。これは、そもそも3次産業が育っておらず、雇用の流動性も低いせいでしょう。工場の誘致にばかり明け暮れてきた産業振興策の失敗です。これでは、都市部のホワイトカラーの移住は望めません。中長期展望にたった新たな産業誘致策が必要です。

蛇足ですが、市外県外からの投資を妨げる運動が散見されるのも松本市の特徴でしょう。今、話題となっているイオンモール進出に対する反対運動は典型例です。かつては、駅前のBook63に対する反対運動もありました。多くの都市が、雇用を生み出すために投資を呼び掛けているのに、松本市は地場の産業と競合する投資は断っています。これでは新規雇用は生まれません。行政は、投資を促進することはあっても、規制を設けるべきではありません。市場のことは民間に原則ゆだねるべきです。(男性/40代/自営

テーマ7 自然環境に配慮したエコなまちにするには？

●実現するために必要なこと

・車に乗らずに過ごすにはどうするか。ちょっと我慢するだけで、車はなくても十分平気。車を持たない世帯を応援する施策、など。我が家は自転車とレンタカーで十分。松本は観光都市としてレンタカーが充実しているメリットをもっと享受すべき。(男性/50代/勤め人/居住年数 10~20 年未満/庄内)

・みみずコンポスト

学校でみみずコンポストを子ども達とやってほしい！学校だけでなく、会社や自宅でもできるよう市が推進してほしいです。

オーストラリアでは会社内でも普通に行われていて、お弁当の残りなどをみみずコンポストにいれて、それが肥料になっているそうです。市で取り組んだらゴミも減って植物や野菜の肥料も作れて、素敵だなと思います。(女性/30代/専業主婦/居住年数 1 年未満/中央)

テーマ8 高齢になっても住みやすいまちにするには？

●実現するために必要なこと

・コンパクトシティ化の促進、がまず必要でしょう。年をとったら街中の方が便利、ということを広める。(男性/50代/勤め人/居住年数 10~20 年未満/庄内)

・高齢者になって、車が無くても暮らせる町にしたい

車が無くてもいいように、自転車がもっと走りやすい町にしてほしい。市街地はそれなりに整備されていますが、少し離れると歩道もない道がたくさんあるので。自転車がもっと走れるようになると、環境にも良いしよいと思います。(女性/30代/専業主婦/居住年数 1 年未満/中央)

第4節 35地区の公民館における意見収集

1. 実施の概要

市内35地区の公民館に「まつもと未来会議@公民館」と題した印刷物を掲示し、公民館を利用する市民を対象に意見収集を行った。

【期間】2015年2月16日（月）～2月27日（金）

【場所】市内35地区の公民館

【対象】松本市在住の市民

【質問項目】

①「よい地域にするために今すぐにでも取り組めること」

事前の市民意識調査で把握した「市民が取り組んでいること」の集計結果を示し、その項目のなかで自らが今すぐにでも取り組めると思ったものに投票（複数可）してもらった。

②「もっと住みやすい、魅力的なまちにするために市民がしたいこと、みんなでしたいこと」

市民主体で取り組みたいことを自由回答で付箋に記入してもらった。なお本節では、質問項目に該当しない意見について「その他 要望、意見」としてとりまとめた。

■参考 まつもと未来会議@公民館

まつもとの未来を考える ～まつもと未来会議@公民館～

松本市では平成28年度から5年間を期間とする新たな計画（第10次基本計画）を策定します。みなさんの声をお聞かせください。

①まつもとの未来予想

2040年、総人口は13.6%減少し（2015年比較）高齢化率は34.6%になると予想されています。

人口減少、少子化・高齢化が進行することで、松本市の財政も厳しくなることが予想されます。

②よい地域にするために市民のみさんが取り組んでいること

一人ひとりができることに取り組むことで、これからも暮らしやすいまちにしていくことができると思いませんか？
あなたが今すぐにでも取り組める項目に緑色のシールをはってください！

取り組みの内容	割合
この地区や町を良くすること	85.4%
暮らしやすくなるよう道路や公園を整えること	50.0%
松本市の発展に積極的に参加すること	45.8%
健康づくりの大切さを市民に伝えること	43.4%
交通マナーの向上を図ること	43.0%
自治会費が削減されることへの参加を促すこと	39.0%
健康増進、美意識の向上と健康寿命の延長を促すこと	35.0%
道路に車を駐車せず、道路に活用を促すこと（歩行者優先）	33.4%
公共交通機関（バス）の充実を促すこと	32.7%
子育てに関する自治会や市民団体の参加を促すこと	26.0%
地域の子どもや若者への参加を促すこと	27.0%
公民館の活動がもっと盛んになるよう参加を促すこと	26.0%
自治会費が削減されることへの参加を促すこと	23.3%
松本市の魅力を積極的に発信すること	22.8%
買い物や子育てに関する自治会や市民団体の参加を促すこと	21.4%
音楽や運動など、文化活動の参加を促すこと	20.4%
松本市の魅力を積極的に発信すること	17.4%
健康増進や美意識の向上を促すこと	16.3%
道路の整備に向けた参加を促すこと	15.5%
障がいを持った人が地域で安心して暮らすよう参加を促すこと	14.3%
中心市街地の活性化を促すこと	14.0%
高齢者の生活スタイルや生活の質を向上させること	11.1%
健康増進や美意識の向上を促すこと	5.4%

あなたが、今すぐにでも取り組める項目に緑色のシールをはってください

松本をもっと住みやすい、魅力的なまちにするために、あなたがしたいこと、みんなでしたいことはどんなことですか？付箋にご意見を書いて、以下のスペースに張ってください。

まつもと未来会議では、こんな活動もしていきます。

◆ワークショップ

- ・2月27日（金）18：30～
- ・まつもと市民会館5階
- ・入場無料・申込み必要
- ※詳細はチラシをご覧ください。

◆インターネットを基にした意見収集

- ・8つのテーマについて意見を募集するWebページを開設中
- <http://hpo.spc.jp/eng/matsuyamafuture/>

◆Facebookも開設中

- ・まつもと未来会議
- <https://www.facebook.com/matsuyamafuture/>

※今回、いただいたご意見は第10次基本計画策定にかかる基礎資料として活用します。

2. 地区別の意見まとめ

(1) 第1地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

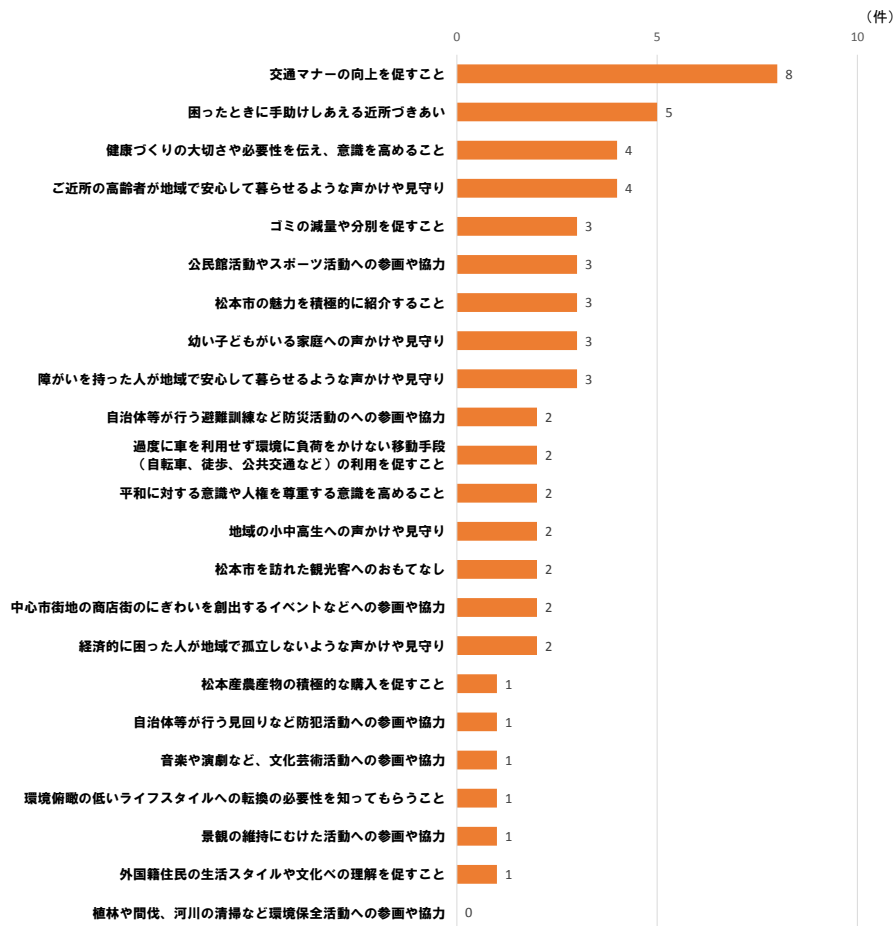
	0	5
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	1	
ゴミの減量や分別を促すこと	0	
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	0	
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	0	
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	0	
交通マナーの向上を促すこと	0	
自治体等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	0	
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	0	
過度に車を利用せず環境に負荷をかけない移動手段 (自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	0	
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	0	
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	0	
地域の小中高生への声かけや見守り	0	
自治体等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	0	
松本市の魅力を積極的に紹介すること	0	
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	0	
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	0	
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	0	
環境俯瞰の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	0	
景観の維持にむけた活動への参画や協力	0	
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	0	
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	0	
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	0	
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	0	

②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- ゴミ拾い、ウォーキング

(2) 第2地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

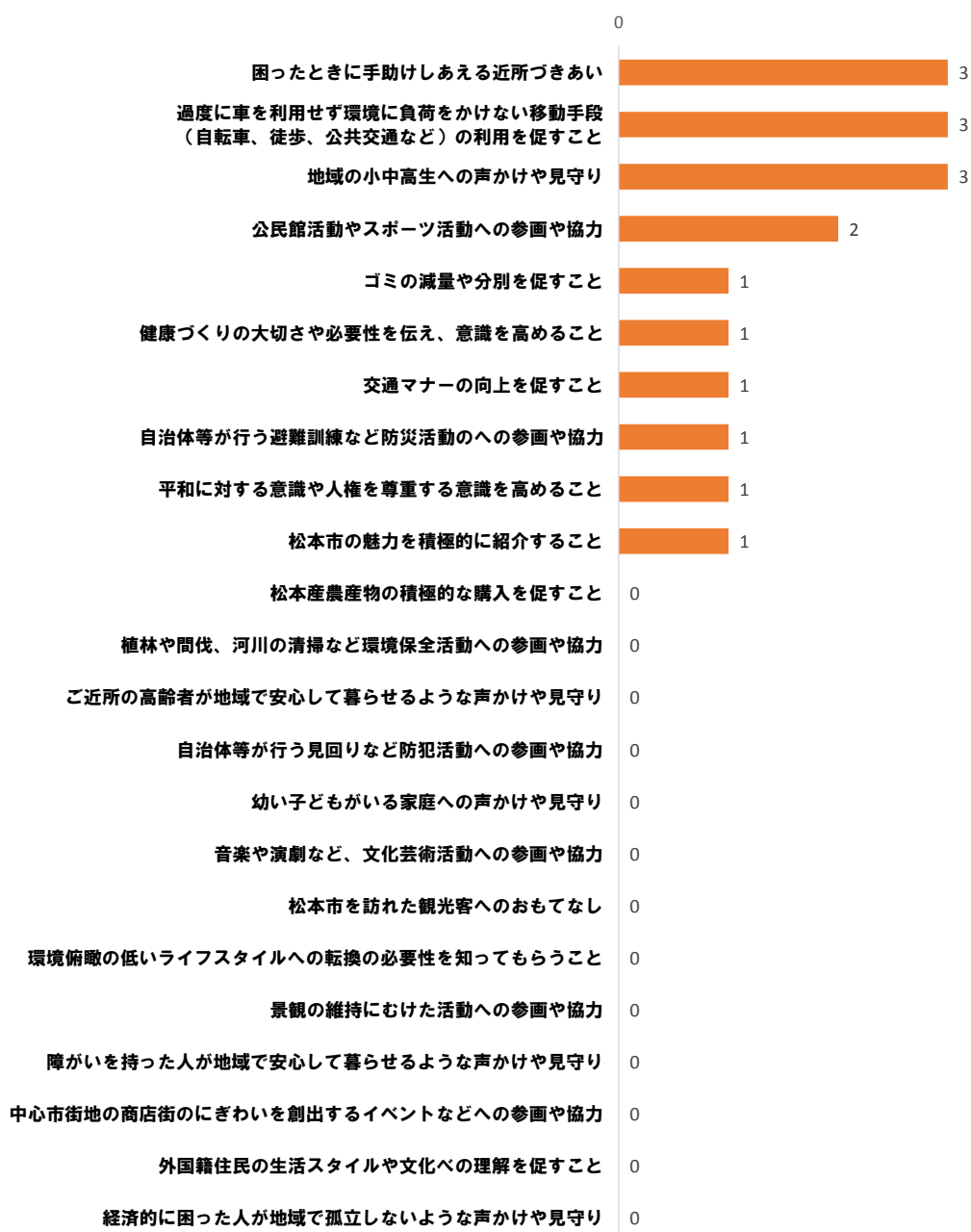
- ゴミ拾い、ウォーキング

(3) 第3地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

(件)

5



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

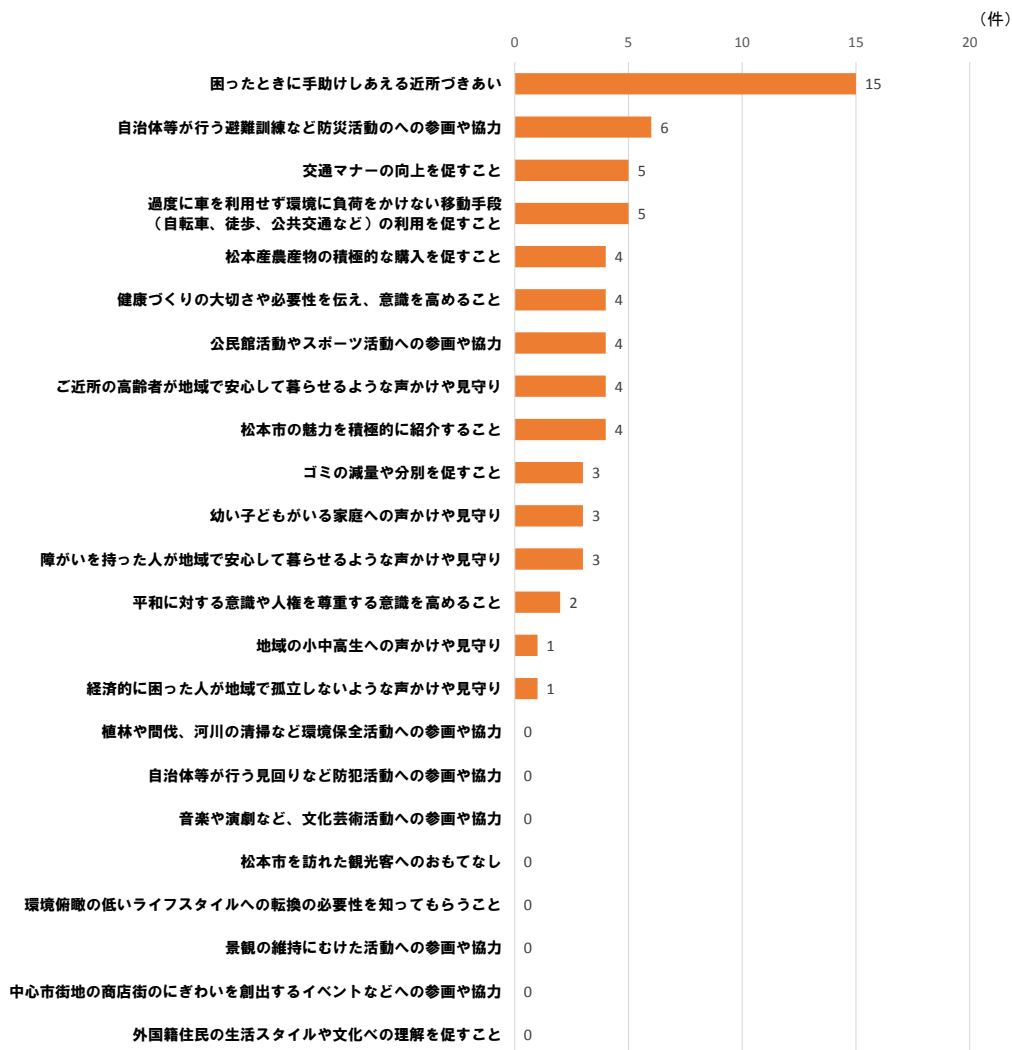
- 思いやりの心を忘れない
- 近所の方とのあいさつ
- 地域の子もたちの様子を皆で見守っていいく
- 若いお母さんたちが安心して子育てできるよう地域で考え、大切に！
- 郷土を愛せる人間関係を伝え、みせていけるようにしていく

(その他 要望、意見等)

- 自転車安心して走行できる
- 「平和」を尊ぶ街宣言

(4) 東部地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- まちをきれいにする
- 高齢者宅に声かけする
- まちづくりを考える
- 高齢者に気をくばる
- 交通マナーを守る
- 人を労る
- 社会の中でのマナーを守ろう
- 近所つきあいをする
- 一人暮らしの方に気を配る
- お互いの健康づくりを見守る
- あいさつをする
- ゴミの分別に協力する

(5) 中央地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

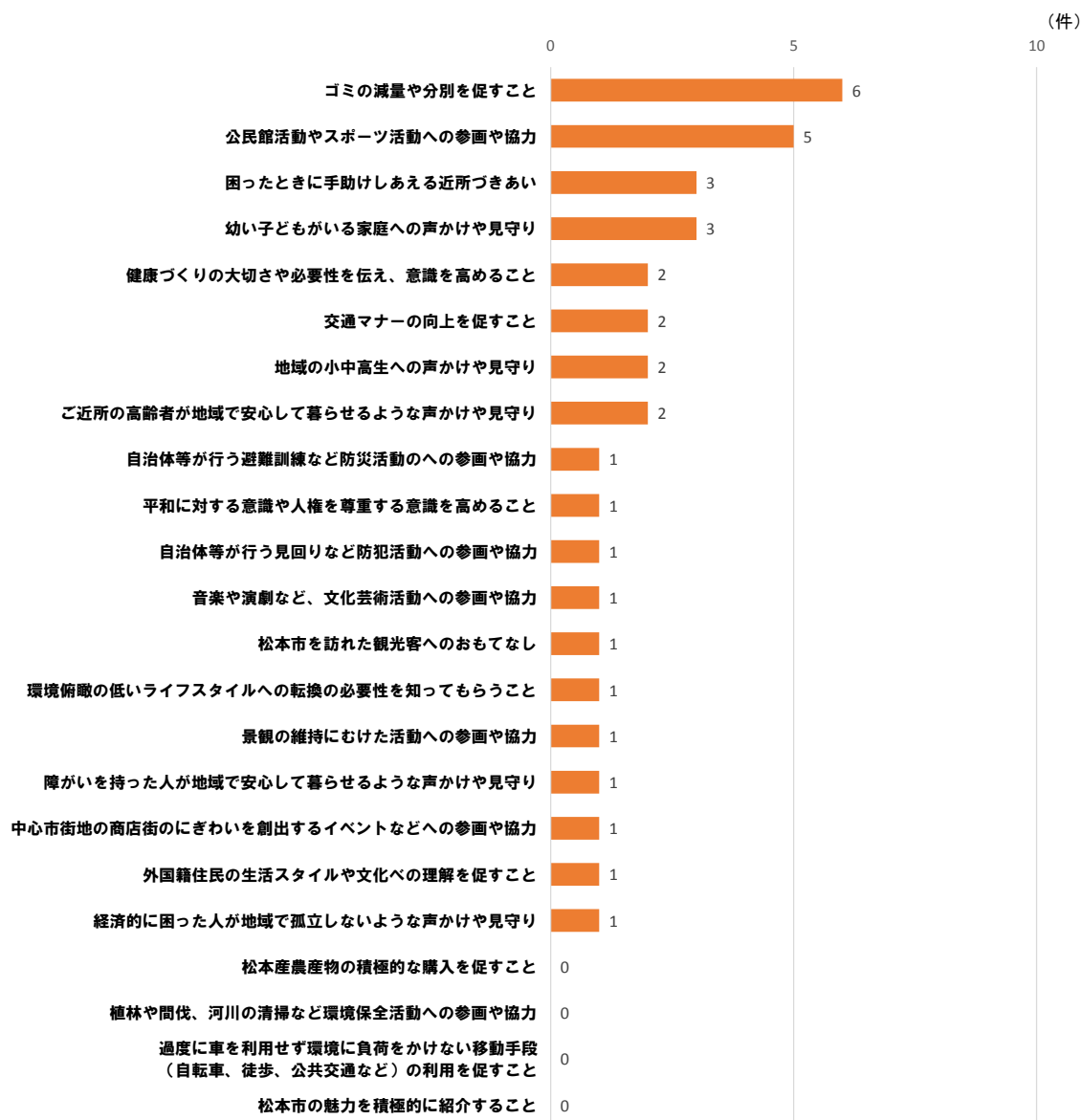
	0	5	(件)
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	0	1	
ゴミの減量や分別を促すこと	0		
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	0		
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	0		
交通マナーの向上を促すこと	0		
自治体等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	0		
植林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	0		
過度に車を利用せず環境に負荷をかけない移動手段 (自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	0		
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	0		
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	0		
地域の小中高生への声かけや見守り	0		
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	0		
自治体等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	0		
松本市の魅力を積極的に紹介すること	0		
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	0		
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	0		
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	0		
環境俯瞰の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	0		
景観の維持にむけた活動への参画や協力	0		
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	0		
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	0		
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	0		
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	0		

②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

(記入なし)

(6) 城北地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

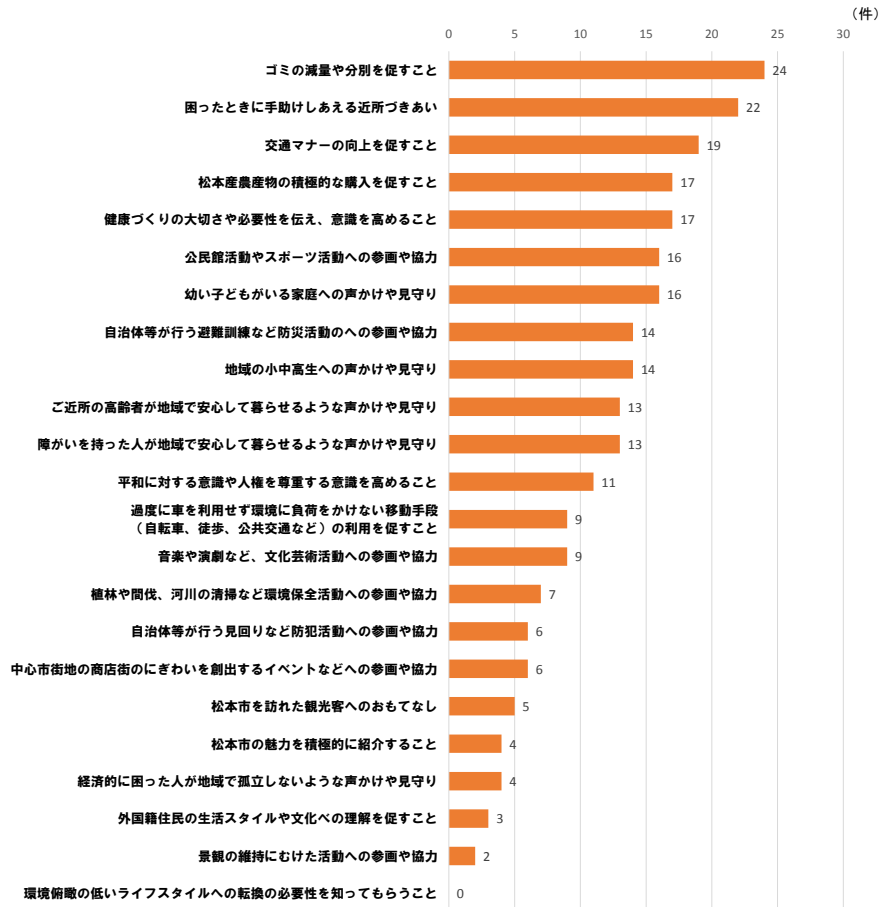


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- やっぱりあいさつ。笑顔が足りない
- 歩行者のための除雪

(7) 安原地区

①よい地域にするために今すぐにも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

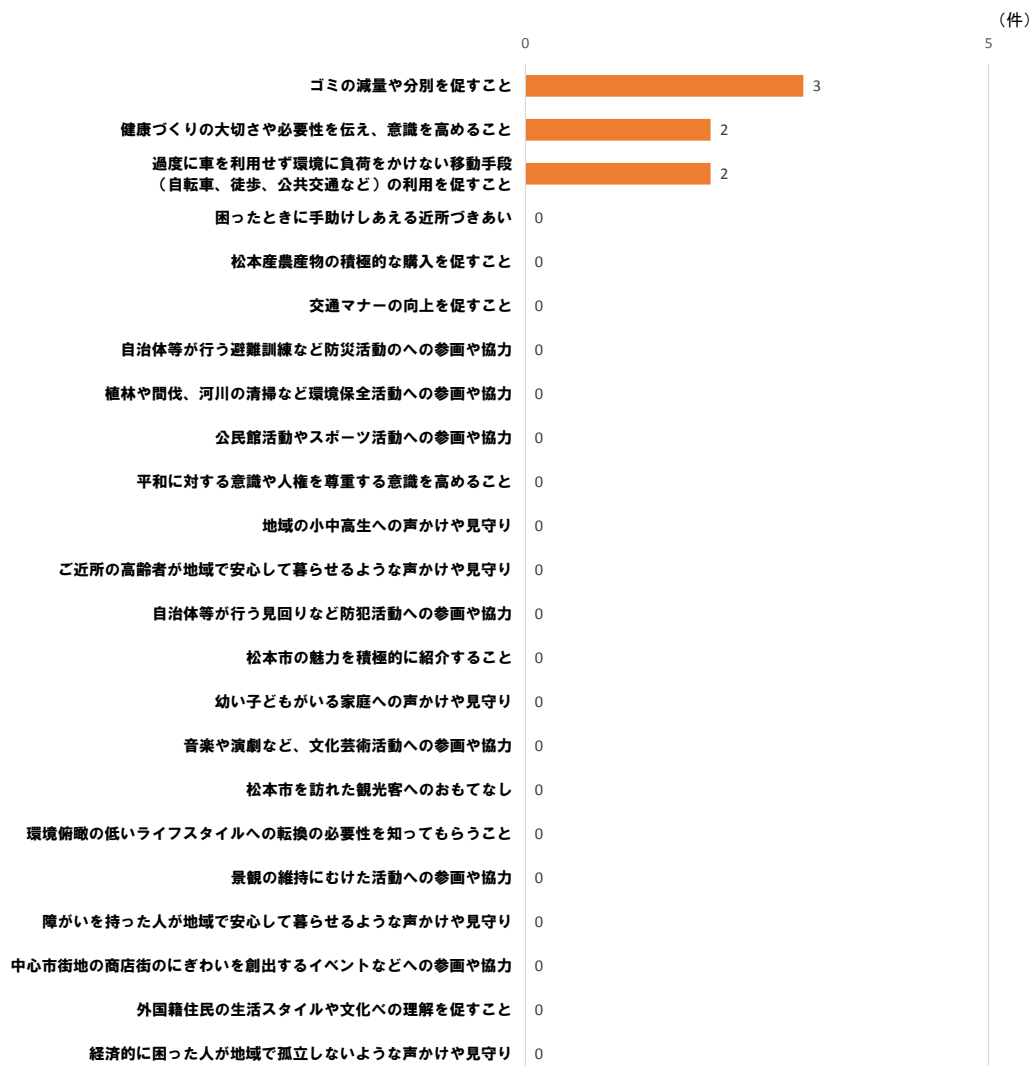
- 公民館の行事や福祉ひろばの行事に積極的に参加して楽しく過ごしたい
- 気持ちよい声かけ、挨拶
- 地区や町会の活動に参加しよう
- 交通マナーを守るようにしたい（特に自転車）
- ほどよい距離感を保ちつつも親密な近所づきあいをしてお互いに安心して住めるまちづくり
- 市内の活性化（商店の充実）を図る
- 生活の中で一人一人思いやりの気持ちを
- 観光客へのおもてなし、気配りが出来るように
- 買物難民の対策を早急に考えたい
- 高齢者への思いやりのある地域としたい
- 松本はこじんまりした街だけど、歴史と伝統のある街、清潔な街、花いっぱい、音楽のある住みたいと思う街を作りたい
- 運転マナーの向上
- 誰もが住みやすく、いつまでも幸せに暮らせる地域をみんなで作る！！

(その他 要望、意見等)

- 防災面で安心して暮らせる
- 車の交通マナーがとても悪く思う

(8) 城東地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



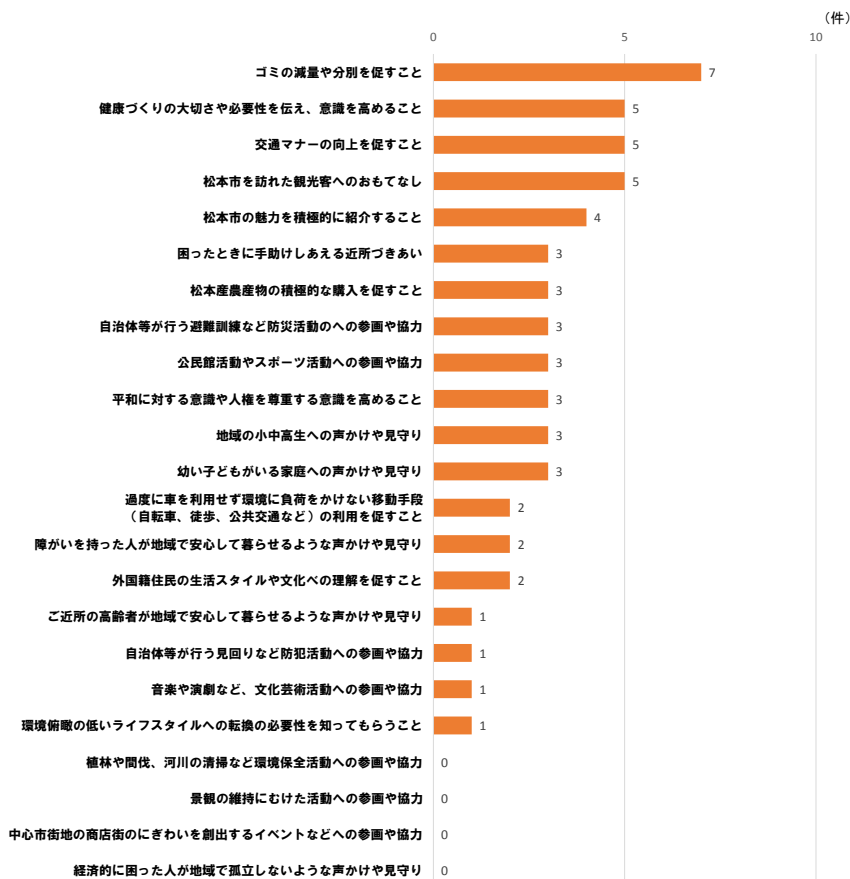
②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(その他 要望、意見等)

- 高いビルができてアルプスが見えない！何とかして！だんだん景色が見えない
- 障がい者の歩きやすい道路に

(9) 白板地区

①よい地域にするために今すぐにも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

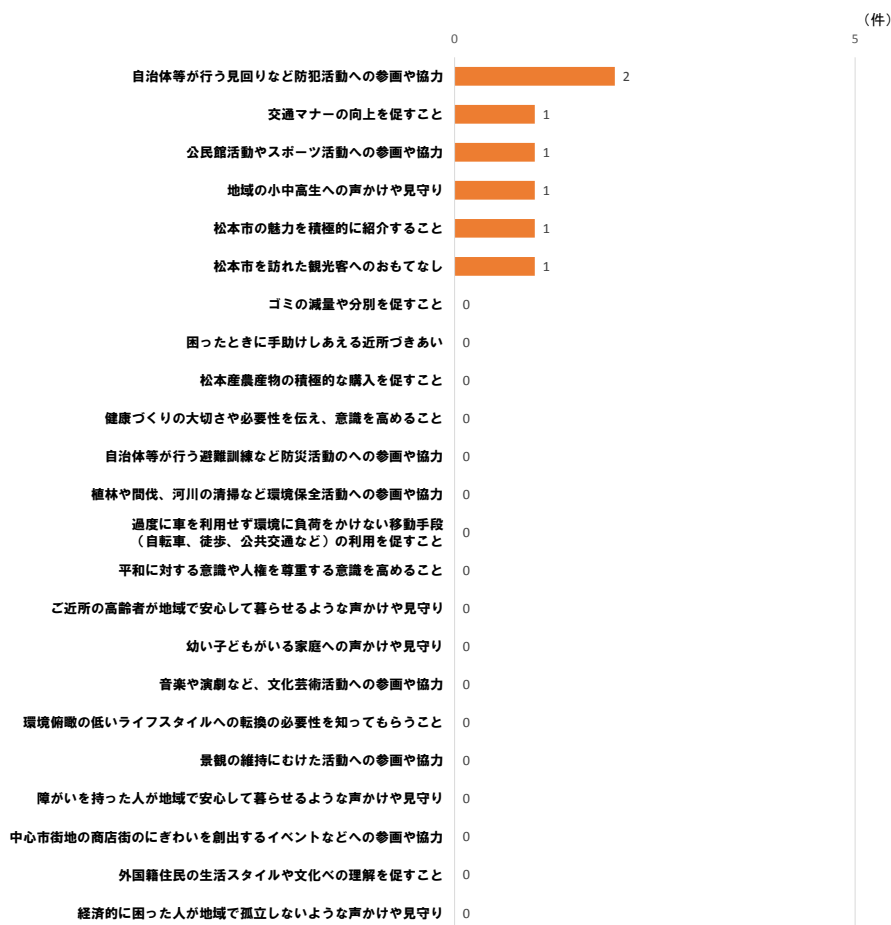
- 子どもへの声かけと見守りをするまち
- 信大周辺の自転車などの交通ルールをもっとしっかり守れるようにしたい
- 交通マナー、運転マナーの見直し
- 自転車が安全に走れる道路整備
- 信大生がもっとSKFに関われる、興味をもてるようにしたい
- ゴミの分別をしっかりとる
- 異世代間の交流
- 外国人との交流の機会を増やしたい
- 多文化社会であるということの認識がもてるイベント
- 一人ひとりが自らの健康への思いを高めるまち
- 子どもたちの健全育成にシニアの力を公民館で
- 中学生期のスポーツ見直し、部活動の積極参加を
- 三世代の交流の場づくりを公民館で

(その他 要望、意見等)

- 今のリサイクル事情と分別をする意味があるのでしょうか？もう少し、分別ゆるくてもむしろ地球環境に良いと思います
- 松本のおもちゃのはくぶつかんを作ってください

(10) 田川地区

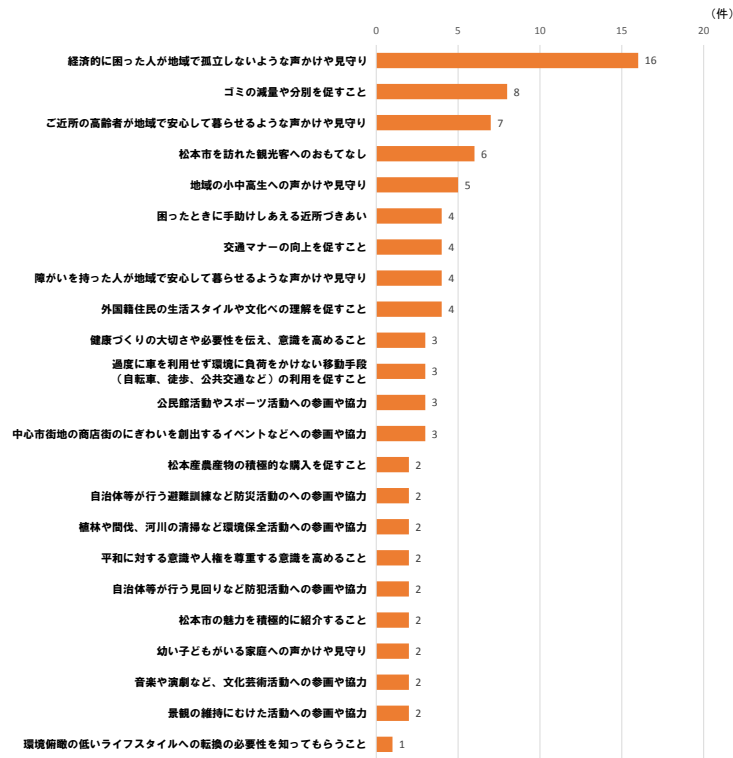
①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(11) 庄内地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

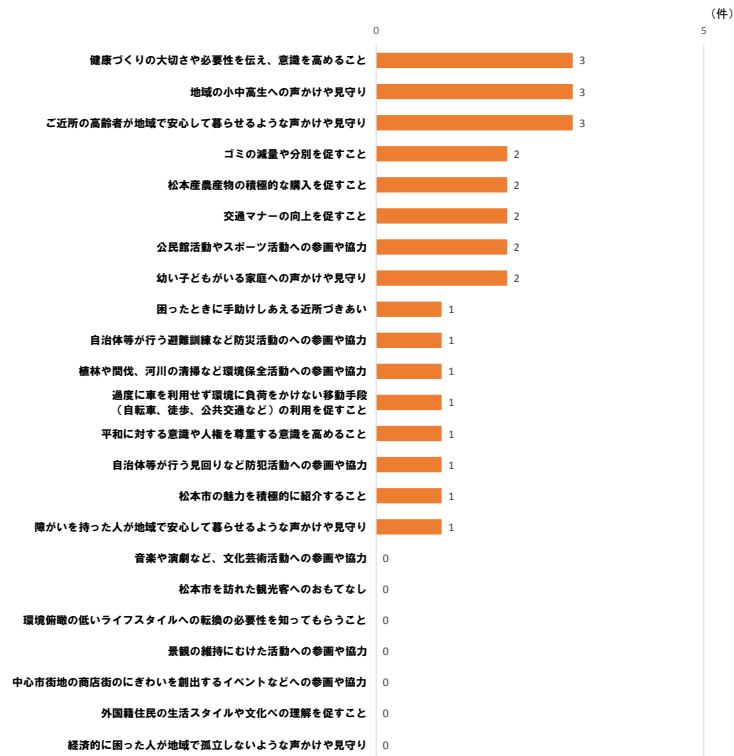
- 運動する！車やバスなどにたよらない！
- 交通ルールを守ること！
- 信号を守って手をあげてわたりましょう
- くるまのうんてんちゅうもわたる人もしんごうをまって、じこをなるべくなくそう
- 地域の人にあいさつ
- あいさつするとき、あいての顔を見てあいさつするようにしよう
- 小学生やほいくえんの人とおとなの人もあいさつをしっかりしようね
- ゴミを分別
- 道で出会う人にはあいさつをしましょう！
- お年よりにはゆずりあい
- あさはいっぱい人がいるからげんきにあいさつしよう
- 交通ルールをまもる！
- 地域の活性化。松本城という他にない強みがあるにもかかわらず、それを最大限生かし切れていない状況をカイゼンすべき

(その他 要望、意見等)

- 市博物館のコンクリート建物を撤去しないと世界一の城下町にはならない
- 中山方面のバスや寿方面へのバスが土日運行されなくなった。車のない高齢者にとって外出の機会が減ることになる
- いてほしい時（場所）に警察がいない……。それでどうでも良いところにいるのが嫌だ。もっと居るべき場所にいてほしい

(12) 鎌田地区

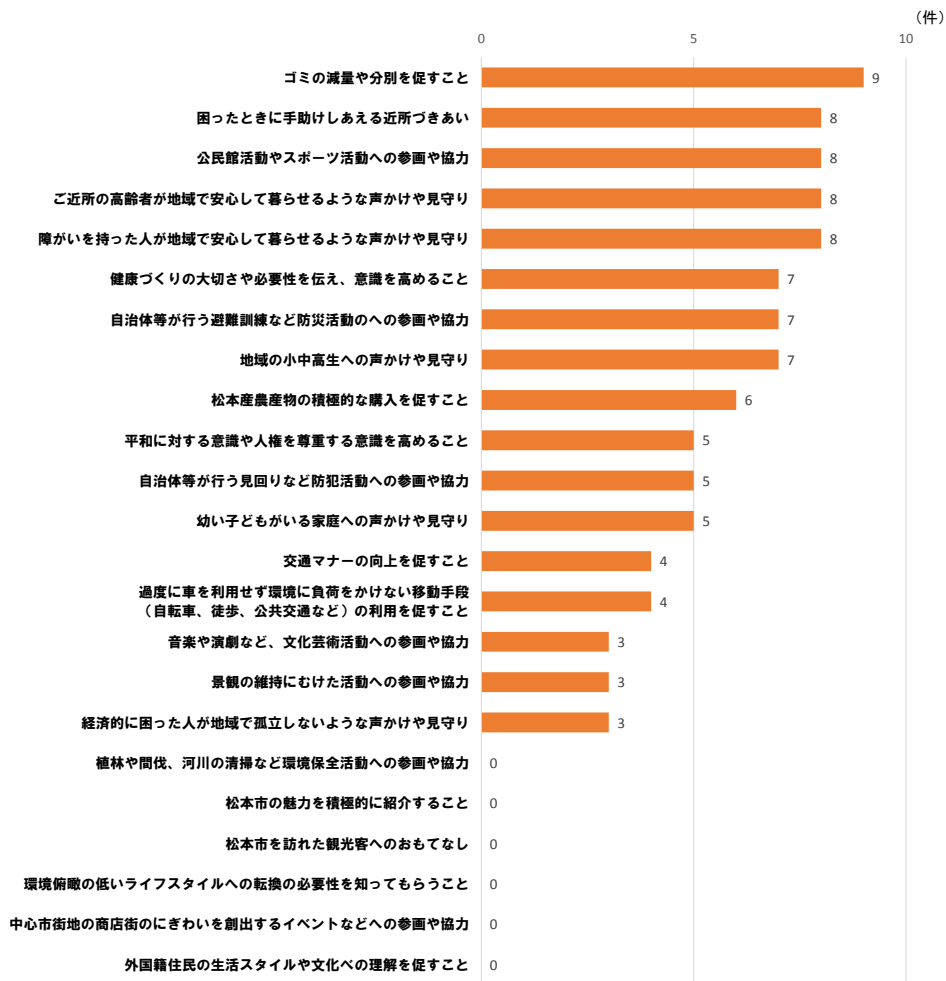
①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(13) 松南地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

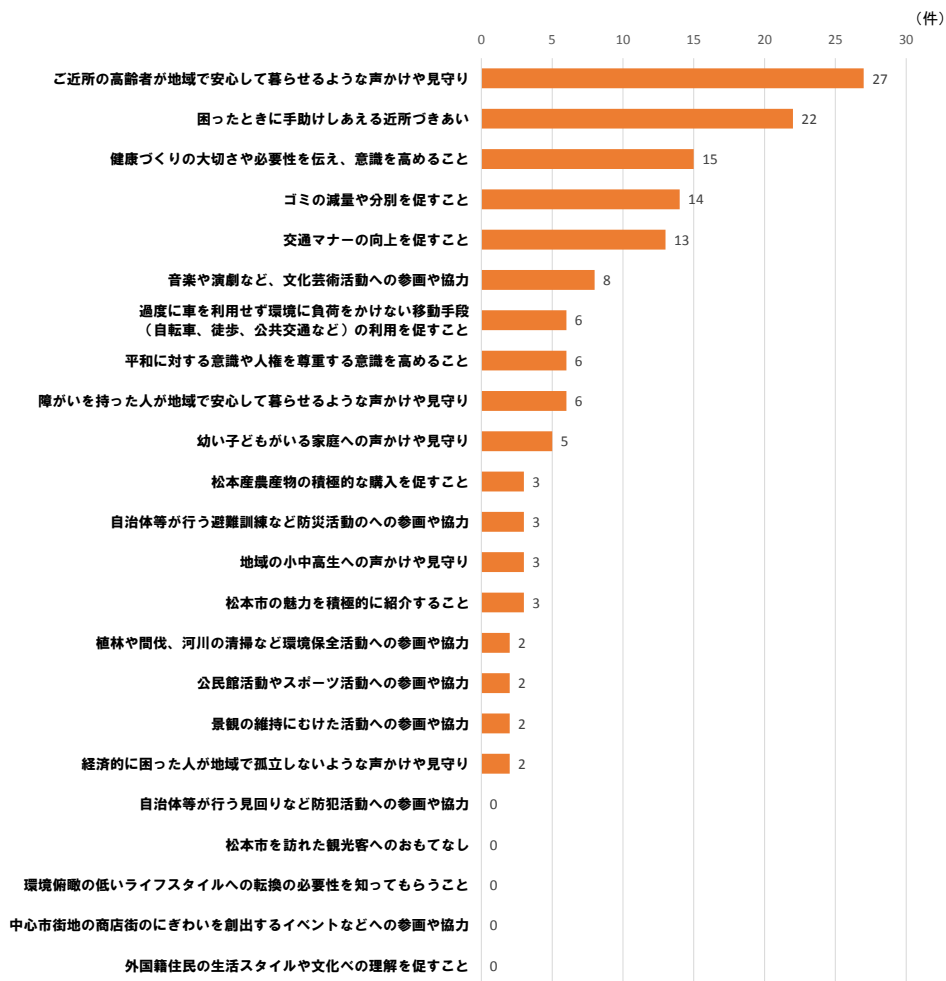
- 小中学生の朝の「あいさつ」をしっかりとして下さい
- 買物弱者をつくらない町が良い
- SKF 期間外も音楽に触れる機会をつくりたい
- 河川のゴミ捨てが目立つが捨ててほしくない
- 地域ごとの協力、声かけ
- 地域ケアの確立と実行

(その他 要望、意見等)

- 子育てはお金がかかる。いろいろな補助等ないと、子どもが増えていかない

(14) 島内地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

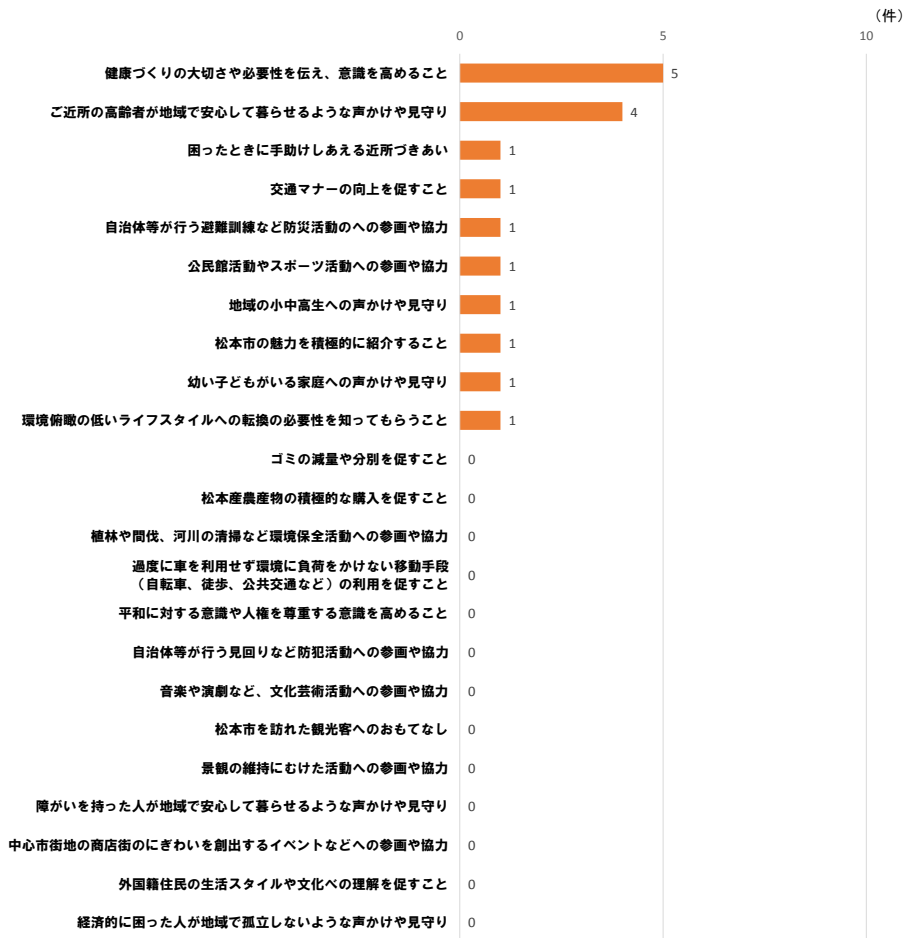
- いろんな講座に参加していきたい
- 年に一回、または二回程度、公民館の展示会に併設して文庫句会の俳句展示
- いつも美しい公民館を利用させていただき感謝しております。美しく使っていきますね
- 地域と共に常にふれあいがが必要です。災害の時は共に協力しましょう

(その他 要望、意見等)

- 保育料の補助拡大
- いつもお世話になり感謝です。皆さんの笑顔がすてきです！
- いつも気持ちよくお世話になっています。この雰囲気大切に今後ともよろしく願います
- いつも使用させて頂き感謝してます！（いつまでも文庫句会が続く事を願いつつ）
- 良く使われていることに感心します。作品の展示物も良い
- 図書館、年中無休にして下さい。できると思われるのですが…
- もっと図書館を地域の人達に親しみやすくひらいてほしい

(15) 中山地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

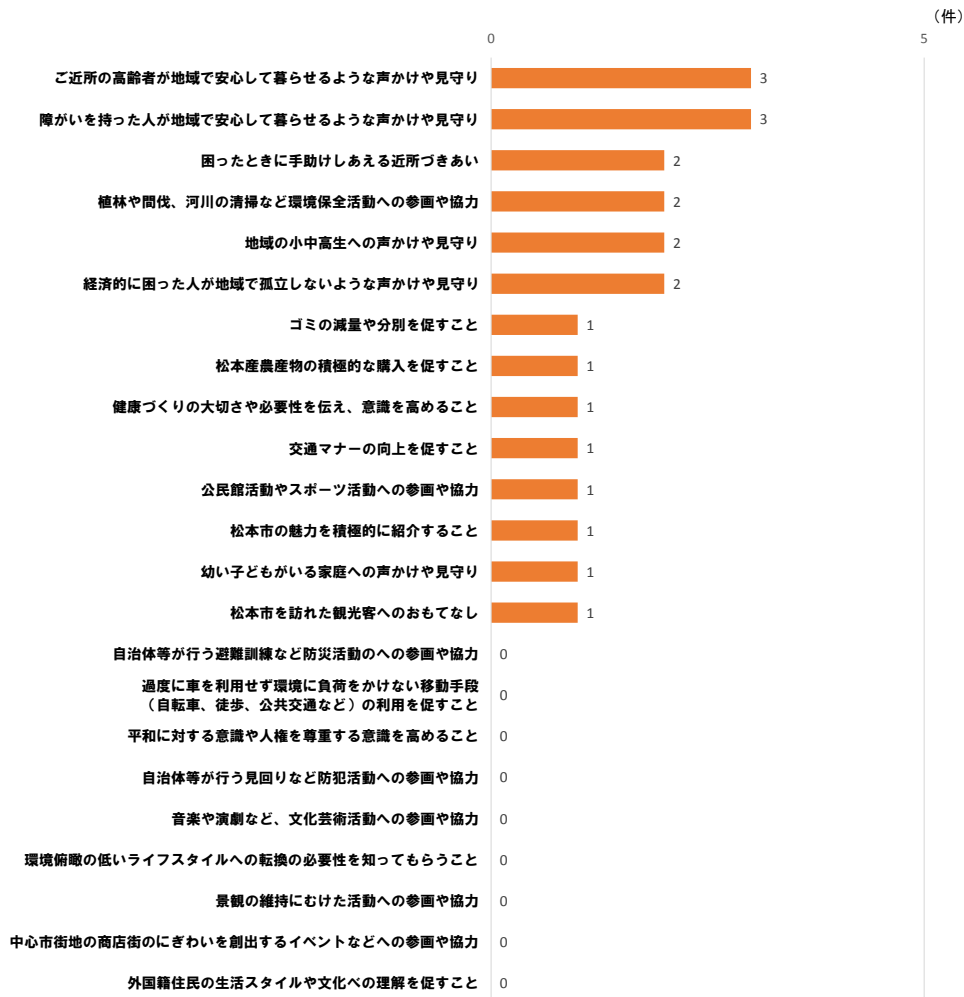
- 中山の良い所を他地域へ発信する

(その他 要望、意見等)

- スポーツの松本にしてほしい。野球もさかんになる町にしてほしい

(16) 島立地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 「あいさつ」から行っていきたい
- 囲碁で地域づくり
- 「ブックカフェづくり」好きな本を持ち寄り、語り会える場、老若男女問わずフラッと立ち寄って、本をみることができるスペースを作りたい。本を媒体にして交流を持ち、お茶が飲めるっていいなあ。
- 近所の人に声かけること
- 野菜がとれたら食べてもらえるようおすそわけすること（コミュニケーション強化）
- 人のために何ができるか…ちいさな親切。ご高齢の方が荷物をもっていたらひとつ持つ、など
- 積極的に心をこめてあいさつをする
- 防犯のためにも、近所の人とコミュニケーションをとる
- 近所の子どもたちへの積極的なあいさつ
- 地域の人との会話をふやし、つながりを深めるために資源物当番、公民館当番で集まることを活かしたい
- 次世代を担う子どもを育てる
- 生活道路の除雪。空き家の前、一人暮らしの家の前の道路や人家以外でできる範囲の道路を除雪している

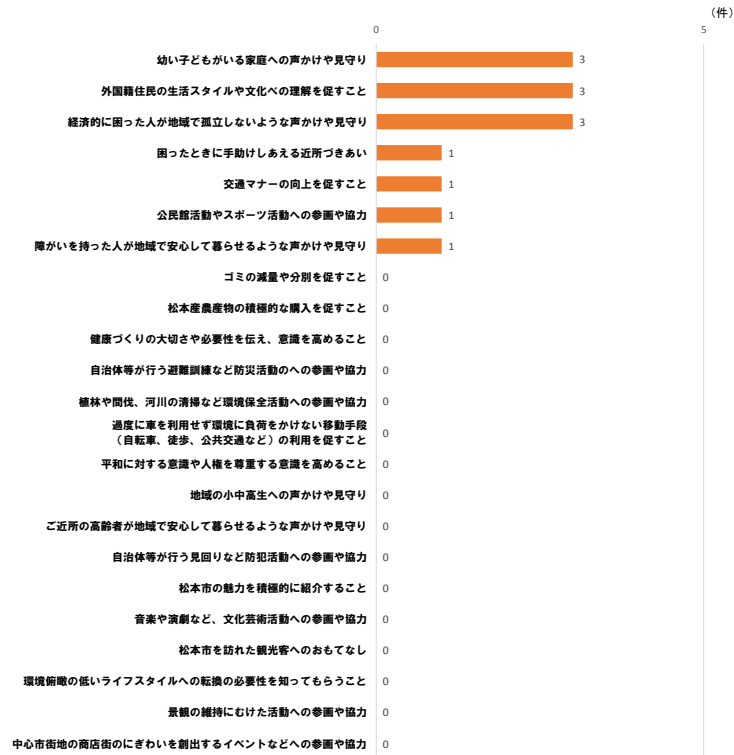
(その他 要望、意見等)

- 安心してらせる地域に！

- 良い地区になってほしい
- 皆が健康で楽しく生活できる町
- 周りが思っている以上に子育てがしづらく大変な社会になってしまっています。「地域で子育て」できるように、もっと温かい社会になってほしいです
- 不在時、就寝時など以外カギの不要な地域づくりが求められる。自分のカラにはいっては地域づくりにはならない
- 島立しづさとは？

(17) 新村地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

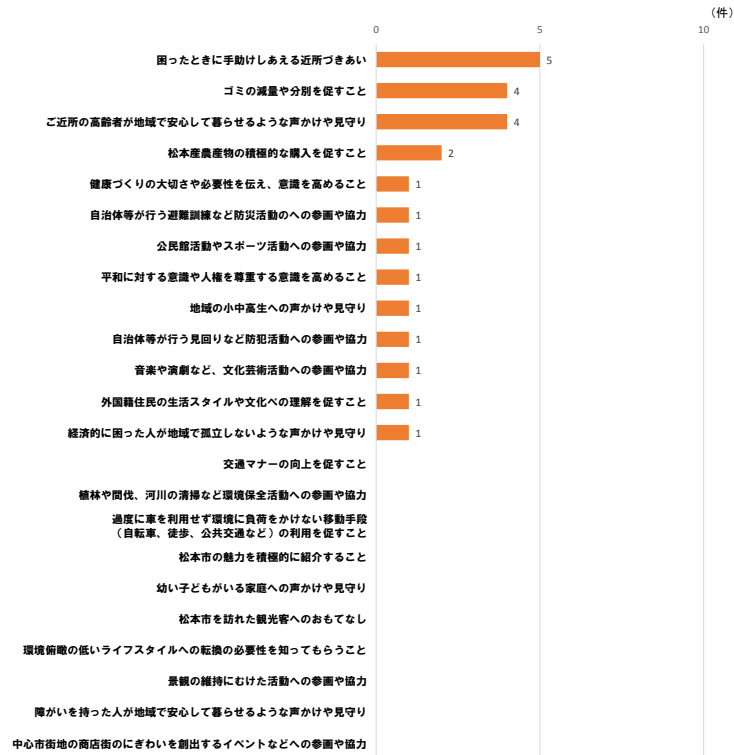


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 外国籍住民の生活スタイルを理解して助け合う！！
- 若い子どもや高齢者の方への声かけや見守りをする

(18) 和田地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

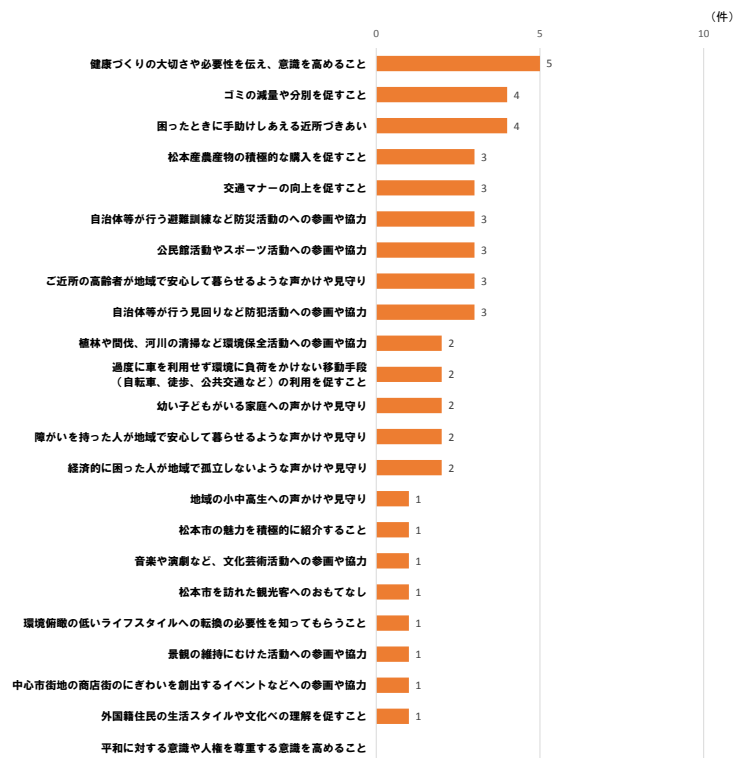
- 小中学生を大切にす
- 農村部の特性を活かし地域の絆を大切にしていきたい！

(その他 要望、意見等)

- 市県税を有効かつ円滑に使用お願いしたい

(19) 神林地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

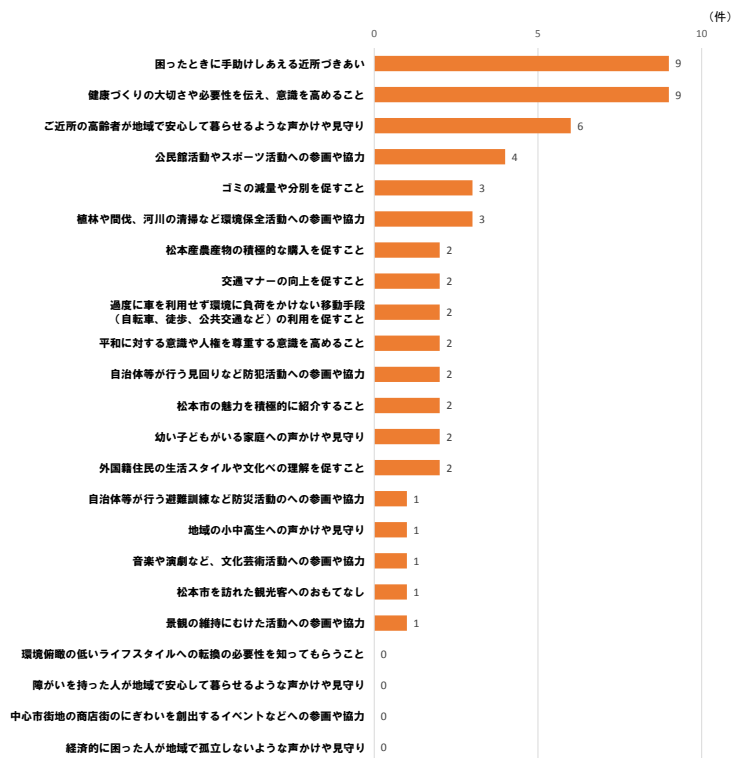


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- おはよう、こんにちは、こんばんは、声かけ促進
- 大人の子どもへの声かけ（おはよう！）
- 人と人をつなぐ
- 地域の絆を深くする。向こう三軒両隣の絆を増やす。町会活動に積極的に参加する

(20) 笹賀地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

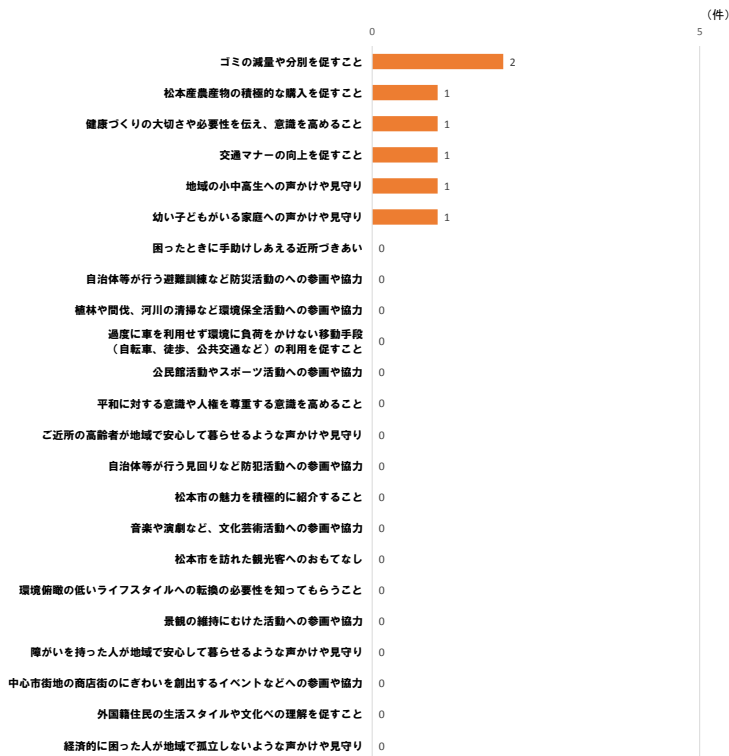
- 交通マナーの悪さで国内有数の松本から交通マナーの良さで世界にほこれる松本をこころざす

(その他 要望、意見等)

- FDA と山雅による松本の活性化
- 小学生の通学路ですが、安全に歩ける道にしてほしいのと、大きな川に落ちないように上を歩けるようにしてほしい
- 自転車利用のしやすい道づくり
- 若者の定着

(21) 芳川地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

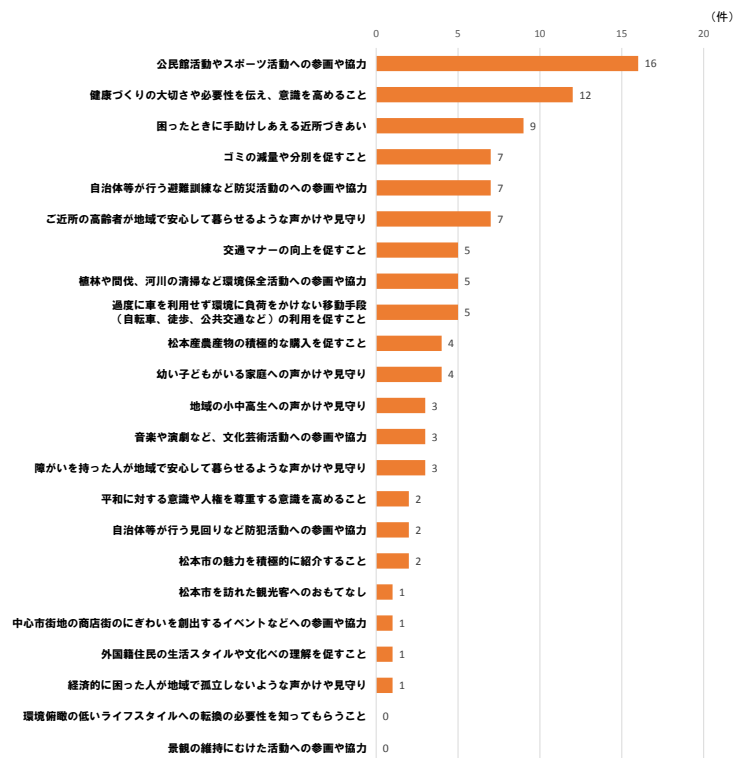
- 交通マナーを守る
- 他所から来た人や移住してきた人を大切にする
- 他人のものは盗まない！

(その他 要望、意見等)

- 通学路の安全確保をお願いします。歩道の色分けとか
- 子どもの遊ぶ場所やママたちがストレス発散できるショッピングモールをふやしてほしい。少なすぎる…

(22) 寿地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

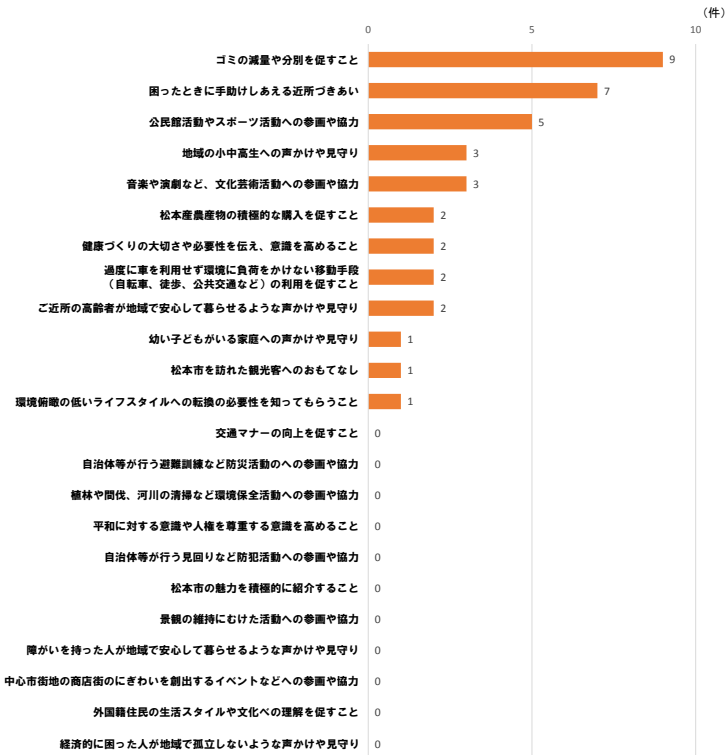
- となり組や町会の絆づくり
- 日頃からの防犯意識の植えつけ努力
- 気楽に集まれて楽しめるスポーツを！！
- 河川等のゴミ拾い
- 緑を育てていき花いっぱいにしていく
- 幼稚園児を招いて博物館のイベント参加！

(その他 要望、意見等)

- 地域の環境づくり
- 公園の整備づくり
- 交通マナー、特に右折がひどい
- 市長さんが医者なのだから子どもの医療費をもう少し考えてください
- 歩行者が安全に横断歩道をおるけるように！
- 芸術館という素晴らしい場所があるので市民が今以上に足を運べる企画があるといいです。(例) 子ども SKF

(23) 松原地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

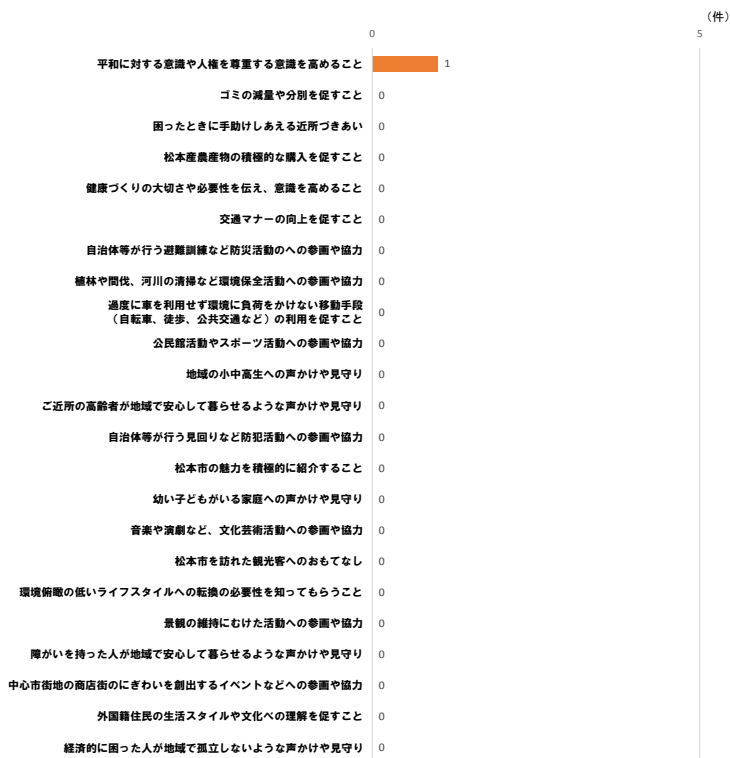


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 困っているひとを見かけたら声をかけて助けてあげる

(24) 寿台地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



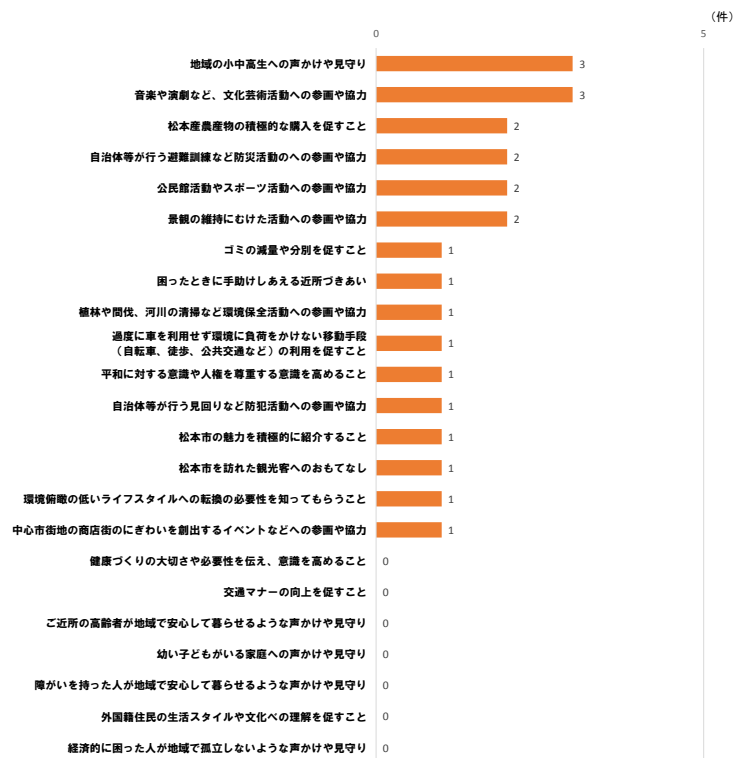
②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(その他 要望、意見等)

- 認知症の予防の講座の充実、啓蒙を活発に
- 犬猫の殺処分ゼロに。子どもに命・優しさの教育を

(25) 岡田地区

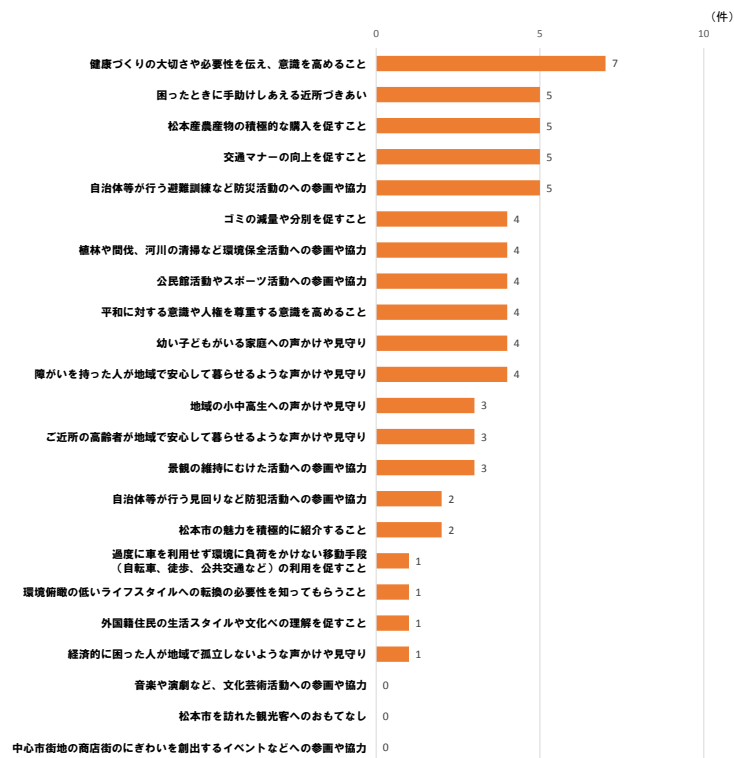
①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(26) 入山辺地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

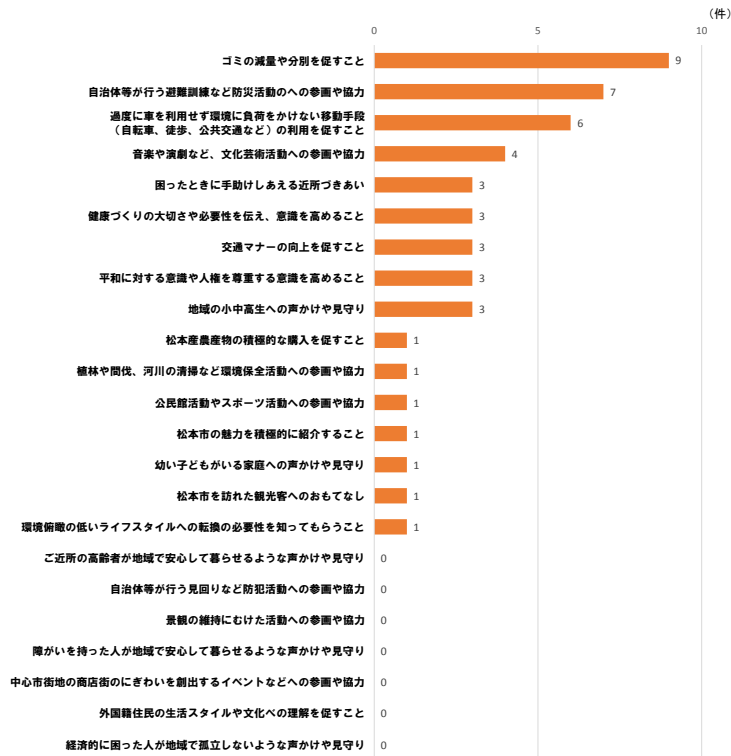


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 地区の活動には積極的に参加！！
- ゴミ削減のためボカシの普及

(27) 里山辺地区

①よい地域にするために今すぐにも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

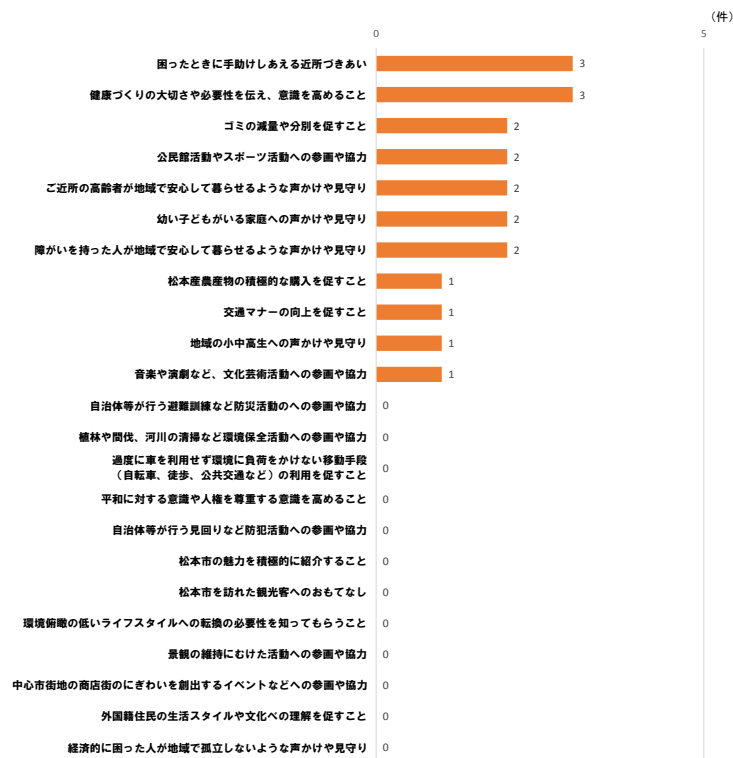
- 小さい事でもこつこつと
- ゴミをひろってきれいな松本市にする。助け合う
- ゴミをいっぱい拾って松本市をきれいにし、助け合う
- 交通のマナー、ゆずりあいの意識向上

(その他 要望、意見等)

- 人口減少社会の対応として、各市町村が減少を防ぐ努力は必要ですが、くれぐれも人の取り合いをすることがないように願う。(例)〇〇の無料化、祝い金など。松本の魅力は伝えて欲しい
- 民芸館、博物館、プラネタリウムでのイベントを増やす。子ども・年寄りだけでなく社会人にも参画できるイベントを
- 子どもが笑って生活できる松本市にする。家族がともに過ごせる場所があったら……
- プラネタリウムを活性化し、松本市が星がきれいに見える場所だと、多くの市民の方に知ってもらいたい
- 経済的な活力が低下している現状を。健康は本人(自己)解決では？

(28) 今井地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

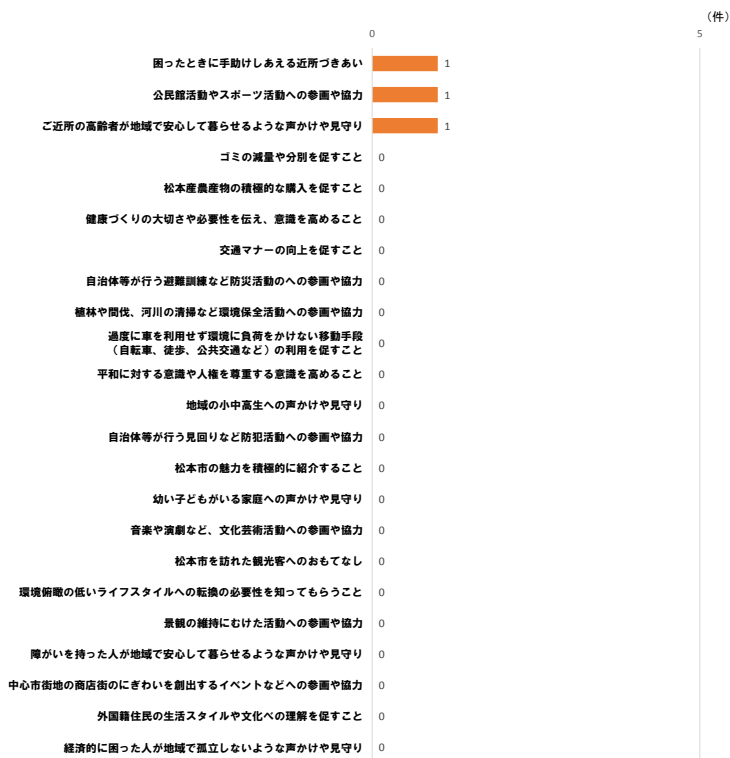
- 各町会にある公民館を使っの集い（お茶会、軽運動など）
- 子どもたちが通う通学路をゆっくりと車で走りましょう
- 気軽に寄り合って「あんなことがしたい」「こんなことがしたい」って言える場が欲しい→実行に！

（その他 要望、意見等）

- 公民館または福祉ひろばの主催の行事、例えばバスによる見学会などに気軽に参加できるような環境づくりが必要だと思います
- 福祉ひろばで子どもたちの集まる会をもっと増やしてほしいです

(29) 内田地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

●明るいあいさつ！たすけあい★

(その他 要望、意見等)

●災害に強いまちづくり

(30) 本郷地区

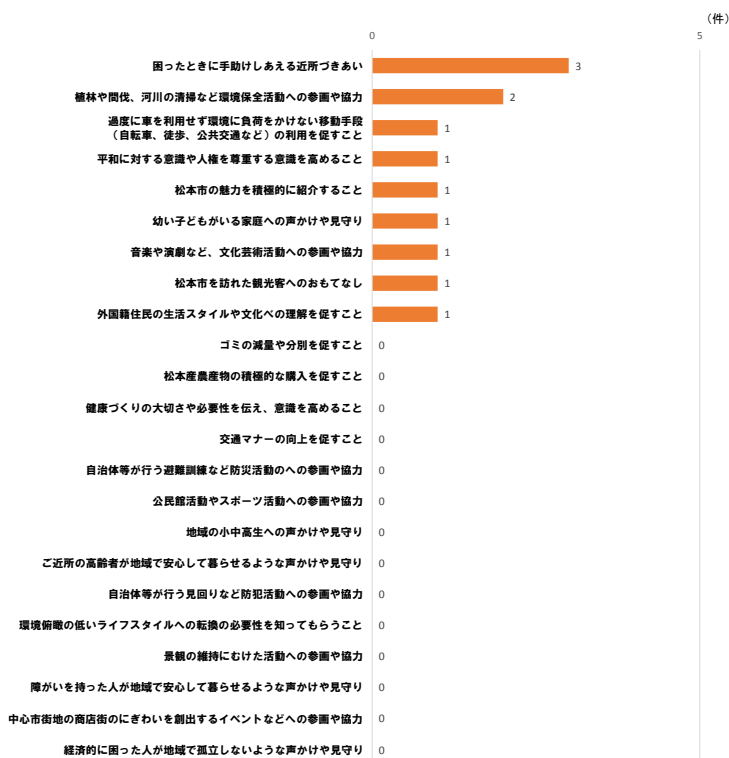
①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

	0	(件) 5
ゴミの減量や分別を促すこと	0	
困ったときに手助けしあえる近所づきあい	0	
松本産農産物の積極的な購入を促すこと	0	
健康づくりの大切さや必要性を伝え、意識を高めること	0	
交通マナーの向上を促すこと	0	
自治体等が行う避難訓練など防災活動への参画や協力	0	
雑林や間伐、河川の清掃など環境保全活動への参画や協力	0	
過度に車を利用せず環境に負荷をかけない移動手段 (自転車、徒歩、公共交通など)の利用を促すこと	0	
公民館活動やスポーツ活動への参画や協力	0	
平和に対する意識や人権を尊重する意識を高めること	0	
地域の小中高生への声かけや見守り	0	
ご近所の高齢者が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	0	
自治体等が行う見回りなど防犯活動への参画や協力	0	
松本市の魅力積極的に紹介すること	0	
幼い子どもがいる家庭への声かけや見守り	0	
音楽や演劇など、文化芸術活動への参画や協力	0	
松本市を訪れた観光客へのおもてなし	0	
環境俯瞰の低いライフスタイルへの転換の必要性を知ってもらうこと	0	
景観の維持にむけた活動への参画や協力	0	
障がいを持った人が地域で安心して暮らせるような声かけや見守り	0	
中心市街地の商店街のにぎわいを創出するイベントなどへの参画や協力	0	
外国籍住民の生活スタイルや文化への理解を促すこと	0	
経済的に困った人が地域で孤立しないような声かけや見守り	0	

②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと
(記入なし)

(31) 安曇地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

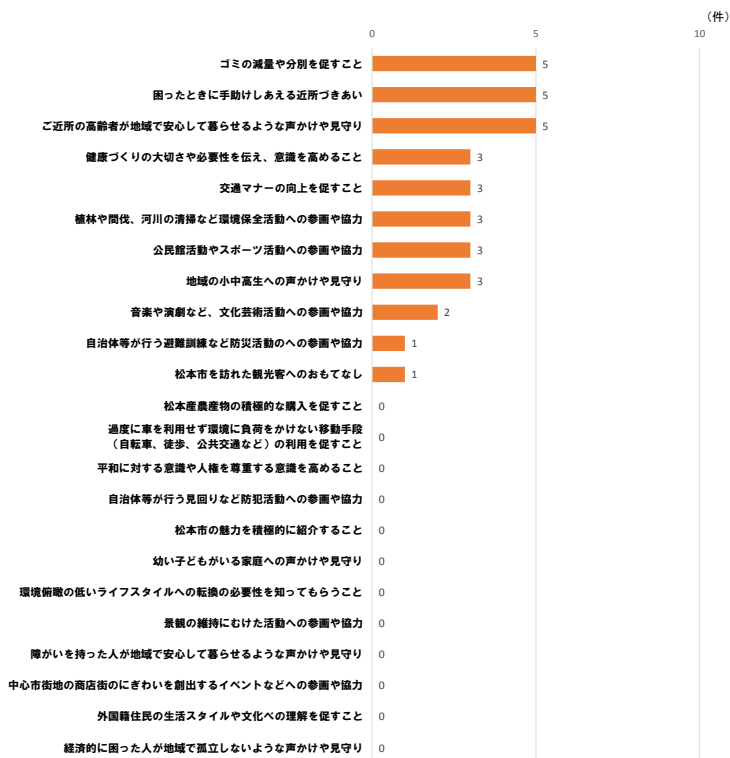
- 世代を問わず小さいお子さんからお年を召した方まで気軽に集まり交流できるように
- 観光客も含めてIターンやUターンで松本の外から来た人たちに「松本は良い」、「行きたい」、「住みたい」と他の人の発信してもらえるよう、街全体でおもてなし精神を磨きたい！

(その他 要望、意見等)

- 地区に学校を残すために地域の実情にあった取り組みや制限の緩和を推進してもらいたい
- 高齢世帯や一人暮らしの人のためのボランティア。特に65～70歳の皆さんのボランティア活動をまとめてほしい。買物、通院、見守りなどのため
- 過疎地（へき地）には住民が住みやすいように特例・優遇を大胆に実施して人口が増える戦略を行政で実行していただきたい
- 若者の定住策として市住（特賃）の入居要件の緩和
- 山間地の交通弱者対策
- 過疎地域を中心にした空き家活用によるI,Uターン環境整備を

(32) 奈川地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること

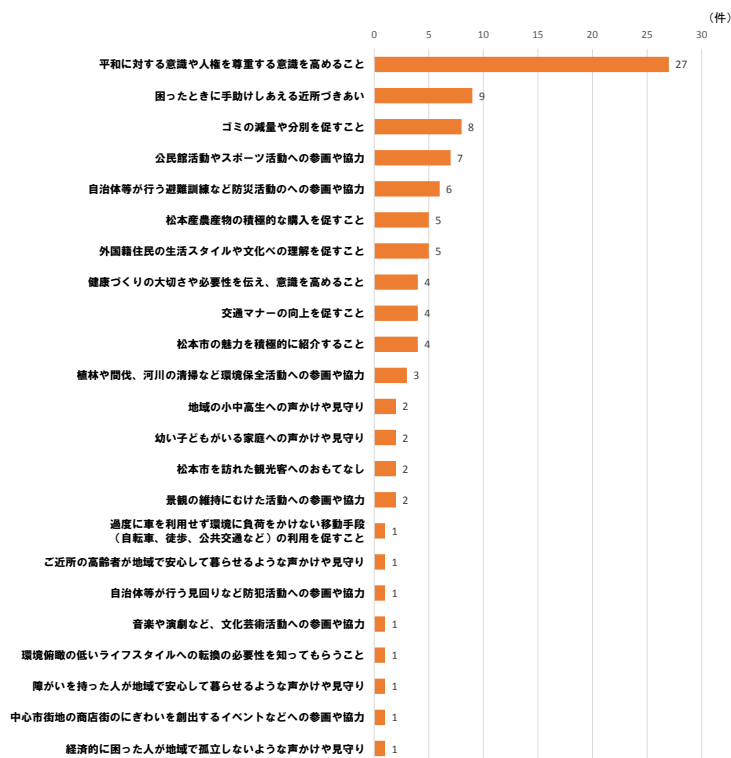


②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 河川内、立木の除去を地区で実践する
- 誰でも1つはスポーツを気軽にできるよう環境受入体制を準備する

(33) 梓川地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

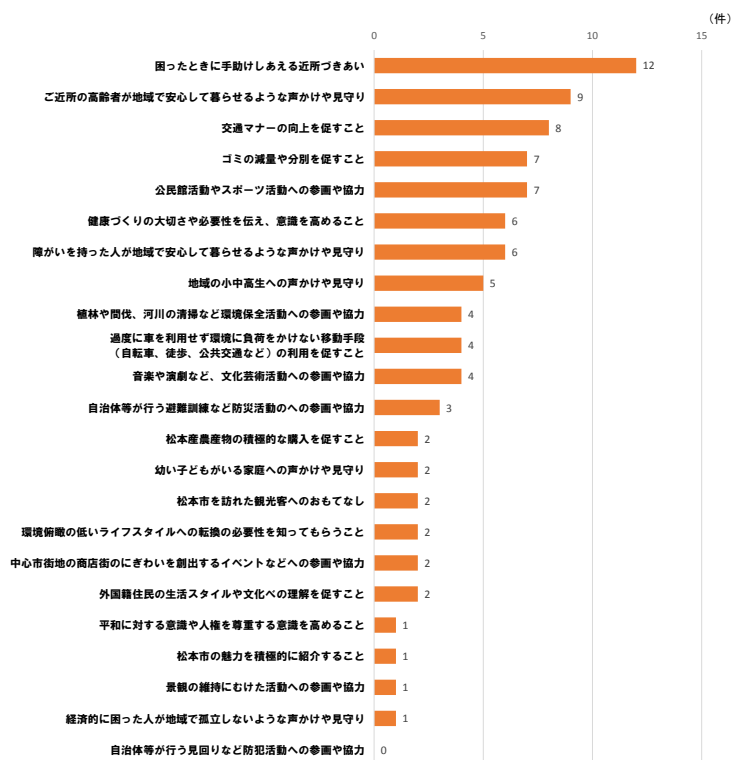
- 交つうマナーをまもりあんぜんなまつもとにする
- みんながなかよくする

(その他 要望、意見等)

- 頭のいい高校の数を増やしてほしい
- 高校入試をなくしてほしい
- 歩道を広くして子どもたちが歩きやすいようにする！
- もっと子どもたちが住みやすく歩道を広くしてほしい
- アルプちゃんの他にアルプくんがほしい
- イメージキャラクターをかえてほしい
- 雪が積もったら雪かきをしてほしい
- 通学路になっている歩道は5cm以上の雪が降ったらできればその日のうちに歩道の雪かきをしてほしい
- 梓川には店がすくねー
- もっと人のセンスやスタイルをちゃんとできてほしいし、おしゃれな店をつくってほしいし、モデルを作してほしい
- もっといろいろな事件に早く対応してほしい
- 交通ルールをしっかり守るような松本にしてほしい
- 子どもを守る安心の家なのにだれもいないことがあるのでしっかりやってほしい
- 子供たちがのびのび生活できる地域づくりをしてほしい

(34) 四賀地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

- 安心安全な未来をつくりましょう。今の子どもたちの未来のために
- 地区内の団体などが協力し合い連携の採れた地域づくり

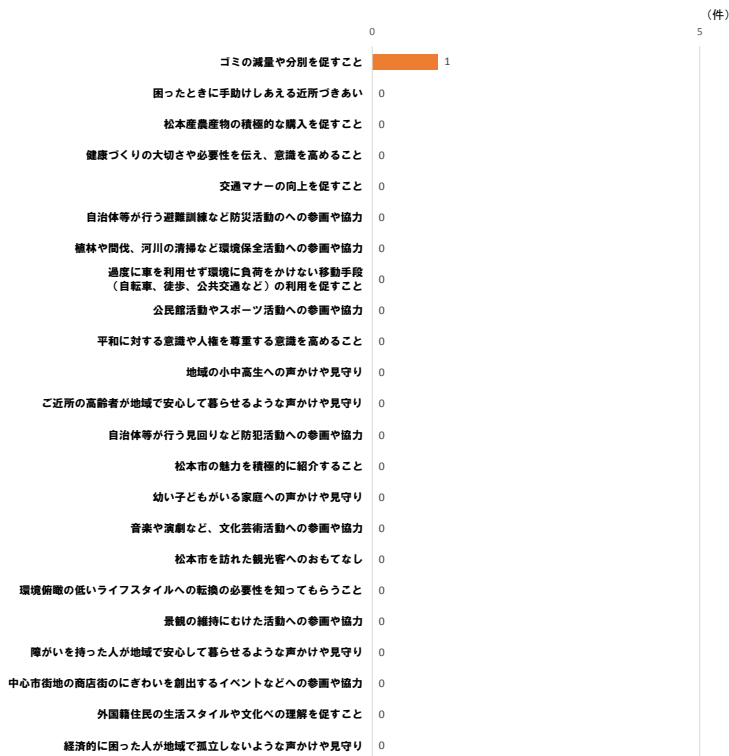
(その他 要望、意見等)

- 松本市にウォーキングコースを！
- 地域住民のマナー良くする方法？
- 子どもが安心して暮らせる松本市にしてもらいたい
- せめて小学生までは無料にしてほしい。子どもを増やす対策をしてほしい
- 通学等のバス時間等増やしてもらいたい
- 交通の利用がもう少し便利になること
- 交通の発達
- この自然がずっと守られる松本市でありますように！
- 農薬散布はやめましょう
- 四賀地区は子どもの高校進学で職場を変えなければならない母親もいます。送迎困難になることも。通学の足に公共交通を利用できればいいのにとおもいます
- 四賀地区にミニインターを作ってほしい
- バスで買い物へ行けない人の移動手段を作ってほしい
- 近隣にウォーキングが出来る運動場、歩行路がほしい
- 空き家が増えているので、情報をデータベース化して希望者の入居につなげてほしい

- トンネル内の道路のごみ、心をいためてます
- 雪かき、いつも機械でやっていただいておりますが、もうすこしあたたかい気持ちでやっていただくとありがたいです

(35) 波田地区

①よい地域にするために今すぐにでも取り組めること



②もっと住みやすい、魅力あるまちにするため自身がしたいこと、みんなでしたいこと

●新しい方々が増えて嬉しく思いますが、どう迎え入れるか、町会でもう一度話しあってはどうでしょうか？

(その他 要望、意見等)

- 交通マナーが異常に悪い。交通取り締まりの強化を！
- 祝日に未就園児が遊べる施設をつくってほしいです

添付資料：松本市の良いところ、課題、理想の地域像（自由記述）

松本市良いところ、課題、理想の地域像について、自由記述について把握した。各内容を要約すると以下となる。また、次ページ以降は、類似意見を取りまとめたものである。

◆松本市の良いところの要約

自然の豊かさ、気候の良さ、災害の少なさ等、松本の風土を良いところとする声が多い。自然に恵まれる一方、適度に生活環境が整っているという「都会過ぎず田舎過ぎない」ところを評価する人も多い。また松本城やSKF等に代表される歴史・文化も良いところとして挙げられている。

◆課題・改善ポイントの要約

分野ごとに課題があがっているが、特に渋滞や一方通行の多さ、公共交通の弱さ、交通マナーの悪さなど「交通面」や除雪対策に対して課題を感じている人は多い。

◆将来の目指すべき地域の姿の要約

子どもから高齢者まで誰にとっても住みやすい地域、観光客や移住者など多くの人を集める活気のある地域で

あることが望まれている。目指すべき姿として、都市としての発展を続けながらも、現状の良いところを大事に、都市と自然と文化の調和がとれたまちを求めている。

松本市の良いところ

市民アンケートの自由記述の意見をまとめました
自由記述回答者数 784人

【凡例】

- 松本市の良いところ ...二段階目のラベル
- 松本市の良いところ ...一段階目のラベル
- 松本市のよいところ ...小項目(ほぼアンケートの内容)
- ...特に数が多い項目(多いほどバブルも大きい)
- () ...意見の数(15以上の意見のみ)



山々や水、空気など自然の美しさや、暮らしやすい自然条件が素晴らしいと感じている人がとても多いです。

自然環境

自然が豊か(200)

- ・水がきれい
- ・空気がきれい
- ・四季がはっきりしている

・自然の観光地に恵まれている

- ・観光スポットが多い
- ・観光客がたくさん集まる

観光地として発展している

景観がきれい(40)

・自然の景色が見れる

- ・町が清潔
- ・街並みの整備が美しい

食べ物がおいしい

- ・野菜、果物が豊富

自然と文化・歴史が調和している(25)

日本有数の山岳都市(15)

- ・美しい山々が見える

教育が充実している

- ・大学があり学術的に優れている

文化レベルが高い(55)

- ・イベントが盛ん
- ・SKFなど世界に誇れる文化がある
- ・文化、芸術に触れる機会が多い
- ・市民の文化への関心が高い
- ・山雅をまち全体で応援している
- ・落ち着いた雰囲気がある

歴史が根付いている(50)

- ・国宝・松本城がある
- ・城下町の風情がある
- ・古いものを大切にしている
- ・松本城を中心に文化が凝縮されている
- ・新旧混交したまちづくり

環境

災害が少ない(50)

- ・水害が少ない
- ・台風が直に来ない

気候がよい(20)

- ・湿度が低くさわやか
- ・晴れの日が多い
- ・夏涼しい

適度に都市化が進んでいて、田舎と都会の良い面を合わせ持つのも松本の魅力です。



都市機能

交通に便利である

- ・大都市へのアクセスが良い
- ・県内のどこへも行きやすい立地
- ・公共交通が充実している

治安が良い

- ・犯罪が少ない
- ・素行不良な人が少ない

商業が盛んである

- ・買い物に便利

まちがコンパクトにまとまっている

- ・歩いてまわれるまちの大きさ
- ・散歩しやすい
- ・人口数がちょうどいい

医療・福祉が充実している

- ・大きな病院が多い
- ・高齢者の交通の便がよい
- ・公民館活動が盛んで生きがいになる
- ・健康寿命延伸に向けて取り組んでいる

都市機能については、一部の意見は「松本市の抱える課題」でも挙げられています。

人があたたかい

- ・人と人とのつながりがある
- ・地元を愛する人が多い
- ・外からの人に対して開放的
- ・勉強熱心な人が多い

公共の設備が充実している

- ・公園、図書館などの施設が充実している
- ・道路や下水道が整備されている

文化・歴史

豊かな自然と一体となって発展してきた文化や歴史を誇る声も多く聞きました。



松本が将来どのような地域になってほしいか

市民アンケートの自由記述をまとめました。
自由記述回答者数 682人

【凡例】
松本市の将来 ...一段階目のラベル
松本市の将来 ...小項目(ほぼアンケートの内容)



1 「人」の健康

健康寿命の延伸

- ・健康寿命日本一、世界一
- ・医療・福祉サービスの充実
- ・高度な医療技術で世界中から人が集まる

2 「生活」の健康

子育てしやすいまち

- ・子どもの歓声をうるさがない、大人が子どもを温かく見守る育児支援の充実
- ・子どもと遊べる広い場所がある

高齢者にやさしいまち

- ・高齢者が元気に暮らせる
- ・高齢者と子どもが交流できる

今のままだよ

- ・現状の良いところを維持していく

3 「地域」の健康

地域ごとに平等なまち

- ・都市部と農村部で平等のサービスが受けられる
- ・限界集落がない

地域のつながりが強いまち

- ・困ったときに助け合う
- ・深い交流ができる
- ・地域全体で人、子どもを育てていく

安全・安心に暮らせるまち

- ・犯罪がない
- ・災害に強い
- ・ほっとするまち

ひらかれたまち

- ・新しいものを取り入れる
- ・外から来た人を受け入れる
- ・国際化に対応する

交通の便が良い

- ・新幹線が通る
- ・大都市へアクセスが容易
- ・松本空港が使いやすい

4 「環境」の健康

自然環境が豊かなまち

- ・地産地消ができる場所
- ・山岳都市として登山環境の充実

美しい自然を維持する

- ・自然や田畑が残り小動物や虫と共存している
- ・緑に囲まれた憩いの場所

大自然と都会が両立したまち

- ・自然にとけこみつつ適度に発展したまち

コンパクトシティのモデル地域

- ・車がなくても暮らせる生活環境

長野県の中心都市

- ・県庁所在地になる
- ・長野市を超える
- ・信州のハブ都市
- ・周辺地域を合併

景観がきれいなまち

- ・城下町らしい古風なところと近代的なところが共存するまちなみ

5 「経済」の健康

中心市街地が賑わっているまち

- ・商店街が昔の活気を取り戻す
- ・買い物に便利なお店が沢山ある
- ・農林業に従事する人が増える
- ・人の集まるイベントが盛ん

観光都市

- ・また何度も来たいと思う観光地
- ・積極的に魅力をアピール
- ・目玉となるスポットが沢山ある

元気に働けるまち

- ・若者が働きやすい雇用環境
- ・仕事と子育てが両立できる
- ・高齢者の働く場所があり生きがいになる

人口が増えつづけるまち

- ・若者が住みたくなる
- ・県外のひとが移住したいと思う町
- ・Uターン・Iターンしたくなる
- ・子どもが沢山いる

6 「教育・文化」の健康

歴史・文化が残っているまち

- ・伝統工芸の拠点
- ・国際的に演劇、音楽文化を誇れる
- ・歴史を重んじる
- ・伝統ある歴史と新しい文化の融合

スポーツが充実したまち

- ・山雅が活躍している
- ・地元出身の有名スポーツ選手がいる

教育が充実したまち

- ・学力向上に力をいれる
- ・市内に大学があり地元で暮らせる
- ・不登校、いじめがない

適切な行政運営

行政サービスが行き届いているまち

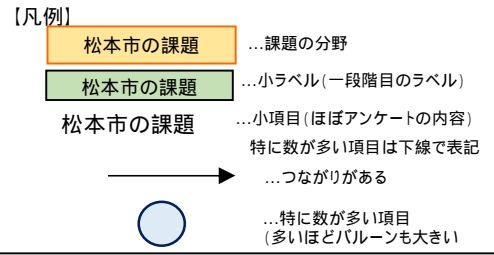
- ・市民のことを考えた市政
- ・税金の無駄遣いをせず、市民の負担も少ない
- ・他市にはない面白い取り組み

松本市が抱える課題

市民アンケートの自由記述をまとめました。
自由記述回答者数 717人



松本市が掲げる6つの健康にそって分類しました。
交通関連(交通マナー、道路整備など)で問題を感じている人が特に多いです。



1 「人」の健康

医療

- 医療費、保険料の負担が重い
- 専門医療を受けられる病院が足りない

2 「生活」の健康

高齢者福祉

- 高齢になってからの暮らしに不安がある
 - 老人福祉施設の充実
 - 車に乗れない高齢者へ交通手段がない
 - 介護職の地位が低い

若者・子育て世代

- 若者が住みやすい環境でない
 - 地元に残れる、帰ってこれるような進学先、就職がない
 - ブラック企業の横行

障がい者福祉

- 高齢者が生きがいを得る機会が少ない
 - 子ども、若い世代と交流して知恵を活かせるような機会がない
 - 高齢者の働く場所が少ない

子どもを産み育てるための環境が整っていない

- 子どもを預けられる場所の拡充
- 子どもの遊び場が近くにない
- 安心して出産できる病院が足りない
- 医療費補助等の仕組みが複雑でサービスが受けづらい

- 障がい者の肩身が狭い
- グループホーム等、障がい者施設が少ない

5 「経済」の健康

中心市街地

- 中心市街地の環境が寂しい、不便
 - 城下町を活かした松本らしい街並みになっていない
 - 市街地に緑が少ない
 - 松本駅周辺の治安が良くない
 - 駐車場が少ない

郊外地域

- 一口に松本市といっても地域によって課題に違いがある
 - サービス、生活の利便性などが地域によって差が大きい
 - 合併した地域との一体感が薄い

商業

- 空き家の活用
- 娯楽施設の充実

郊外に商業施設が少ない

- 大型ショッピングモールがもっとあれば便利、人も集まる
- 近所に店がないため車がないと買い物に不便

中心市街地がより商業的ににぎわうべき

- 生活するには不便(スーパー等が少ない)
- 商店が閉まるのが早い
- 地元商店街が衰退しつつある

3 「地域」の健康

地域コミュニティ

地域コミュニティ維持の困難

- 住民同士のつながりを生むような仕組みづくり
- 高齢化による自治会運営の負担増
- 防犯意識に乏しい

市民の意識改革の必要

- 自主性、積極性に欠ける
- 新しい者を受け入れない保守的な考え方
- 外に対して閉鎖的な雰囲気
- 意地が悪いひとが多い

交通

交通マナーが悪い(75)

- 松本ルール、乱暴な運転をやめるべき
- 自転車に乗る人のマナーが悪い
- 高齢ドライバーの運転が不安

公共交通が弱い(70)

- 電車の本数が少ない
- コミュニティバス路線がもっと必要
- 大都市への時間短縮、増便
- 運賃が高い

都市環境の整備

歩行、自転車での移動時の安全が確保されていない(35)

- 歩道が狭い
- 通学路が十分に整備されていない
- 街灯が少ない
- 自転車専用道が少ない

渋滞が多くて不便(40)

- バイパスの設置が必要

道路状況が悪い(80)

- 舗装が悪い
- 道路が狭い
- 一方通行が多い

観光

「売り」になる特徴が少ない

- お土産になる特産品が少ない
- 城と山に頼りすぎている
- 温泉地が廃れてきている
- 来客を歓迎する態度、おもてなしの心が足りない
- 外国人観光客への対応準備が不十分

発信、アピールが弱い

- 外部へ松本の良さが十分に伝わっていない
- 市民自身も松本の魅力を自覚し切れていない

観光しやすい交通網の整備

- 市内へ人が入ってきやすい
- 観光地(上高地など)へ直通する交通手段

4 「環境」の健康

インフラ基盤の整備が弱い

- 都市ガスの普及
- 自然にやさしいエネルギー導入
- 工事に時間がかかりすぎる

環境の美化・保全への取り組みが足りない

- 河川の整備が不十分
- 農地の維持への対策が考えられていない
- 道路脇の雑草処理が不十分
- ゴミの出し方がわかりにくい

除雪対策が遅い

- とりかかりが遅い
- 作業スピードが遅い

6 「教育・文化」の健康

教育

- 若者に活力、やる気を与えるような教育の提供
- 子どもの学力低下
- 生涯学習の機会不足
- 地域を率いるリーダーの育成
- 中高一貫校の設置

文化

- 文化施設の配置が十分でない
 - 図書館や映画館など文化施設が少ない
 - スポーツができる場所が足りない

その他

行政サービス

- 市政運営が効率的でない、ニーズにできていない

- 税金の使い方が適切でない、無駄が多い
- 市の規模に対して市議員が多すぎる
- 外との交流が足りない
- 要請に対するすみやかな対応ができていない
- 関係機関、窓口の連携が十分でない
- 悩みごとを相談できる機関がない
- 市役所を南部に移転するなど行政機能の分散